

平成 21 年

農林水産業気象災害年報

平成 22 年 8 月

岩 手 県



## 目 次

### I 気象の概況

1	年間の気象概況	1
2	旬別の気象概況	1
3	主な気象データ	4

### II 農林水産物の生育状況

1	水稻	7
2	畑作物（小麦、大豆）	9
3	野菜（きゅうり、トマト、ピーマン、ほうれんそう、ねぎ、 キャベツ、レタス、夏だいこん）	10
4	花き（りんどう、小ぎく）	12
5	果樹（りんご、ぶどう）	13
6	飼料作物（牧草、とうもろこし）	15
7	特用林産物（乾しいたけ、まつたけ）	15
8	水産物（わかめ、こんぶ、ほたてがい、かき）	16

### III 農林水産業気象災害の発生状況

1	1月9日から11日にかけての低気圧接近による災害	17
2	1月30日から31日にかけての暴風雪災害	18
3	2月7日の強風災害	19
4	2月14日の強風災害	20
5	2月20日から21日にかけての暴風雪災害	20
6	3月7日の強風災害	21
7	3月10日の強風災害	22
8	3月23日の強風災害	23
9	3月30日の融雪災害	23
10	4月21日から22日にかけての大雨災害	24
11	4月23日の強風災害	24
12	4月25日から26日にかけての強風、波浪災害	25
13	4月25日から27日にかけての大雨災害	26
14	4月から5月にかけての降霜災害	27
15	5月17日から18日にかけての強風災害	28
16	6月5日から7日にかけての大雨災害	29
17	7月10日から13日にかけての強風災害	30
18	7月19日の大雨災害	31
19	7月26日の大雨災害	32
20	8月31日から9月2日にかけての台風11号による災害	33
21	10月8日から9日にかけての台風18号による災害	34
22	11月15日の強風災害	37
23	12月7日の強風災害	38

#### IV 主な農林水産業気象災害における対策等の概要

- 1 7月10日から13日にかけての強風災害 ..... 39
- 2 10月8日から9日にかけての台風18号による災害 ..... 39

#### V 参考資料

- 1 農林水産部災害対策実施マニュアル ..... 43
- 2 農作物等気象災害防止対策本部設置要綱 ..... 59
- 3 農林漁業セーフティネット資金の概要 ..... 63
- 4 農業共済事業の種類と仕組み ..... 65
- 5 漁業共済事業の種類と仕組み ..... 67
- 6 森林災害復旧事業と被害地等森林整備事業の概要 ..... 71
- 7 森林国営保険の概要 ..... 73
- 8 農作物災害対策要綱 ..... 77
- 9 農作物災害復旧対策事業の実施状況 ..... 79
- 10 平成元年以降の農林水産業気象災害 ..... 83

## I 気象の概況

### 1 年間の気象概況

#### 【天候の特徴】

- ・高温、夏の寡照、早い梅雨入り、梅雨明けの特定できず
- ・5月の少雨、9月の記録的少雨、7月下旬から9月中旬の低温

平成21年は、7月から9月を除き、高温となることが多く、年平均気温は、二戸を除いた地点で、平年より高かった。盛岡の年平均気温は、平年差+0.6℃となり、統計開始（1924年）から第7位の高い記録となった。7月から8月前半にかけて、曇りや雨の日が多く、梅雨期から盛夏期への移行が不明瞭なため、東北北部、東北南部ともに、梅雨明けは特定できなかった。また、東北地方へ影響を及ぼした台風は、4個であった（2個は岩手県へ接近）。

### 2 旬別の気象概況

#### <1月>：高温、多雨、月末の大雪（沿岸北部）

上旬：冬型の気圧配置となる日が続き、内陸を中心に、曇りや雪、又は雨の日が多かった。9日から10日にかけては、発達した低気圧の影響により、県北部で、大雪又は大雨のところがあり、県内は、強風や吹雪など、荒れた天気となった。強い寒気の南下は少なく、気温は高かった。

中旬：前半は、低気圧や前線の影響を受けることが多く、曇りや雪、又は雨の日もあった。15日は、強い冬型の気圧配置となり、内陸では、大雪や吹雪、沿岸部では強風となり、県内各地で、真冬日を観測した。その後は、高気圧に覆われて、晴れる日もあったが、19日には、冬型の気圧配置となり、内陸中心に、強風や吹雪となった。

下旬：短い周期で天気が変わり、低気圧や前線、気圧の谷の影響を受けることが多く、曇りや雪、又は雨の日が多かった。30日から31日にかけては、南岸低気圧の影響で、沿岸部を中心に、大雪や強風により、交通障害や停電被害が発生した。

#### <2月>：高温、少雪（沿岸部・内陸部山沿い）

上旬：高気圧と低気圧や気圧の谷が、交互に通過した。移動性高気圧に覆われて、晴れる日が多く、気温は高くなった。1日は、発達した低気圧の影響で、沿岸部中心に、強風となった。また、3日は低気圧、7日から8日にかけては、冬型の気圧配置により、内陸を中心に、まとまった雪となった。

中旬：期間の前半は、低気圧や気圧の谷の影響で、天気は短い周期で変化したが、期間の後半は、冬型の気圧配置となる日が多かった。13日から14日にかけては、日本海低気圧が発達しながら通過し、大荒れの天気となった。また、20日は、低気圧の影響により、大雪や強風となった。

下旬：期間の始めから中頃には、低気圧が短い周期で通過したため、曇りや雪、又は雨の日が多かった。20日から21日にかけては、発達した低気圧の影響で荒れた天気となった。

#### <3月>：上旬・中旬の高温、下旬の低温、7日、14から15日にかけての強風

上旬：前半は、天気が周期的に変化した。6日から7日にかけては、低気圧の影響により、強風や吹雪で荒れた天気となり、南部中心に、まとまった降水となった。期間のはじめは、寒気が南下し、低温となったが、中頃からは、冬型の気圧配置となる日は少なく、気温は高かった。

中旬：前線や低気圧が短い周期で通過し、曇りや雨又は雪の日が多かった。また、発達した低気圧の影響や、冬型が一時的に強まり、強風となる日があった。後半は、日本の南にある高気圧から暖かい空気が入って、気温が高くなった。

下旬：低気圧や前線、気圧の谷の影響を受け、曇りや雪、又は雨の日が多かった。後半は、冬型の気圧配置となる日もあった。期間のはじめは、南から暖かい空気が入り、平年より高かったが、中頃から強い寒気が南下したため、平年より低く経過した。

#### <4月>：気温の変動大、上旬の少雨・下旬の多雨（25から26日にかけての大雨）

上旬：低気圧や気圧の谷の影響が少なく、高気圧に覆われて、晴れの日が多かった。寒気の南

下も弱く、気温の高い日が多く、特に、期間の終わり頃は、帯状の高気圧に覆われる日が続き、顕著な高温となった。また、中頃からは、空気の乾燥した状態が続いた。

中旬：14日から15日にかけて、低気圧が三陸沖を発達しながら北上した影響で、まとまった雨となった。その他の日は、気圧の谷の影響により、曇りや高気圧に覆われて晴れとなった。

下旬：南岸低気圧や日本海低気圧の影響を受け、21日から22日にかけて、南部を中心に、大雨となった。また、25日から27日にかけては、強い寒気の南下で、北部の平地で積雪となったところがあった。26日には、大雨により、沿岸北部で土砂災害や浸水害、交通障害などが発生した。

#### **<5月>：高温で気温の変動大、少雨**

上旬：高気圧に覆われることが多く、おおむね晴れて、気温が高かった。期間の中頃は、気圧の谷や湿った東よりの風の影響で、曇りところもあったが、雨となったところは少なかった。期間の後半は、各地で、夏日となるところが多かった。

中旬：前線や気圧の谷の影響を受けて、雨や曇りの日もあったが、高気圧に覆われて、晴れの日が多かった。17日から18日にかけては、発達した低気圧の影響で、県内の各地で強風となり、内陸で住家一部損壊や停電被害が発生した。

下旬：期間のはじめと中頃は、高気圧に覆われて、晴れた日もあったが、その他の日は、低気圧や気圧の谷の影響で、雨や曇りとなった。低気圧の影響で、30日には沿岸を中心に、まとまった雨となった。

#### **<6月>：気温の変動大、上旬・中旬の寡照、5日から7日にかけての大雨（沿岸部）、下旬の多照**

上旬：低気圧や気圧の谷の影響で、曇りや雨の日が多く、日照時間は少なかった。5日から7日にかけて、発達した低気圧が、三陸沖を北上した影響で、沿岸部を中心に、大雨となり、沿岸部で浸水害や土砂災害が発生した。

中旬：気圧の谷や寒気、湿った東より風の影響により、沿岸部を中心に、曇りや雨の日が多く、低温となった。特に、沿岸部と内陸北部の一部では、顕著な低温、寡照となった。11日は、低気圧の影響により、内陸でまとまった雨のところがあった。

下旬：期間のはじめと終わりは、低気圧や前線、湿った東よりの風の影響により、雨や曇りの日が多かった。その他の日は、高気圧に覆われて、晴れるところが多く、南からの暖かい空気が入り、25日から29日にかけて真夏日が連続する地点があるなど、顕著な高温となった。

#### **<7月>：寡照、内陸を中心に多雨、下旬の低温**

上旬：前半は、梅雨前線や気圧の谷の影響で、曇りや雨となった。また、期間の終わりは低気圧や梅雨前線の影響により、内陸で大雨のところや、全域で強風となった。期間の中頃は、高気圧に覆われて、晴れる日もあり、後半にかけて、南から暖かく湿った空気の流入により、気温の高い日が多かった。

中旬：低気圧や梅雨前線が、短い周期で通過し、内陸の北部を中心に、曇りや雨の日が多かった。

南部では、低気圧や前線の影響を受けにくく晴れる日があった。13日は発達した日本海低気圧や梅雨前線の影響により、強風となった。また、19日は、内陸で大雨のところがあり、雫石などで土砂災害などが発生した。

下旬：前線や低気圧の影響で、雨や曇りの日が多かった。25日から27日にかけては、大気の状態が不安定となり、雷を伴って激しい雨となったところもあり、26日には、奥州市で浸水害、27日には、盛岡市で、突風による住家破損などの被害が発生した。

#### **<8月>：低温・寡照**

上旬：気圧の谷や寒気の影響で、曇りや雨の日が多く、大気の状態が不安定となり、大雨となるところもあった。5日は、局地的に、非常に激しい雨となったところがあり、9日も、内陸北部で、局地的に雷を伴った大雨のところがあった。沿岸部では、冷たく湿った東よりの風の影響で、気温が低く、日照時間が少ない状態が続いた。

中旬：期間のはじめは、低気圧や前線の影響で、雨や曇りのところがあったが、中頃は、高気圧に覆われて、晴れる日が多かった。期間の終わりは、沿岸部を中心に、曇りの日が多かった。気温は、寒気や湿った東よりの風の影響で、平年より低い日もあった。

下旬：期間のはじめは、発達した低気圧からのびる前線が、東北地方を通過し、雨や曇りのところがあった。中頃は、高気圧に覆われて、晴れる日が多かったが、沿岸部は、湿った東よりの風の影響を受けた。期間の終わりは、前線の通過により、雨や曇りとなり、31日は、台風第11号の接近で、南部を中心に大雨となり、県内は荒れた天気となった。

#### <9月>：少雨、上旬・中旬の低温、中旬の多照

上旬：1日は、台風第11号が、三陸沖を北上した影響で、雨や曇りとなる日が多かった。

その後は、気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日もあったが、高気圧に覆われ、晴れる日が多かった。また、沿岸部を中心に湿った東よりの風の影響を受ける日があった。

中旬：中頃には、寒気の影響で、大気の状態が不安定となる日もあったが、高気圧に覆われ、晴れの日が多かった。また、気温は、寒気の影響により、全般に平年より低かった。

下旬：期間の中頃は、高気圧に覆われて、晴れる日もあったが、気圧の谷や前線の影響を受けて、曇りや雨の日が多かった。28日から29日にかけては、前線が通過し、内陸の一部でまとまった雨のところがあった。また、南からの暖かい空気が流入して、気温の高い日が多かった。

#### <10月>：気温の変動大、台風第18号の接近による大雨・強風

上旬：気圧の谷や前線の影響で、曇りや雨の日が多かった。8日は、台風第18号が、18時頃に釜石市の南東約50kmに達して、岩手県に最接近となった。沿岸部を中心に、大雨や強風となるなど、県内は大荒れの天気となり、各地で、強風害や浸水害が発生したほか、農作物や農業施設にも被害があった。

中旬：前半は、高気圧に覆われて、晴れの日が多かった。後半は、低気圧や気圧の谷、寒気の影響で、曇りや雨の日が多く、大気の状態が不安定となる日があった。

下旬：高気圧に覆われて、全般に晴れの日が多かった。26日から27日にかけては、台風第20号の影響で、沿岸部を中心に、強風や雨となった。21日と30日は、上空の寒気や前線通過の影響で、大気の状態が不安定となった。また、盛岡では、平年より5日遅い23日に初霜を観測した。

#### <11月>：気温の変動大、中旬の多雨・寡照

上旬：前線や気圧の谷、寒気の影響で、曇りや雨の日が多かったが、期間の後半は、高気圧に覆われて、晴れる日もあった。1日には、上空に強い寒気が流れ込み、2日から3日にかけて、雪となるところもあり、盛岡では3日に、平年より5日早い初雪と、平年より10日遅い初氷を観測した。

中旬：低気圧や寒気の影響で、雨や曇りの日が多く、また、冬型の気圧配置となる日があり、山沿いを中心に、積雪となるところがあった。14日から15日にかけては、上空に寒気を伴った低気圧の影響で、沿岸部を中心に、大雨や強風となった。

下旬：期間のはじめ頃は、低気圧や気圧の谷の影響で、曇りや雨、又は雪の日が多かった。盛岡では、平年より3日早い21日に初積雪を観測し、北部を中心に、まとまった雪となるところがあった。その後は、高気圧に覆われて、おおむね晴れの日が多かった。

#### <12月>：気温の変動大、多雨（沿岸部）

上旬：高気圧に覆われて、晴れの日もあったが、発達した低気圧の影響により、雨又は雪、曇りの日が多く、冬型の気圧配置となる日が少なかった。

中旬：期間のはじめは、低気圧や前線の影響で、雨や曇りとなった。その後は、冬型の気圧配置が続き、沿岸部などで晴れるところがあったが、内陸中心に、雪や曇りの日が多かった。

中頃からは、強い寒気の南下により、内陸の山沿いを中心に、大雪となり、沿岸北部で積雪となるところがあった。

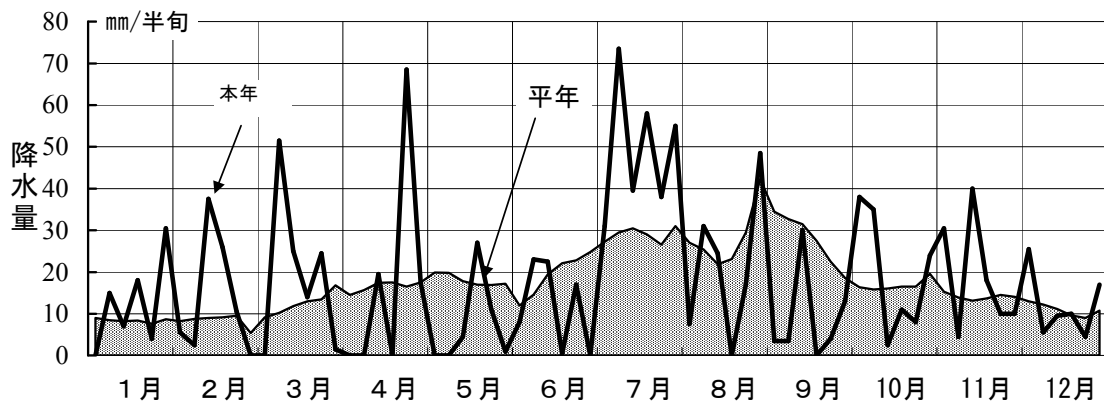
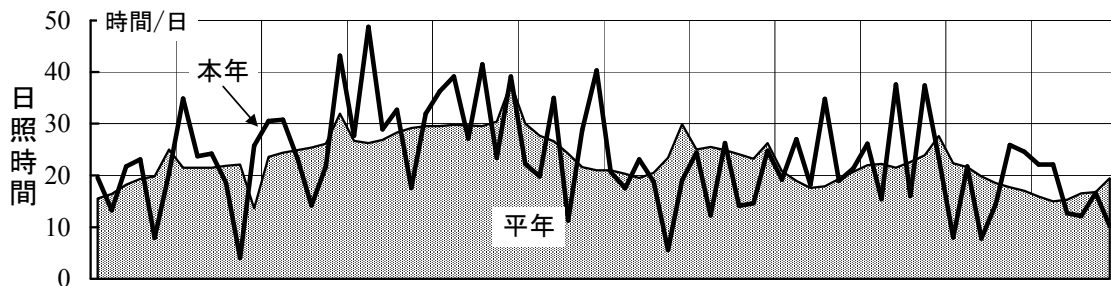
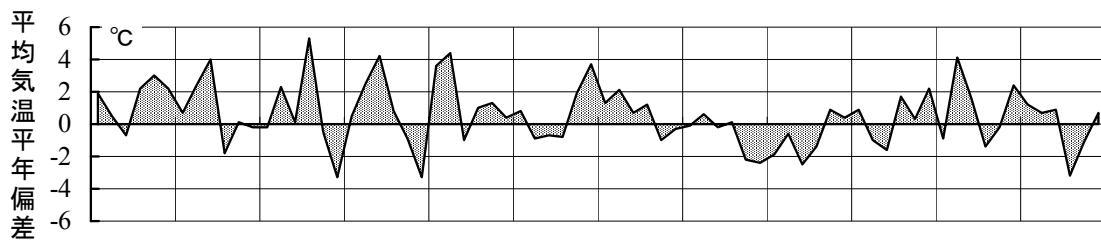
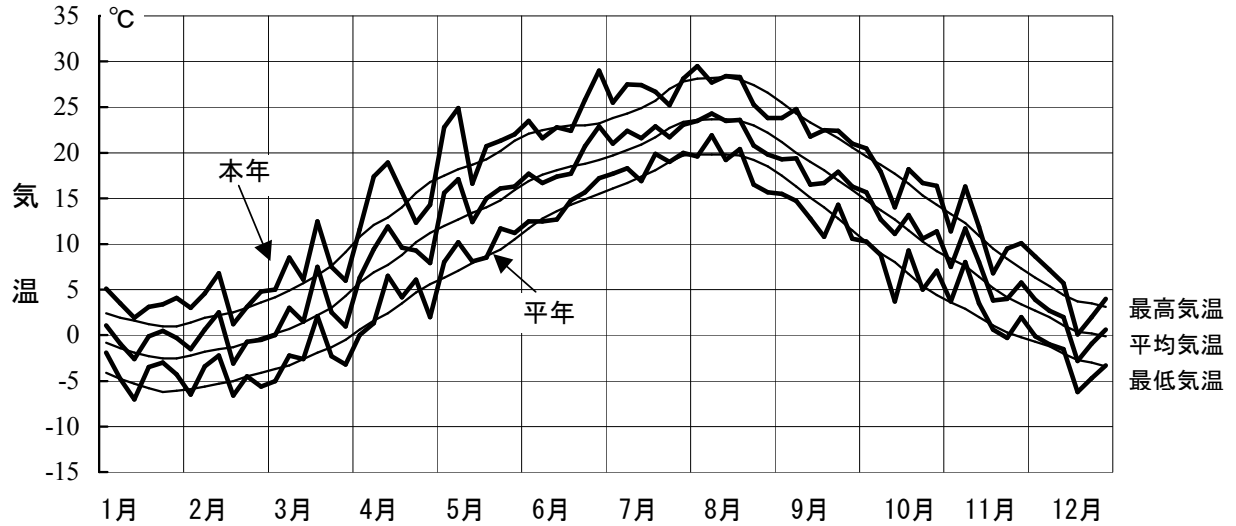
下旬：短い周期で低気圧が通過し、低気圧の通過後は、冬型の気圧配置となった。沿岸部では、晴れるところもあったが、内陸を中心に、雪又は雨、曇りの日が多かった。30日から31日

にかけては、日本海の低気圧が、発達しながら北東進した影響で、県内は、山沿いを中心に、大雪や強風のところがあった。

### 3 主な気象データ

#### (1) 盛岡における気温、降水量、日照時間

2009年の気象経過（旬別：アメダス盛岡測候所）





## (2) 終霜

気象官署	月 日	平 年	昨 年
盛 岡	5月15日	5月4日	4月29日

## (3) 梅雨入り・梅雨明け（東北北部）

	月 日	平 年	昨 年
梅雨入り	6月4日頃	6月12日頃	6月23日頃
梅雨明け	特定しない	7月27日頃	8月5日頃

## (4) 気象官署（盛岡、宮古、大船渡）における記録更新（第5位まで）

## ① 月平均気温

気象官署	月	記録(°C)	備 考
大船渡	5	15.3	5月として高い方から1番目
盛岡	5	15.4	5月として高い方から2番目
大船渡	8	21.5	8月として低い方から5番目

## ② 日最高気温

気象官署	月 日	記録(°C)	備 考
大船渡	3月19日	22.7	高い方から1番目
宮古	6月26日	33.8	高い方から3番目
大船渡	6月26日	32.8	高い方から2番目
宮古	8月31日	16.9	低い方から4番目

## ③ 日最低気温

気象官署	月 日	記録(°C)	備 考
宮古	2月14日	5.3	高い方から4番目
盛岡	3月19日	9.8	高い方から1番目
宮古	3月19日	11.5	高い方から1番目

## ④ 日照時間（月合計）

気象官署	月	記録(時間)	備 考
大船渡	1	132.9	1月として少ない方から5番目
宮古	11	115.9	11月として少ない方から5番目
大船渡	12	113.7	12月として少ない方から2番目

## ⑤ 降水量（月合計）

気象官署	月	記録(mm)	備 考
宮古	1	183.0	1月として多い方から5番目
大船渡	4	239.0	4月として多い方から5番目
大船渡	5	86.0	5月として少ない方から5番目
盛岡	5	43.5	5月として少ない方から5番目
大船渡	9	20.5	9月として少ない方から1番目
盛岡	9	54.0	9月として少ない方から3番目
宮古	9	33.5	9月として少ない方から3番目

## ⑥ 日降水量 記録更新なし

## ⑦ 降雪の深さ（月合計）記録更新なし



## II 農林水産物の生育状況

### 1 水稻（作況指数は「100」、1等米比率は93.3%）

活着は、おおむね良好であったが、6月中旬の低温で、初期生育が劣り、6月下旬まで生育量は少なく推移した。7月の好天で、分けつが旺盛となり、穂数は、平年より、やや多く確保された。登熟中期及び後半の低温で、登熟は遅れたが、作況指数は、平年並みの「100」となった。

品質においては、うるち米の1等米比率は93.3%（平成22年2月末日現在）、主な落等理由は、着色粒（カメムシ類）であった。

#### （1）育苗期（播種盛期は平年並みの4月14日、苗質はおおむね良好）

県全体の播種作業は、平年並みに行われた。育苗期の気温は、おおむね平年より高く、日照時間は平年より多かった。

苗は、やや徒長気味ではあるが、おおむね順調に生育し、苗質は、おおむね良好であった。県南地域の育苗施設で、ばか苗病の発生が目立った。

#### （2）移植期～活着期（移植盛期は平年並みの5月15日、活着はおおむね良好）

県全体の移植作業は、平年並みに行われた（北上川上流、県北部でやや遅）。移植後も好天に恵まれ、平年より高温多照で経過したため、活着は、おおむね良好であった。

#### （3）分けつ期（初期分けつの遅れ回復し茎数やや多）

6月中旬の低温で、生育はやや停滞し、初期生育はやや劣った。このため、6月下旬まで、やや生育量は少なめに経過した。

6月下旬から7月中旬にかけては、好天で経過し、稲体窒素の濃度も高めであったことから、分けつの発生が旺盛となり、7月10日に、各農業改良普及センターが実施した一斉生育調査（24カ所、延べ40品種）の結果、草丈は、平年並（平年差0.4cm）、 $m^2$ 茎数は、やや多く（平年比108%）、葉数は、ほぼ平年並み（平年差+0.1枚）となった。

#### （4）本田生育期の土壌と稲体栄養（地上部乾物重少・窒素吸収量少）

3月から4月の少雨により、乾土効果が大きかったことから、6月までの土壌中のアンモニア態窒素濃度は、全般に高く経過した。乾物重は、平年を下回って推移したため、稲体窒素濃度は、平年並み～高めであった。7月に入って、生育量が急速に確保されており、幼穂形成期までに、土壌窒素は吸収され、葉色が低下してくる圃場が多いと予測されたことから、「ひとめぼれ」では、基準量1～2kg/10aを上限に、「あきたこまち」では、葉色の程度により1kg/10aを上限に追肥を行う指導を徹底した。また、「どんぴしゃり」については、幼穂形成期に2kg/10aを、積極的に追肥するよう指導した。

#### （5）幼穂形成期～出穂期（出穂盛期は平年並みの8月7日）

幼穂形成期は、県全体で、平年並みの7月13日、減数分裂期は、平年並みの7月27日、出穂期は、平年並みの8月7日となった。7月下旬に一時低温となったが、8月上中旬は、高温多照で経過し、出穂・開花は、おおむね順調であった（県北部は、低温の影響もあり、出穂期は平年より4日遅れた。）。

なお、県北部、沿岸地域で、7月下旬に、平均気温が平年を下回って推移したこともあり、出穂が遅れ、開花が遅延し、北部の一部では不稔が発生した。

#### （6）登熟期～成熟期（登熟の中期から後半に低温、成熟期は平年より3日遅い）

登熟初期の8月中旬は、日照時間が多く経過したが、8月下旬～9月中旬にかけて気温が平年を下回り、登熟はやや緩慢に進んだ。このため、粒の肥大が緩慢となり、登熟は遅れた。

#### （7）刈取期（刈取盛期は平年より3日遅い10月7日）

収穫期は、天候に恵まれたものの、登熟が遅れたこともあり、刈取盛期は、平年より3日遅く、特に、県北部では、平年よりも7日遅れるなど登熟停滞の影響が大きくなった。

(8) 収量（作況指数100）

穂数は、平年よりやや多く、一穂粒数が、平年並であったため、1 m<sup>2</sup>当たりの粒数は、平年よりやや多くなった。また、登熟中期から後半の低温の影響で、玄米の充実が不均一となり、登熟歩合は、やや低くなったが、9月の日照時間が多く、千粒重は、平年並であった。その結果、作況指数は、県全体で「100」の平年並となった。

(9) 品質（1等米比率93.3%。落等原因1位は着色粒）

平成22年2月末日現在、うるち米の1等米比率は93.3%（前年同期90.9%）で、2等以下に格付けされた主な理由は、「着色粒（カメムシ類）」が41.5%（前年同期54.3%）、「整粒不足」が21.4%（前年同期5.3%）、「形質（その他）」が18.6%（前年同期10.5%）などで、ほとんどがカメムシによる着色粒が原因となった。

品種別では、「ひとめぼれ」の1等米比率が94.4%（前年同期93.1%）、「どんぴしゃり」が94.6%（前年同期89.5%）、「あきたこまち」が90.9%（86.7%）、「いわてっこ」が89.1%（前年同期83.3%）となった。

(10) 主要病害虫の発生（カメムシ類やや多（斑点米やや多）、葉いもち・穂いもち少）

葉いもちの全般発生開始期は、平年より6日程度遅い7月9日、発生量は、全県的に少発生となり、出穂期の上位葉における発生も、平年より少なかったが、県北、沿岸部で平年よりやや多かったため、穂いもちの発生量は、県北・沿岸部で広く確認され、一部多発しているほ場もみられた。それ以外の地域は、葉いもちの発生量が少なかったこともあり、穂いもちの発生は、平年より少なかった。

カメムシ類は、出穂期（8月上旬）から収穫期（9月中～下旬）までの本田の発生が平年よりやや少なく、全県の斑点米の発生は、平年よりやや少なかった。

(11) 作付動向（農産園芸課調べ）

ア うるち

「ひとめぼれ」と「あきたこまち」で作付面積の8割強を占めた。

「ひとめぼれ」、「いわてっこ」および「かけはし」の作付面積が増加、「あきたこまち」、「どんぴしゃり」、「ササニシキ」の作付面積が前年を下回った。

品 種 名	21年産		前年との比較	
	作付面積 (ha)	作付割合 (%)	対前年差 (ha)	対前年比 (%)
ひとめぼれ	37,162	65.7	298	100.8
あきたこまち	10,007	17.7	▲ 357	96.6
いわてっこ	3,692	6.5	434	113.3
どんぴしゃり	1,220	2.2	▲ 144	89.4
かけはし	700	1.2	15	102.2
ササニシキ	309	0.5	▲ 98	75.9

イ もち

「ヒメノモチ」は作付面積が増加、「もち美人」は前年と比較して減少した。

品 種 名	21年産		前年との比較	
	作付面積 (ha)	作付割合 (%)	対前年差 (ha)	対前年比 (%)
ヒメノモチ	2172	3.8	74	103.5
もち美人	342	0.6	▲ 27	92.7

ウ うるち（醸造用）

「吟ぎんが」、「ぎんおとめ」とともに作付面積が前年を下回った。

品 種 名	21年産		前年との比較	
	作付面積 (ha)	作付割合 (%)	対前年差 (ha)	対前年比 (%)
吟ぎんが	102	0.2	▲ 21	82.9
ぎんおとめ	41	0.1	▲ 18	69.5

2 畑作物（小麦、大豆）

(1) 小麦

ア 21年産小麦（20年播種）

・越冬前

播種は、おおむね適期に行われ、播種後気温が高く経過したことから、出芽・苗立ちも良く、越冬前の生育は良好であった。

・越冬後

根雪期間は、北上市で 29 日（平年よりも 51 日短い）、軽米町で 68 日（平年よりも 2 日短い）となり、県北部は、平年並みの根雪となったが、県中南部では、記録的な暖冬で少雪となった。

雪腐れ病の発生ほ場率は、全県では平年より低かったが、県北部では、発生ほ場が広く見られた。萎縮病類の発生ほ場率は、平年よりやや高く、発生が見られたほ場での発生程度は高かった。

3月下旬と4月下旬に、一時低温が入ったものの、全般に高温で経過し、出穂・開花は、平年より早まった。登熟は良好で、収穫作業は、6月下旬から始まり、7月は梅雨前線や低気圧の影響で、曇りや雨の日が多かったが、晴れ間をぬって、刈取は、順調に進んだ。平年を上回る穂数を確保したところが多く、収量は、平年を上回った。

赤さび病、うどんこ病、赤かび病等の病害虫の発生は少なかった。

10a 当たりの収穫量は県平均で 227kg となり、過去 5 カ年との対比で 136 となった。

（農林水産省統計情報より）

表 1 小麦の品種別検査成績

（平成 22 年 2 月末日現在 農林水産省 H22.3.12 公表）

品種名	区分		21年産
ナンブコムギ	検査数量 (t)		4,748
	等級 比率 (%)	1等	86.8
		2等	12.7
		規格外	0.5
ゆきちから	検査数量 (t)		2,852
	等級 比率 (%)	1等	92.6
		2等	7.4
		規格外	0.0

イ 22年産麦（21年播種）

おおむね適期に播種が行われ、出芽・苗立ちも良く、越冬前の生育は、順調であった。

## (2) 大豆

播種作業は、おおむね順調に行われ、出芽は良好であった。初期生育は、県中南部では7月の少照により、主茎長がやや長くなった。県北部では、6月の低温および寡照により、生育量が小さかった。開花は、おおむね平年並みとなった。登熟期間は、日照量が多く、気温は平年並みに推移し、順調に登熟が進んだ。収穫は、10月中旬頃から始まり、おおむね順調に進んだ。

虫害については、7月下旬頃から、一部、ほ場でウコンノメイガの発生が認められたが、大きな被害はなかった。また、一部地域で、マメシンクイガの被害が目立ち、収量・品質に影響を及ぼしたが、全体的には発生は少なかった。

病害については、べと病、紫斑病の発生は、平年並みであった。

収量は農業研究センター（北上市）作況圃場で、「スズカリ」が35.9kg/a（平年比102）、「ナンブシロメ」で36.4kg/a（平年比125）となった。子実品質では、虫害による障害粒がやや多かった。百粒重は、スズカリ、ナンブシロメともに平年より大きくなった。

## 3 野菜

### (1) きゅうり

露地普通作型の定植は、例年並の5月下旬から行われたが、定植後の曇雨天経過により、全般に活着が進まず、初期の生育が遅れた。

7月中旬には、この時期としてはかなり強い風が吹いたため、茎葉の折損や傷果が発生し、収量が低下したほか、草勢低下やべと病等の病害がまん延した圃場が散見された。

8月に入り、収量は前年並みにまで回復したが、成り疲れや病害の発生から、草勢が低下し、9月中旬には、栽培を終了する圃場も見られた。

しかし、適正な管理により草勢を維持できた圃場では、秋季の気温が比較的高く推移したことから10月まで継続して収穫が行われた。

### (2) トマト

雨よけ普通作型では、ほぼ平年並みの3月末から、定植が開始され、4月の気温が高めで推移したことから、初期の生育は、ほぼ順調だったが、一部で、高温乾燥により葉焼け症状が見られた。

5月は、ハウス内の温度変化が激しく、葉の萎れ等も散見されたが、全般に生育は順調に経過した。また、害虫では、アブラムシ類やスリップスの発生が多い圃場がみられた。

6月以降は、曇雨天経過により、日照が不足し、着色が進まない状況が続いたほか、ハウス内湿度が高まり、葉かび病や灰色かび病の発生が目立った。

8月に入っても、草勢低下や落花がみられ、収穫果実は、小玉傾向であったほか、裂果や灰色かび病が多く見られた。なお、6月中旬以降に定植した抑制作型については、草勢が良好に保たれ、9月の収量も確保された。

### (3) ピーマン

雨よけ普通作型では、例年どおり4月上旬から定植が始まった。4月の気温は、高めに推移したため、活着・初期生育は、良好であった。

5月中旬頃から出荷が始まったが、定植期以降の高温経過により、尻腐れ果の発生が散見された。

6月以降、日照不足や成り疲れなどの影響から、収穫量は、例年より少なかったほか、病害虫の発生は多めで、害虫では、アザミウマ類の被害が例年より多く、病害では、斑点病が各地で発生した。

露地普通作型は、例年並みの5月下旬から定植が行われ、その後の曇雨天経過により、活着が進まず、初期生育が遅れた。

7月中旬には、この時期としては、かなり強い風が吹いたため、茎葉の折損や傷果が発生し、収量が低下したほか、草勢低下や病害虫が発生している圃場が目立った。

8月に入っても、草勢が回復しない圃場が多く、収量が伸び悩んだほか、気温が低下するとともに、果実肥大が緩慢となり、栽培終了となった。

#### (4) ほうれんそう

春先は、乾燥気味の天候が続き、かん水が十分でなかった圃場では、生育が、やや停滞する場合もあったが、全般的に生育は、ほぼ順調であった。

6月中旬頃から、土壌病害による被害が散見されており、各地で土壌消毒の実施も行われた。

7月は、天候が不順で、降水量も多めとなり、特に沿岸部の一部では、雨水がハウス内に流入するなどして、立枯症状が見られた。また、強風の影響により、葉の傷みが見られた圃場もあった。

沿岸部は、特に低温で、経過したこともあり、8月にかけても、過湿による立枯症状や、徒長気味の生育が見られたが、内陸部でも日照の不足により、葉色が淡く徒長する等の影響が見られた。

秋になると、天候が安定したため、生育は、ほぼ順調で、夏の生育不良分を挽回するために、作付を増やしたこともあり、9月の出荷量は多めとなった。

寒締めほうれんそうは、10月から播種が開始された。ここ数年の傾向として、秋の気温低下が遅く、本年度も、想定以上に生育が進む場合が見られた。

#### (5) ねぎ

圃場準備は、順調に進み、4月を中心に、順調に定植された。

定植後は、乾燥気味に経過したため、生育が、やや停滞気味で、葉先枯れも一部で見られたが、その後の降雨により、乾燥状態は解消され、おおむね順調な生育となった。

6月に入ると、ネギアザミウマ等による被害が散見され、その後被害が増加した。

7月中旬以降の天候不順の影響から、やや細めの生育となり、べと病等の病害の也多めとなった。

8月下旬から、収穫が本格化した。細めのねぎが多く見られた。秋の気温低下が遅く、収穫期間も晩秋まで続いたが、12月中旬に、まとまった雪が降った後は、収穫ができず、そのまま圃場に据え置かれるものも見られた。

#### (6) キャベツ

春先の乾燥から、やや定植が遅れ気味となったが、県北部では、4月中旬から定植が開始された。降水量が少なく、生育がやや緩慢であったが、6月上旬の降雨により、生育は回復した。しかし、乾燥の影響から、収穫始めには、小玉のものが多く見られた。

6月から、コナガの発生が目立つ様になり、防除を徹底した結果、その後の大きな被害は見られなかったが、アブラムシ類の発生がやや多く見られた。

7月中旬以降に、降水量が多くなったこともあり、根こぶ病の発生が、例年より多く、収量の低下につながった。また、株腐病も散見された。

9月以降は、天候が比較的安定したため、ほぼ順調な出荷となった。

#### (7) レタス

県央部の春レタスは、ほ場準備の遅れや、乾燥の影響から、生育が遅れ気味となったが、収穫開始は、平年並みの5月中旬から始まり、6月上旬でほぼ終了した。

県北部の定植は、4月から開始され、平年並みの5月下旬から収穫が開始されたが、乾燥の影響もあり、やや小玉傾向となった。

春先に発生が多いナモグリバエの被害は、少なめであったが、降水量が多くなった7月以降には、腐敗性病害の発生がやや多くなり、例年、発生が少ない斑点細菌病の発生も一部では多く見られた。

5月及び7月には、強風により苗が傷み、欠株の発生や生育の遅延が見られた。

夏以降の気象条件は比較的安定したので、おおむね生育は順調であった。

## (8) 夏だいこん

高冷地での播種作業は、例年並みの5月中旬から開始され、その後、順次播種が継続された。一部で、5月及び7月の強風の影響により、まき直しを行った圃場があった。

7月中旬以降の天候不順により、生育の遅れや作業の遅れが見られたが、生育は、ほぼ順調であった。虫害は、やや多い傾向であった。

沿岸部では10月いっぱいまでの収穫となった。

## 4 花 き

### (1) りんどう

#### ア 生育始期

気温は3月から5月にかけて、平年よりやや高く推移し、萌芽・展葉期は平年に比べて早く経過した。

#### イ 生育期

気温はおおむね平年並みに推移したが、5月の降水量が少なく、ほ場が乾燥傾向となり、生育量が、平年を下回った。また5月から6月の花芽分化期に、乾燥傾向となったことから、花蕾の着生にやや影響がみられ、花段数が、低下する傾向が見られた。

生育初期に比べて、生育の進み具合は小さくなったが、平年に比べて、やや早めに推移した。

また一部の地域で、夏前の強風による曲がりや、茎葉の擦れがみられた。

#### ウ 開花期

気温は、8月中旬から9月にかけて、低めに経過し、また、降水量は、9月中下旬に少なく経過し、開花期は、全品種で、平年に比べて若干早くなったが、おおむね需要期の開花となった。

草丈は、平年に比べ短く、また、節数は少ない傾向となり、特に早生種では、花段数が少なくなって、下位等級の割合が高くなった。

#### エ 病害虫

病害の発生は、全般に少発生で経過したが、花腐れ菌核病が、9月中旬以降の晩生・極晩生種で、多く発生した。葉枯病・褐斑病は、一部発生が見られたが、例年に比べ、少なく推移した。

害虫の発生は、全般に平年並みの推移となった。乾燥時期等もあり、発生が懸念されたハダニ類、アザミウマ類は、防除も効果的に行われ、発生は、おおむね平年並みから少なめに推移した。リンドウホソハマキは、越冬世代の発生は、ほぼ平年並みであったが、盛夏過ぎに開花茎や、定植年の株への侵入がみられた。

※ りんどうの生態・生育の平年比較は生育診断予察ほの調査結果より

### (2) 小ぎく

#### ア 育苗・定植期

2月以降の温暖な気温の推移により、母株の伸長は、順調に経過した。

挿し芽後の育苗期は、気温の高い時期もあり、やや高い温度管理となったが、おおむね順調に育苗された。

定植時期は、おおむね平年並みとなった。

#### イ 生育期

8月咲き品種の定植後に降水量が少なく、圃場の乾燥による初期生育の不良がみられ、生育の揃いが悪く、草丈が短い傾向が見られた。

9月咲き品種の草丈は、平年並みとなり、おおむね順調に生育した。

夏前の強風による曲がりや折れが、一部地域で見られた。

#### ウ 開花期

8月咲き品種の開花期は、平年より早い傾向となったが、おおむね盆需要期に出荷された。草丈はやや短めで、あわせて揃いの差が見られた。

9月咲き品種の開花期は、やや早まったが、おおむね需要期の出荷となった。



## エ 病害虫

害虫では、全般に平年並みに推移したが、一部でハダニ類の多発が見られ、生育中盤まで発生が継続した。

白さび病等の病害の発生は、少なめに推移したが、半身萎凋病などの土壌病害による立ち枯れ症状の発生がみられた。

## 5 果 樹

### (1) りんご

#### ア 花芽の状況

平成 21 年産りんごの花芽の状況を花芽率（県平均）で見ると、「つがる」、「ジョナゴールド」、「ふじ」とも平年よりも 10%前後高い花芽率となっており、地域別では、県中南部で、平年よりやや低い地域もあるが、総じて地域間差も少なく、花芽率は、高い状況であった。弱小花芽率は、地域・品種によってバラツキはあるが、県平均ではいずれの品種もほぼ平年並みとなった。

#### イ 発芽～展葉期

今冬は、総じて暖冬傾向の気象経過となり、この条件下で生態の促進が懸念されたが、3月下旬～4月上旬にかけての低温で、生育が停滞し、その結果、県内の発芽日は、ほぼ平年並みで、昨年よりも6日前後遅い観測となった。

なお、発芽期以降は、4月中旬が高温で経過したため、一気に生育が促進され、展葉日で平年より4～5日程度早く、昨年よりも1日程度遅い生育となった。

また、凍霜害は、4月17日、29日に、県内で降霜が確認され、一部地域・品種で花芽や雌しべ・雄しべが枯死する等の凍霜害が発生した。

#### ウ 開花期および結実の状況

展葉期以降4月下旬の寒波の影響で、生育が停滞することも考えられたが、それでも開花始期は、平年より3～4日程度早い開花始期となった。開花始以降は、おおむね好天に恵まれ、満開期・落花期では平年より4日前後早まった。

結実状況を県平均の「ふじ」の結実率で見ると、花数・花そう・中心花のいずれの結実率も平年並み～やや低となった。しかし、花そう結実率で88%、中心花結実率で72%を確保しており、総じて平年並の結実量は確保された。

地域別で見ると、県中部では、おおむね平年並の結実率は確保されているが、県北部並びに県南・沿岸南部で結実率が低めとなっている。これら地域で低くなった要因として、凍霜害の影響、貯蔵養分の不足、開花期の高温・強風等が考えられるが、これら地域でも着果量が不足するような状態ではなかった。その他の品種で、「つがる」は「平年並み～やや高」、「ジョナゴールド」は「ほぼ平年並み」の結実率となった。

なお、凍霜害は、5月15日から16日にかけて県内で降霜が確認され、一部地域・品種で果面のさびや変形果の発生が見られた。

#### エ 果実肥大

生育初期の果実肥大は、開花期の早期化を受け、横径が平年比110～120%（6月1日時点）と大きめでスタートした。その後、6月下旬の異常な高温乾燥で、肥大が停滞する時期もあったが、7月には、まとまった降雨があつて、肥大も回復し、7月下旬時点でも平年比101～106%と、やや大きかった。

また、今年の夏は、梅雨明けが特定されないようなぐずついた経過で、9月も高温・低降水量で推移し、気象変動が激しかったものの、最終的には、いずれの品種もおおむね平年並み以上の大ききさで収穫期を向かえた。

なお、生育期の雹害については、4月から5月に、県内各地で散発的に降雹を確認したが、実害はなかった。

## オ 収穫期及び果実品質

「つがる」の果実品質は、着色は良好であったが、硬度は平年よりやや低め、糖度はほぼ平年並みで経過し、やや着色先行型の状況を呈した。これは、大玉傾向であることと、8月下旬以降の低温の影響と推察される。

「ジョナゴールド」の果実品質は、硬度は平年よりやや低め、糖度は平年よりやや高めと、熟度の進みは早めで経過し、着色も比較的良好であった。ただし、収穫は、台風18号の襲来前に進んだ傾向にあった。

「ふじ」の果実品質は、全体的に平年と比較して硬度はやや軟、糖度は高、蜜入りは並～高の傾向となり、着色も全般的に良好で、果実の生理的な成熟は、やや早い傾向であった。ただし、11月中旬が荒れた天候となったこと等から、収穫は、それ程には早まらなかった。

なお、収穫期の強風害では、10月8日から9日にかけて襲来した台風18号により、地域によって、倒木・落果・枝ズレ等の甚大な被害が発生し、被害額は、りんごだけで3.6億円に達した。

## カ 病害虫

病害は、腐らん病の発生量が増加傾向にあるものの、全体的には少発生であった。

虫害についても、全体的に少発生で経過し、多発が懸念されたハダニ類についても、新規殺ダニ剤が使用された効果で、並～少発生であった。

## キ 作柄評価

生産量は、全農岩手県本部の取扱実績（平成22年2月末時点）から、数量で前年対比102%とほぼ前年並みであった。

販売単価は、前年比94%と下回った。これは、景気低迷による購買量の減少と主産県の販売動向の変化が相まって、価格が低迷した結果と考えられる。

## (2) ぶどう（キャンベルアーリー）

### ア 発芽期～展葉期

暖冬並びに4月中旬の高温の影響で、生態が早まり、紫波町赤沢の定点調査地点で、発芽期は、平年と比較して9日程度早まった。展葉期も、4月下旬の低温の影響をそれほどには受けず、平年より7日、前年より5日程度早まっている。なお、大迫では、紫波ほど早まっておらず、これは、雨よけビニールの被覆時期の差によるものと考えられる。

また、4月29日及び5月15日に降霜があり、発芽が早かった幼木等で、被害が確認されたが、実害は少なかった。

### イ 開花期～結実期

5月下旬以降、好天で推移したため、生育が進み、定点観測地点の満開期は、平年より10日程度早まった。開花期間中、温度は確保されたが、降雨もあり、結実率は、やや低い傾向となった。これは、開花期の降雨の影響で、花冠のとれが悪く、やや花震いが発生したためと考えられる。

### ウ 新梢伸長期

新梢生育は、発芽・展葉が早く、気象条件も適当であったことから、やや早めながら順調に生育し、最終的には、ほぼ平年並みの新梢長と葉枚数になった。

果粒肥大は、7月から8月かけて雨が多かったことから、平年より大きめで推移したが、8月中旬以降、収穫期は乾燥傾向で推移したため、収穫時には、ほぼ平年並みの肥大となった。

### エ 収穫期

8月上旬時点で果実の着色始、糖度上昇は例年より早かったが、少日照の影響から、着

色の進みは緩慢となった。8月中旬以降は、気温が低下したため、着色は順調に進み、着色終期は定点観測地点で、平年より5日程度早まり、収穫期も総じて早まった。収穫期の果実品質は、糖度は平年よりやや高いものの、日照不足の影響で、酸抜けは、やや遅かった。また、8月中旬以降は、降雨が少なかったため、裂果は総じて平年より少なめであった。

#### オ 落葉期

10月中旬の気温が低めで経過したため、落葉は、平年よりやや早まった。新梢の登熟程度は、全般に日照に恵まれたため、ほぼ平年並みとなった。

#### カ 病害虫

病害虫の発生は、総じて少なかったが、地域や品種によって、灰色かび病やうどんこ病の発生が見られた。

#### キ 作柄評価

生産量は、系統取り扱いの出荷販売実績から、前年比 130%と数量となっているが、これは、前年が凍霜害や病害・裂果の発生で減収し、出荷数量が少なかったためである。

販売単価については、前年比 85%と下回り、これは景気低迷による購買量の減少で、市場価格が低迷した結果と考えられる。

※ りんご、ぶどうの生態・生育の平年比較は生育診断予察ほの調査結果より、作柄評価は系統取り扱いの出荷販売実績より。

### 6 飼料作物

#### (1) 牧草

一番草は、5月上旬の高温・少雨により生育（伸長）がやや不良となった。また、6月上旬の連続した降雨により、収穫時期が遅れ気味となり、収量は平年並～やや少なくなった。

また、刈り取り後に、降雨にあたったものも多く、栄養収量の低下もみられた。

二番草は、生育・収量は平年並みであったが、7月の降雨量が多く、この時期に収穫を迎える地域は品質の低下が生じ、作業も遅れ気味となった。

三番草は、9月上中旬の低温少雨に見舞われたものの、牧草生育への影響は少なかった。

しかし、前回の収穫（二番草）が遅れた草地では、3番草収穫までに、十分な牧草再生期間が確保できなかったことから、収量は、平年並～やや少なくなった。

#### (2) とうもろこし

7月下旬から8月の盛夏時に、低温・寡照、9月上中旬の低温の影響から、生育がやや悪く、また、10月8日の台風18号の影響で、適期前収穫又は倒伏被害の発生が見られたため、収量は平年並～少なくなった。

### 7 特用林産物

#### (1) 乾しいたけ

暖冬で経過したため、平年より早めの芽切りとなったものの、発生期の4月は降水量と気温の変動が激しく、また、5月の連休中には急激な温度上昇となったことから、全般的に不作となった。

#### (2) まつたけ

発生初期である9月前半には、雨量が少なく、9月中旬からは低温、多雨に見舞われ、雨量の多かった内陸は豊作傾向、発生期に雨が殆ど無かった沿岸部は不作傾向で、全体的には不作であった。

## 8 水産物

### (1) わかめ

芽出し期にあたる平成 20 年 9 月～11 月の水温が、平年よりも 1～2℃低く推移したことから、巻き込み前後の芽落ちや生育不良は起こりにくい環境であり、生育は、順調に推移した。

3 月上旬まで生育は良好であったが、その後の親潮系冷水の接岸により、生育が停滞したことに加え、漁期中盤には、県中南部を中心に、病虫害が発生したことにより、生産量は、ほぼ例年並みとなった。

### (2) こんぶ

種苗の沖出し時期である平成 20 年 11 月から翌年の 3 月までは、水温が例年よりも 1～2℃低く推移したため、生育は順調であった。しかし、4 月中旬以降の水温が、例年よりも 1～2℃高めに推移したことによる製品の品質低下や病虫害の発生により、湯通し塩蔵こんぶを中心に、大減産となった。

### (3) ほたてがい

平成 20 年に本養成（耳吊り）した貝の生育は、20 年夏の暖水塊接岸の影響等を受けて、県南部で斃死が発生したことから、生産量は例年を下回った。

平成 21 年に本養成（耳吊り）した半成貝は、一部地域で、夏の急潮と思われる斃死が見られている。

### (4) かき

平成 21 年 10 月以降の生産は、夏場の水温上昇が例年並であり、それに伴う成熟状況も例年並となった。しかし、8 月以降は、例年より水温が低かったことから、卵持ちによる品質の低下が懸念されたが、その影響は少なく、順調に推移し、おおむね例年以上の生産状況にあった。

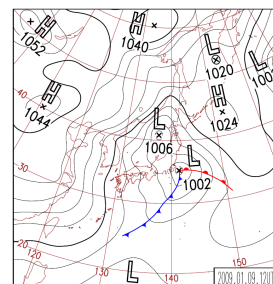
### III 農林水産業気象災害の発生状況

#### 1 1月9日から11日にかけての低気圧接近による災害

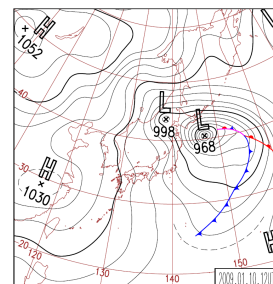
##### (1) 気象概況

9日から10日にかけて、本州南岸を北東進した低気圧が、関東沖に進み、発達しながら三陸沖を北上し、別の低気圧が、日本海を北東進した。日本付近には、強い寒気が流れ込んだ。11日は、これらの低気圧が、北海道の東海上に達し、日本付近には、引き続き強い寒気が流れ込み、北日本は、一時的な冬型の気圧配置となった。また、11日の夜には、日本海中部に、別の低気圧が発生した。

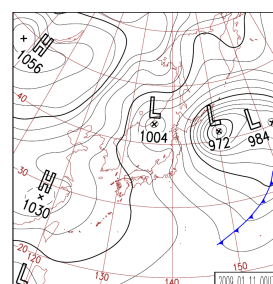
低気圧の影響により、県内は、強風や吹雪、大雪となったところがあり、沿岸の海上では、雪を伴った暴風や大しけとなった。県内各地で、交通障害や停電被害、沿岸北部を中心に、農業施設や林業施設、沿岸では、水産業施設に被害が発生した。



地上天気図 1月9日21時



地上天気図 1月10日21時



地上天気図 1月11日09時

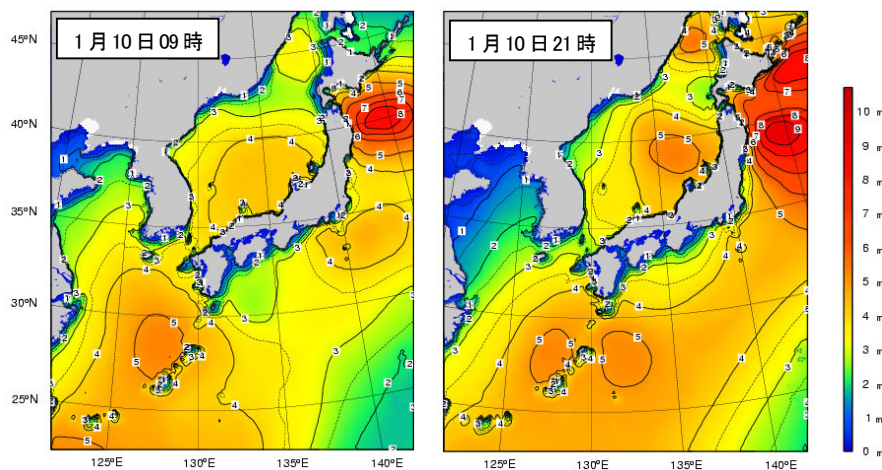
##### ○1月9-11日の主な地点の観測値【風向・風速m/s】

観測所	起日	最大風速		最大瞬間風速		
		風速	風向	風速	風向	
アメダス	久慈	10日	7.3	西	15.3	西南西
	葛巻	11日	10.8	南南西	20.8	南南西
	岩泉	10日	9.5	西	18.4	西南西
	紫波	10日	11.5	北西	18.0	北西
	花巻	11日	8	北	—	—
	山田	10日	6	東	—	—
	釜石	10日	9	西	—	—
官署等	江刺	10日	10.1	北西	18.1	西北北西
	盛岡	10日	9.1	西北北西	16.9	西北北西
	宮古	10日	9.6	北北東	18.4	西北北西
	大船渡	10日	11.8	北北西	24.0	西北北西

※1 黄色は1月としての1位更新(統計期間5年以上の地点)

※2 花巻・山田の最大風速は整数1位、瞬間風速の観測値なし

##### ○沿岸波浪図 (1月10日)



##### 【関連する注警報の発表状況: 1月9-11日】

地域	警報	注意報
盛岡、二戸地域	—	大雪、風雪(強風)、着雪
花北・両磐地域 奥州金ヶ崎地域	—	大雪、風雪(強風)
遠野地域	—	風雪(強風)
沿岸北部	暴風雪、波浪	大雪、着雪、高潮
沿岸南部	暴風雪、波浪	高潮、(強風)

## (2) 被害状況

(単位：千円)

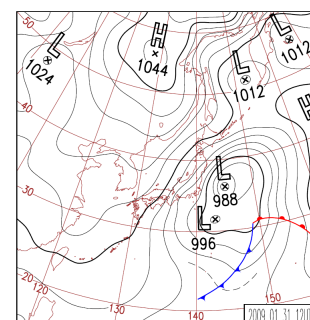
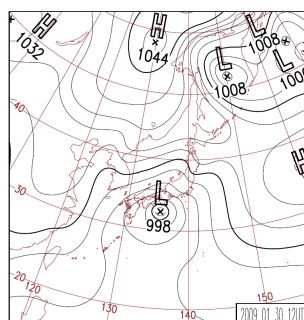
区 分		被害額	被害状況	被害地域*
農 業	農業施設	4,221	パイプハウス倒壊等 19 棟	久慈市、陸前高田市等 3 市町
林 業	林業施設	3,300	治山施設被害	野田村
水産業	水産施設	200	荷さばき施設の破損	大槌町
	漁 船	2,480	船外機船の転覆等 5 隻	大船渡市、釜石市、野田村
	漁 具	2,425	サケ留めの破損 2ヶ統	宮古市
	養殖施設	4,356	かき養殖施設の被害等 53 台	大船渡市、野田村、普代村
	水産物	18,380	かき(殻付き)196千個等	大船渡市、野田村
	漁港施設	20,583	防波堤等 12 箇所	岩泉町、久慈市等 2 市村
計		56,125		

※「被害地域」の欄の市町村は、被害額が多い順に記載。

## 2 1月30日から31日にかけての暴風雪災害

### (1) 気象概況

30日は、低気圧が、発達しながら本州の南岸を北東進し、紀伊半島沖に進んだ。31日は、南岸低気圧が、関東の東海上に進み、さらに発達しながら、三陸沖を北東進した。この低気圧や湿った北東の風の影響により、沿岸北部を中心に、大雪、沿岸の海上では大荒れの天気となった。内陸でも、大雪や吹雪となる場所があった。県内では、強風や大雪により交通障害や停電被害、農業施設、また、沿岸の海上では大しけとなり、水産業施設にそれぞれ被害が発生した。



地上天気図 30日21時

地上天気図 31日21時

### ○1月30-31日の主な地点の観測値【風向・風速m/s】

観測所	起日	最大風速	最大瞬間風速
アメダス	紫波	31日 14.3 北北西	19.8 北北西
	花巻	31日 13.3 北	21.1 北北西
	若柳	31日 11.4 北	19.7 北
官署等	盛岡	31日 11.4 北	19.2 北北西
	宮古	31日 12.1 北	22.6 北
	大船渡	31日 12.2 北	27.5 北北西

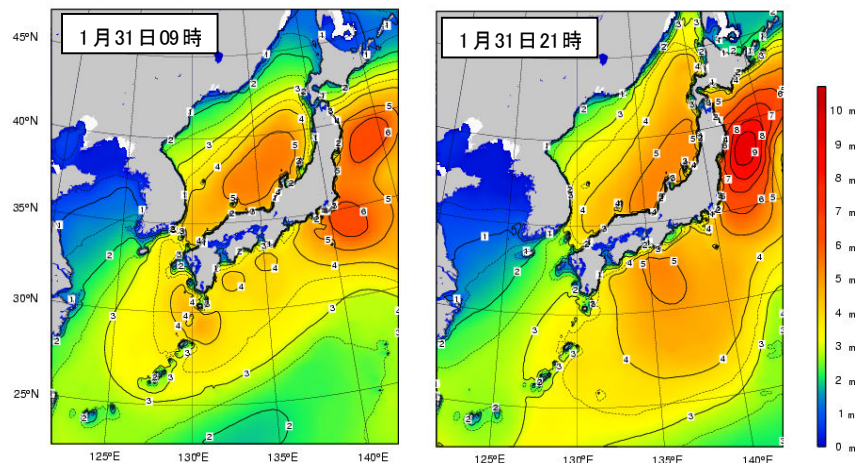
※1 黄色は1月としての1位更新(統計期間5年以上の地点)

※2 値)は「データの一部に欠測がある」ことを示す

### ○1月30-31日の主な地点の降雪量(cm)

	地点名	30日	31日	計
アメダス (沿岸北部)	久慈	1	32	33
	岩泉	8	32	40
	区界	9	8	17
	官署	盛岡	3	18
	宮古	2	22	24

### ○沿岸波浪図 (1月31日)



【関連する注警報の発表状況: 1月30-31日】

地域	警報	注意報
内陸	—	大雪、風雪、なだれ、着雪
沿岸北部	暴風雪、大雪、波浪	なだれ、着雪
沿岸南部	暴風雪、波浪	大雪、なだれ、着雪

(2) 被害状況

(単位: 千円)

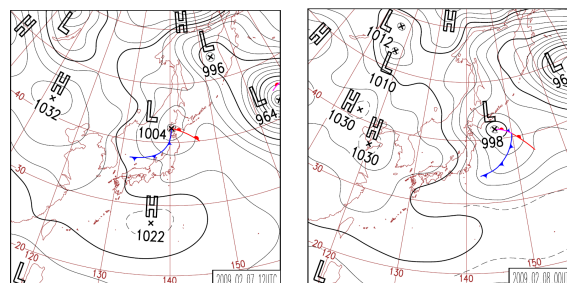
区 分		被害額	被害状況	被害地域 <sup>※</sup>
農 業	農業施設	7631	園芸パイプハウスのビニール破損等 17 棟	花巻市、田野畑村、大船渡市
水産業	水産施設	270	共同作業施設の屋根飛散	釜石市
	養殖施設	300	あわび養殖施設の錨網切断等 6 台	陸前高田市
計		1,333		

※「被害地域」の欄の市町村は、被害額が多い順に記載。

3 2月7日の強風災害

(1) 気象概況

7日は、日本海中部に、低気圧が発生し、前線を伴って津軽海峡付近に進んだ。この低気圧からのびる寒冷前線が、東北地方を通過し、北日本は、冬型の気圧配置となった。県内は、雪を伴って強風となるところがあり、花巻市では、農業施設に被害が発生した。



地上天気図 7日 21時

地上天気図 8日 09時

○2月7日の観測値【風向・風速m/s】

花巻市

観測所	最大風速		最大瞬間風速	
	風速	風向	風速	風向
花巻	6.2	南	9.3	南

官署

盛岡	7.0	南	11.6	南南東
----	-----	---	------	-----

【関連する注警報の発表状況: 2月7日】

地域	警報	注意報
内陸	—	風雪
沿岸北部	—	風雪(強風)
沿岸南部	—	風雪(強風)

(2) 被害状況

(単位: 千円)

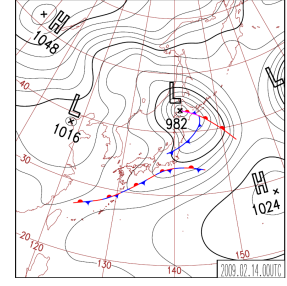
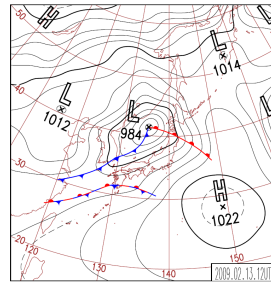
区 分		被害額	被害状況	被害地域
農 業	農業施設	105	園芸パイプハウスのビニール破損 3 棟	花巻市
計		105		

#### 4 2月14日の強風災害

##### (1) 気象概況

13日から14日にかけて、日本海の低気圧が、発達しながら北海道付近に進んだ。この低気圧からのびる寒冷前線が、東北地方を通過し、県内は強風、沿岸の海上では暴風やしけとなった。

強風により、県内各地で、停電被害や交通障害、農業施設に被害が発生した。



##### 〇2月14日の観測値【風向・風速m/s】

観測所	最大風速		最大瞬間風速		
	風速	風向	風速	風向	
アメダス	葛巻	11.2	南南西	22.2	南
	雫石	13.6	西	22.2	西南西
	紫波	17.4	西	27.3	西
	花巻	12.5	西	20.1	西
	若柳	12.3	西北西	20.0	西北西
	江刺	14.9	西北西	22.7	西北西
	住田	12.3	西北西	20.6	西北西
	千厩	11.4	西北西	21.4	西
官署等	盛岡	13.1	西	23.4	西北西
	宮古	11.1	西	23.7	西
	大船渡	11.2	北北西	23.5	北北西

※ 黄色は2月としての1位更新(統計期間5年以上の地点)

##### 【関連する注警報の発表状況:2月14日】

地域	警報	注意報
内陸	—	強風
沿岸北部	暴風	波浪
沿岸南部	暴風	波浪

##### (2) 被害状況

(単位:千円)

区分		被害額	被害状況	被害地域 <sup>※</sup>
農業	農作物	7	ハウレンソウ被害	金ヶ崎町
	農業施設	9,803	パイプハウスビニールの損壊等 120棟	岩泉町、花巻市等5市町
計		9,810		

※ 「被害地域」の欄の市町村は、被害額が多い順に記載。

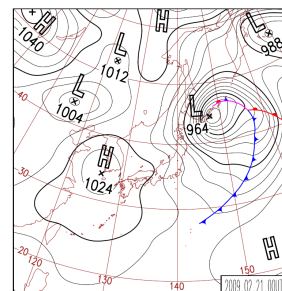
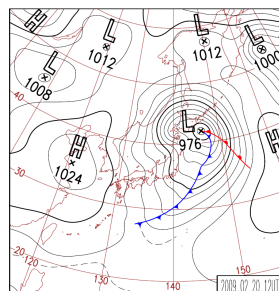
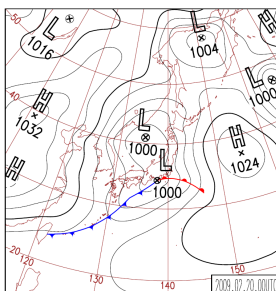
#### 5 2月20日から21日にかけての暴風雪災害

##### (1) 気象概況

20日から21日にかけて、本州南岸の低気圧が、三陸沖を急速に発達しながら北上し、日本海を東進した低気圧と千島近海でひとつになった。21日は、さらに発達して千島の東海上に進み、北日本は、冬型の気圧配置となった。

この影響により、大雪や吹雪・強風となり、20日は、花巻空港で、航空便の欠航など両日にわたって交通障害が発生したほか、花巻市などで強風により農業施設にも被害が発生した。

##### 地上天気図





〇2月20-21日の観測値【風向・風速m/s】

地点名	起日	最大風速		最大瞬間風速		
		風速	風向	風速	風向	
アメダス	二戸	20日	11.2	南西	23.2	西南西
	荒屋	20日	10.2	南西	23.0	南西
	岩手松尾	21日	10.3	西	23.2	西北西
	好摩	20日	11.5	西南西	18.7	西
	雫石	20日	11.9	西	22.9	西北西
	紫波	20日	13.7	西北西	21.8	西南西
	大迫	20日	9.7	西	21.9	西
	江刺	20日	13.1	西北西	22.3	北西
官署等	盛岡	21日	11.6	西	25.4	西北西
	宮古	21日	10.0	西南西	20.5	西
	大船渡	21日	10.4	北北西	22.1	北西

※ 黄色は2月としての1位更新(統計期間5年以上の地点)

【関連する注警報の発表状況:2月20-21日】

地域	警報	注意報
内陸	—	大雪、風雪、なだれ、着雪
沿岸北部	暴風雪	波浪、大雪、なだれ、着雪
沿岸南部	暴風雪	波浪、大雪、なだれ、着雪

(2) 被害状況

(単位:千円)

区分		被害額	被害状況	被害地域*
農業	農業施設	2,842	パイプハウスのビニール破損等 49 棟	花巻市、岩泉町、奥州市
計		2,842		

※ 「被害地域」の欄の市町村は、被害額が多い順に記載。

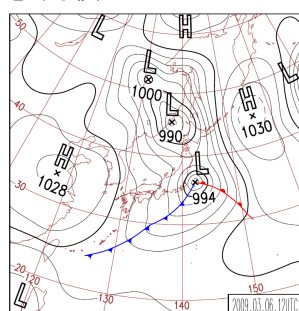
6 3月7日の強風災害

(1) 気象概況

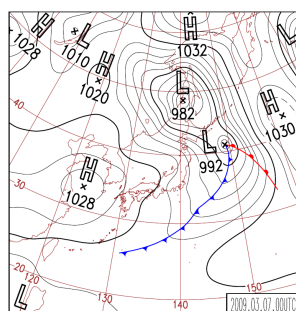
6日は、四国の南海上の低気圧が、関東の東海上に別の低気圧が、日本海中部から北海道の西海上に、ともに発達しながら進んだ。7日は、北海道の西海上の低気圧が、サハリン付近に進み、関東の東海上の低気圧は、三陸沖をさらに発達しながら北東進し、オホーツク海でひとつにまとまった。低気圧の影響により、県内では強風や吹雪となるところがあった。

強風により、県内で交通障害、花巻市で農業施設に被害が発生した。

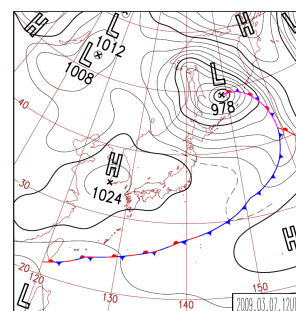
地上天気図



3月6日21時



3月7日09時



3月7日21時

○3月7日の観測値【風向・風速m/s】

アメダス(主な地点)

観測所	最大風速		最大瞬間風速	
	風速	風向	風速	風向
軽米	10.6	西北西	24.2	西北西
葛巻	14.4	南南西	25.3	南南西
岩泉	12.0	西南西	24.1	西南西
紫波	15.2	西北西	21.7	西北西
花巻	9.2	西	20.6	西北西
遠野	8.2	西北西	19.3	西

官署・特別地域気象観測所

盛岡	12.5	西北西	23.6	西北西
宮古	8.5	西南西	20.2	南西
大船渡	10.4	北西	21.2	北北西

※ 黄色は3月として1位更新(統計期間5年以上)

【関連する注警報の発表状況: 3月7日】

地域	警報	注意報
内陸	—	風雪
沿岸北部	—	強風、波浪
沿岸南部	—	強風、波浪

(2) 被害状況

(単位: 千円)

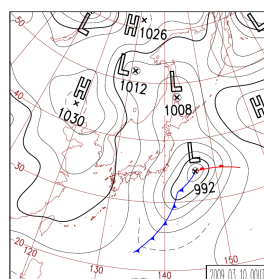
区分	被害額	被害状況	被害地域
農業 農業施設	696	パイプハウスのビニール破損 22 棟	花巻市
計	696		

7 3月10日の強風災害

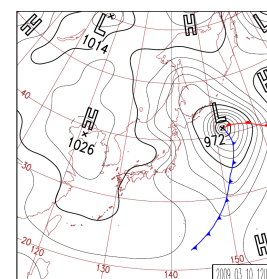
(1) 気象概況

10日は、関東の東海上の前線を伴った低気圧が、三陸沖を発達しながら北東進し、北日本は、次第に冬型となった。県内では、強風や吹雪となる場所があった。

強風により、花巻市で農業施設に被害が発生した。



地上天気図 3月10日 09時



地上天気図 3月10日 21時

○3月10日の観測値【風向・風速m/s】

花巻市周辺

観測所	最大風速		最大瞬間風速	
	風速	風向	風速	風向
紫波	12.8	西	19.7	西
花巻	9.7)	西北西	17.5)	西北西

官署

盛岡	10.7	西	18.2	西
----	------	---	------	---

※ 値)は「データの一部に欠測がある」ことを示す

【関連する注警報の発表状況: 3月10日】

地域	警報	注意報
内陸	—	風雪(強風)
沿岸北部	—	強風
沿岸南部	—	強風

(2) 被害状況

(単位: 千円)

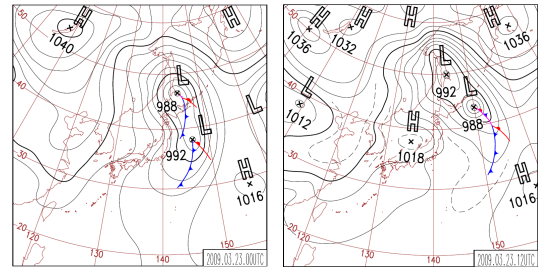
区分	被害額	被害状況	被害地域
農業 農業施設	774	パイプハウスのビニール破損 18 棟	花巻市
計	774		

## 8 3月23日の強風災害

### (1) 気象概況

23日は、北海道の低気圧が、サハリン付近に進み、関東の東海上の低気圧が、三陸沖を北上し、千島近海付近に達した。一方、高気圧が、大陸から日本海に移動し、北日本は、一時的に冬型の気圧配置となった。

県内では、強風や吹雪となるところがあり、花巻市では、農業施設に被害が発生した。



地上天気図 3月23日 09時

地上天気図 3月23日 21時

### ○3月23日の観測値【風向・風速m/s】

花巻市周辺

観測所	最大風速		最大瞬間風速	
	風速	風向	風速	風向
紫波	11.3	西	18.3	西
花巻	8.1	西北西	14.9	西南西

官署

盛岡	11.9	西北西	19.0	西北西
----	------	-----	------	-----

### 【関連する注警報の発表状況: 3月23日】

地域	警報	注意報
内陸	—	風雪(強風)
沿岸北部	—	強風、波浪
沿岸南部	—	強風、波浪

### (2) 被害状況

(単位: 千円)

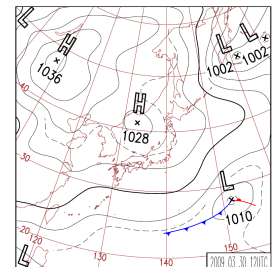
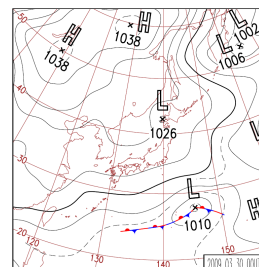
区分	被害額	被害状況	被害地域
農業 農業施設	882	パイプハウスのビニール破損18棟	花巻市
計	882		

## 9 3月30日の融雪災害

### (1) 気象概況

29日は、気圧の谷や寒気の影響で、北日本の標高の高いところでは、雪となるところがあった。

30日は、本州付近は、高気圧に覆われるが、東北地方は、気圧の谷の影響を受けた(久慈市山形と下戸鎖で日降水量3mmを観測した)。30日の最高気温は、山形で4.4℃(平年8.0℃)、久慈で6.6℃(平年9.6℃)を観測した。



地上天気図 3月30日 09時

地上天気図 3月30日 21時

### 【注警報の発表状況: 3月30日】

地域	警報	注意報
内陸	—	—
沿岸北部	—	波浪、乾燥
沿岸南部	—	波浪、乾燥

### (2) 被害状況

(単位: 千円)

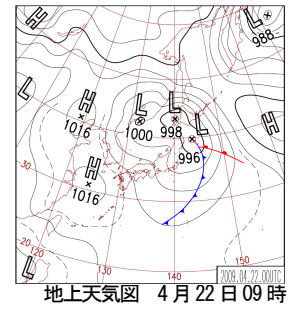
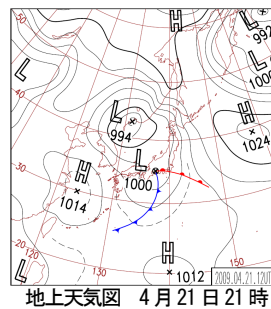
区分	被害額	被害状況	被害地域
林業 治山施設	6,500	階段工 損壊	久慈市
計	6,500		

## 10 4月21日から22日にかけての大雨災害

### (1) 気象概況

21日は、低気圧が、本州の南岸を北東進し、別の低気圧が、日本海を東進した。22日は、南岸低気圧が、三陸沖を北東進し、北海道の東に達した。日本海の低気圧は、北海道付近に進んだ。この影響により、沿岸南部を中心に、大雨となり、2日間の降水量は、大船渡で125.0mmを観測し、4月の平年降水量(138.0mm)に近い降水量となった。

大雨により、沿岸南部を中心に、土砂災害や林業施設に被害が発生した。



### ○4月21日～22日の観測値【沿岸南部の降水量(mm)】

沿岸南部の降水量

単位:mm

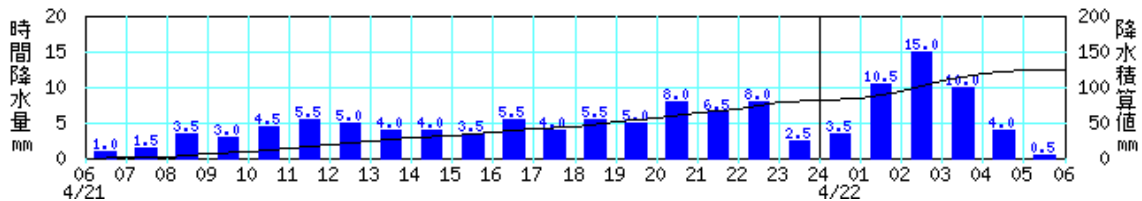
観測所	21日	最大		22日	最大		2日間の合計
		1時間降水量	時分		1時間降水量	時分	
大船渡	81.5	9.0	2249	43.5	16.0	0330	125.0
大槌	15.0	4.0	2313	18.0	9.0	0442	33.0
住田	42.0	5.0	2244	36.5	10.5	0323	78.5
釜石	37.0	4.0	2316	40.5	15.5	0347	77.5

### 【関連の注警報の発表状況】

:4月21日～22日(沿岸南部)

地域	警報	注意報
沿岸南部	大雨	洪水、雷、強風、波浪

### 大船渡の時系列降水量(4月21日06時～22日06時)



### (2) 被害状況

(単位:千円)

区分	被害額	被害状況	被害地域*
林業 治山施設	4,900	山腹工 損壊	大船渡市、陸前高田市
計	4,900		

※「被害地域」の欄の市町村は、被害額が多い順に記載。

## 11 4月23日の強風災害

### (1) 気象概況

22日から23日にかけて、三陸沖の低気圧が、千島近海に進み、一方、23日は、高気圧が朝鮮半島付近に移動した。本州付近は、一時的に冬型の気圧配置となった。県内では、強風となるところがあり、花巻市では、農業施設に被害が発生した。

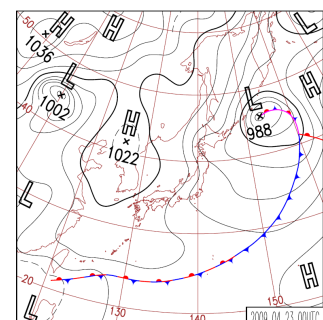
### ○4月23日の観測値【風向・風速(m/s)】

アメダス

観測所	最大風速		最大瞬間風速	
	風速	風向	風速	風向
花巻	9.0	西北西	16.5	北西
紫波	10.1	西	17.2	西北西
官署				
盛岡	10.4	西北西	16.8	西

### 【関連する注警報の発表状況:4月23日】

地域	警報	注意報
岩手県	—	強風



(2) 被害状況

(単位：千円)

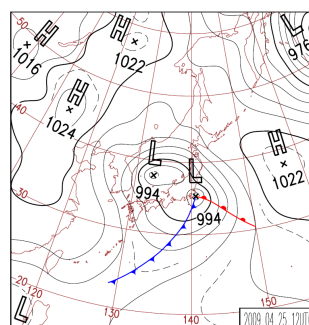
区 分		被害額	被害状況	被害地域
農 業	農業施設	28	パイプハウスのビニール破損 1 棟	花巻市
計		28		

1.2 4月25日から26日にかけての強風、波浪災害

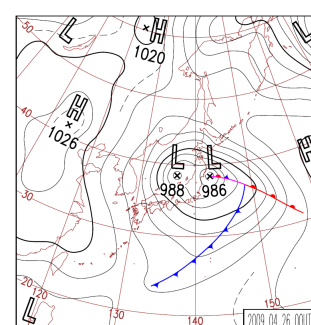
(1) 気象概況

25日は、四国沖の低気圧が発達しながら関東の東海上に進み、26日夜にかけて、さらに発達しながら三陸沖を北上した。また、25日から26日にかけて、上空に寒気を伴った低気圧が、日本海を東進した。岩手県では、低気圧の接近により強風、大雨など荒れた天気となり、沿岸北部の海上を中心に、大しけとなった。

この影響により、沿岸北部で土砂災害、浸水 害、沿岸の海上では漁港施設や養殖施設などに被害が発生した。



地上天気図 4月25日21時



地上天気図 4月26日09時

○4月26日の観測値【風向・風速m/s】

沿岸北部・南部の最大風速7m/s以上の観測所

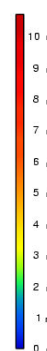
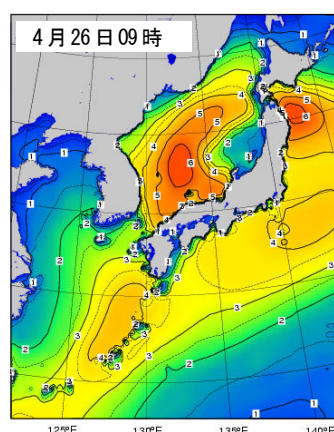
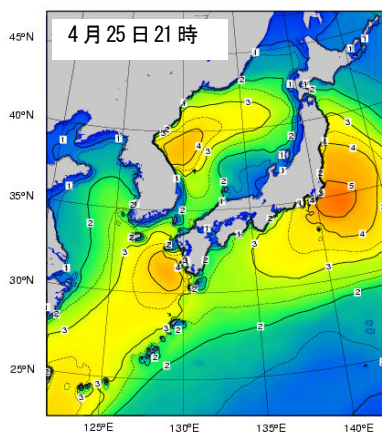
観測所	日最大風速		最大瞬間風速	
	風速	風向	風速	風向
岩 泉	9.1	南西	19.1	南西
小 本	7.5	西南西	21.6	西
宮 古	8.0	北北東	17.4	西北西
大船渡	10.2	北西	20.6	北西

【関連の注警報の発表状況

:4月25日～26日(沿岸北部・南部)】

地域	警報	注意報
沿岸北部	大雨、波浪	強風(風雪)、雷、洪水
釜石地域	大雨	波浪、強風(風雪)、雷、洪水
大船渡地域	—	波浪、強風(風雪)、雷、大雨、洪水

○沿岸波浪図



(2) 被害状況

(単位：千円)

区 分		被害額	被害状況	被害地域※
水産業	漁 船	4,407	漁船の破損浸水被害等 3 隻	釜石市、野田村、山田町
	養殖施設	4,660	こんぶ養殖施設の錨流出等 109 台	普代村、野田村、田野畑村
	漁港施設	700	水域施設 3 箇所	宮古市、久慈市、普代村
計		9,767		

※「被害地域」の欄の市町村は、被害額が多い順に記載。

### 1.3 4月25日から26日にかけての大雨災害

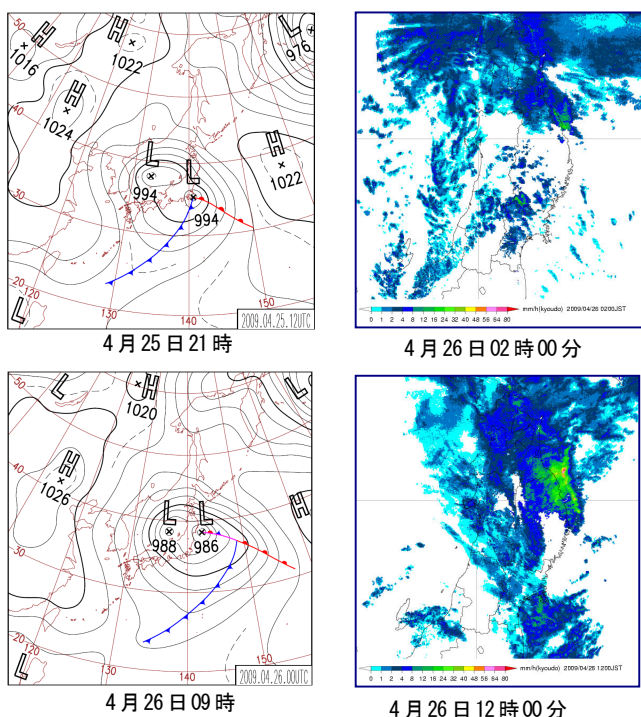
#### (1) 気象概況

25日は、四国沖の低気圧が発達しながら関東の東海上に進み、26日夜にかけて、さらに発達しながら三陸沖を北上した。また、25日から26日にかけて、上空に寒気を伴った低気圧が日本海を東進した。岩手県では、二つの低気圧の接近により、湿った東風や上空の寒気の影響により、沿岸を中心に、大雨、強風となり荒れた天気となった。25日と26日の総降水量は、岩泉町小本で212.0mm、普代201.0mm、洋野町種市159.0mm、久慈158.5mmを観測した。

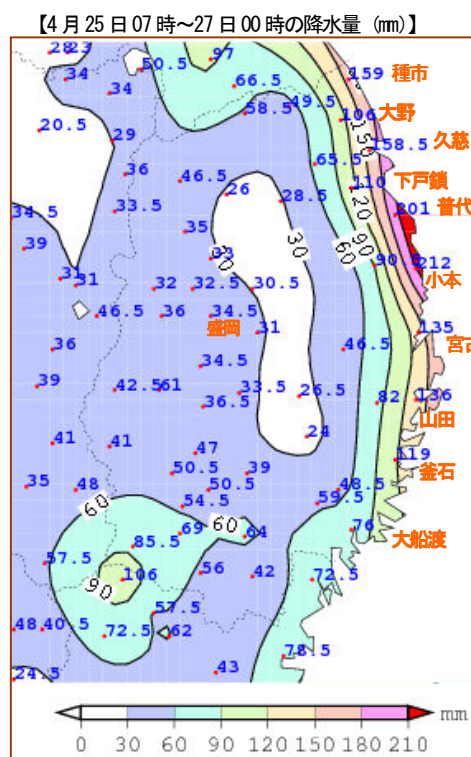
特に岸北部では、26日未明から昼過ぎにかけて強い雨が降り続き、岩泉町小本、普代、洋野町種市、久慈、久慈市下戸鎖で、26日の日降水量が4月の1位を更新する大雨となった。また、この2日間の降水量は、久慈地域を中心に、4月の平年降水量を大きく上回った。また、県北部では雪となる場所もあった。

この大雨により、26日には、久慈市で土砂災害や田野畑村で住家浸水害などが発生した。また、沿岸北部を中心に、交通障害、農業施設の被害、雪によるスリップ事故が発生した。

○地上天気図(左図)、レーダー画像(右図)



○アメダス降水量分布図



○4月25～26日の観測値【主な地点の降水量mm】

地点	日別降水量			最大1時間 日 降水量	
	25日	26日	計		
アメダス	種市	23.5	135.5	159.0	26 23.0
	大野	24.5	81.5	106.0	26 10.0
	久慈	31.0	127.5	158.5	26 18.0
	下戸鎖	30.5	79.5	110.0	26 11.0
	普代	40.5	160.5	201.0	26 23.0
	小本	43.0	169.0	212.0	26 29.5
	山田	68.5	67.5	136.0	26 13.0
	釜石	66.5	52.5	119.0	25 14.0
官署等	盛岡	18.5	16.0	34.5	25 4.0
	宮古	41.0	94.0	135.0	26 14.0
	大船渡	48.5	27.5	76.0	25 6.5

※黄色は4月としての1位更新(統計期間5年以上の地点)

【関連の注警報の発表状況:4月25日～26日】

地域	警報	注意報
盛岡地域	大雨	強風(風雪)、雷、洪水、なだれ、霜、融雪
二戸地域	大雨	強風(風雪)、雷、洪水、霜
花北地域	—	大雨、強風(風雪)、雷、洪水、なだれ、霜、融雪
遠野地域	—	大雨、強風(風雪)、雷、洪水、霜
奥州金ヶ崎地域	大雨	強風(風雪)、雷、洪水、なだれ、霜、融雪
両磐地域	大雨	強風(風雪)、雷、洪水、なだれ、霜、融雪
沿岸北部	大雨、波浪	強風(風雪)、雷、洪水、霜
釜石地域	大雨	波浪、強風(風雪)、雷、洪水、霜
大船渡地域	—	波浪、強風(風雪)、雷、大雨、洪水、霜

○4月26日の観測値【主な地点の風向風速m/s】

地点	日最大風速	最大瞬間風速
ア メ ダ ス		
岩 泉	9.1 南西	19.1 南西
区 界	9.5 東南東	15.9 東南東
紫 波	13.1 北	19.2 北北東
花 巻	13.6 北	19.5 北
官 署 等		
盛 岡	13.2 北	23.1 北
宮 古	8.0 北北東	17.4 西北西
大船渡	10.2 北西	20.6 北西

※黄色は4月としての1位更新(統計期間5年以上の地点)

(2) 被害状況

(単位：千円)

区 分	被害額	被害状況	被害地域
農 業	10,000	農業用水路1箇所	洋野町
林 業	224	不安定土砂流出	久慈市
計	10,224		

1.4 4月から5月にかけての降霜災害

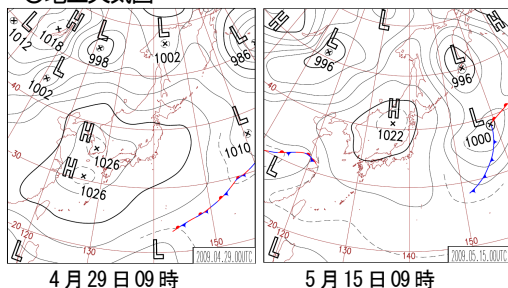
(1) 気象概況

4月17日ー寒気の影響で、県内陸の北部を中心に、最低気温が平年を大きく下まわり霜が降りた。二戸市で、果樹などに凍霜害が発生した(天気図略)。

4月29日ー日本付近は高気圧に覆われ晴れた。県の北部では、明け方に放射冷却により最低気温が平年を大きく下まわるところがあり、二戸地域を中心に霜が降りた。二戸市で、果樹などに凍霜害が発生した。

5月15日ー日本付近は、高気圧に覆われ晴れた。内陸では、明け方の放射冷却により、最低気温が平年を大きく下まわるところがあり、遠野地域を中心に、霜が降りた。遠野市で、野菜類などに凍霜害が発生した。

○地上天気図



日最低気温(°C)

アメダス(二戸市周辺)及び官署

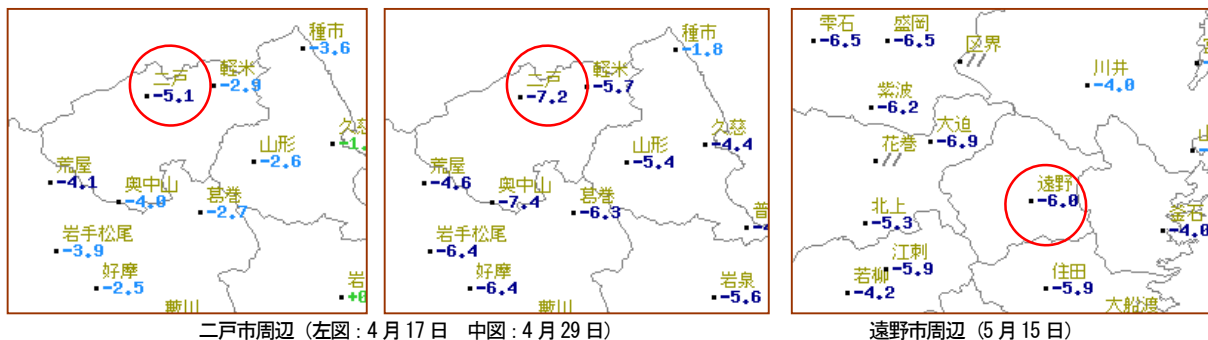
アメダス(遠野市周辺)及び官署

地点名	4月17日		4月29日		地点名	5月15日	
	実況値	平年差	実況値	平年差		実況値	平年差
軽米	-1.4	-2.9	-1.8	-5.7	花巻	1.4	-
二戸	-2.7	-5.1	-2.1	-7.2	大迫	0.6	-6.9
山形	-1.6	-2.6	-2.1	-5.4	遠野	1.1	-6.0
荒屋	-2.8	-4.1	-0.9	-4.6	北上	4.0	-5.3
奥中山	-3.3	-4.0	-4.1	-7.4	江刺	3.4	-5.9
葛巻	-1.5	-2.7	-2.7	-6.3	住田	2.1	-5.9
官署					盛岡	1.8	-6.2
盛岡	2.3	-0.7	-0.5	-5.9			

※花巻は平年値なし

最低気温平年差分布図【色一階級・値-°C】

青：低い 濃青：かなり低い



【関連する注意報の発表状況：4月17日・29日、5月15日】

月	日	注意報	地域
4	17	霜	盛岡・二戸・花北地域、沿岸北部
4	29	霜	岩手県
5	15	霜	岩手県

※日付は対象日で、発表は前日または当日

(2) 被害状況

(単位：千円)

区 分		被害額	被害状況	被害地域*
農 業	農 作 物	16,199	凍霜害 10.95ha	二戸市、遠野市
計		16,199		

※「被害地域」の欄の市町村は、被害額が多い順に記載。

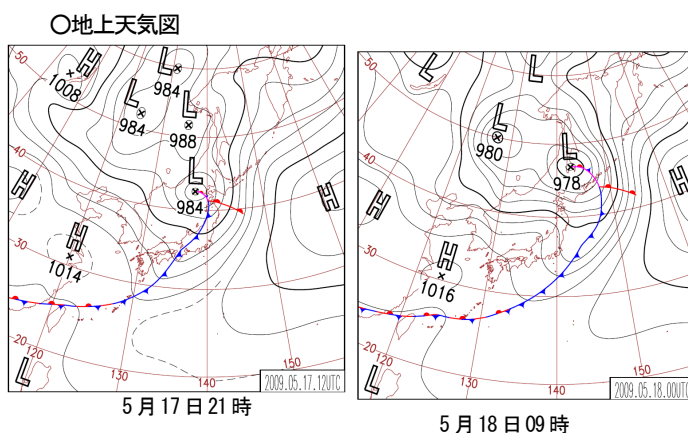
15 5月17日から18日にかけての強風災害

(1) 気象概況

17日は、日本海の低気圧が、発達しながら北海道の西海上に進み、この低気圧からのびる寒冷前線が、東北地方を通過した。18日は、低気圧がサハリン付近に達し、北日本は気圧の傾きが急になり、県の北部を中心に、各地で強風となったほか、沿岸の海上ではしけとなった。

18日の最大風速は、紫波で17.7m/sを観測し、年としての1位を更新した。また、雫石で12.2m/s・岩泉で12.0m/sを観測し、8地点で5月としての1位を更新した。

この強風により、盛岡市や花巻市など住家被害や停電被害、交通障害が発生したほか、県の北部を中心に、農業施設への被害があった。



【関連する注警報の発表状況：

5月17日～18日】

地域	警報	注意報
岩手県	—	強風

○5月18日の観測値【主な地点の風向風速 m/s】

地点	最大風速		最大瞬間風速	
	風速	風向	風速	風向
山形	10.1	南西	21.9	南西
奥中山	10.3	西南西	21.5	西南西
葛巻	11.4	南南西	23.2	南南西
好摩	11.9	南西	19.9	南南西
岩泉	12.0	西南西	25.7	西南西
雫石	12.2	西	23.1	西
紫波	17.7	西	26.9	西
花巻	11.2	西北西	20.1	西北西
大迫	9.6	西北西	20.6	西北西
遠野	7.9	西	18.9	西
住田	11.7	西北西	22.8	北西
官署等				
盛岡	13.2	西南西	23.6	南西
宮古	8.1	南西	20.8	西
大船渡	7.5	北西	20.2	西北西

※1 黄色は5月としての1位更新(統計間が5年以上の地点)

※2 橙色は年としての1位更新(統計間が5年以上の地点)

(2) 被害状況

(単位：千円)

区 分		被害額	被害状況	被害地域*
農 業	農業施設	5,064	ビニールハウスのビニール破損等 110 棟	一戸町、花巻市他 1 1 市町
水産業	漁 船	800	転覆 1 隻	山田町
	養殖施設	50	ほたてがい養殖施設の破損 1 台	大槌町
計		5,914		

※「被害地域」の欄の市町村は、被害額が多い順に記載。



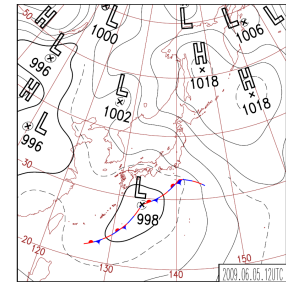
## 16 6月5日から7日にかけての大雨災害

### (1) 気象概況

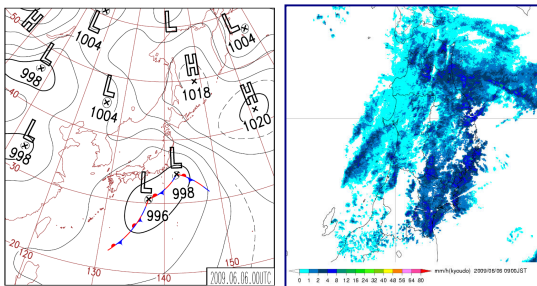
5日は、沖縄本島付近の低気圧が、前線を伴って日本の南海上に進んだ。一方、千島の東海上の高気圧が、北日本に張り出し、岩手県は、沿岸を中心に、湿った空気が流れ込んだ。その後、関東の東海上の前線上に低気圧が発生し、7日にかけて発達しながら三陸沖を北上した。岩手県は、湿った東よりの風や低気圧の接近の影響により、沿岸北部や南部を中心に、大雨となった。

5日から7日にかけての総雨量は、釜石（225.0mm）などで200mmを超えたところもあり、この3日間の総雨量は、6月の月間平均降水量を上回る地点もあった。6日の日降水量は、岩泉 102.5mm・普代 164.5mm・大槌 127.0mmを観測し、6月としての1位を更新した。

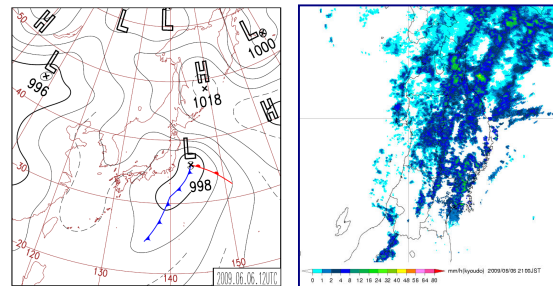
この大雨により、5日から7日にかけて釜石市で浸水害、花巻市や洋野町で土砂災害、沿岸南部を中心に、農業施設や漁港施設に被害が発生した。また、沿岸北部や南部で、交通障害が発生した。



6月5日21時00分 地上天気図

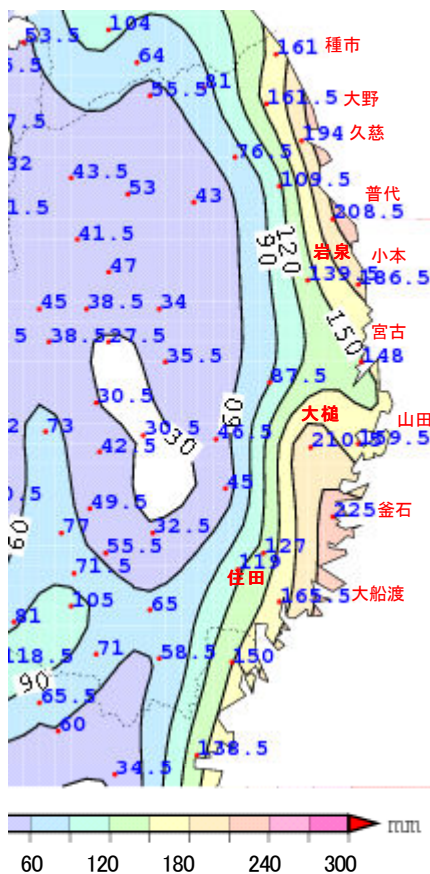


6月6日09時00分 地上天気図とレーダー画像



6月6日21時00分 地上天気図とレーダー画像

○アメダス降水量分布図 (6月5日00時～8日00時)



○6月5～7日の観測値【主な地点の降水量mm】

地点	日別降水量				最大1時間		
	5日	6日	7日	計	日	降水量	
アメダス	種市	17.0	91.5	52.5	161.0	7	10.0
	大野	14.5	122.5	24.5	161.5	6	9.5
	久慈	18.0	135.0	41.0	194.0	7	17.5
	岩泉	23.5	102.5	13.5	139.5	5	8.0
	普代	17.5	164.5	26.5	208.5	7	13.5
	小本	29.5	133.0	24.0	186.5	6	15.0
	大槌	79.5	127.0	4.0	210.5	5	19.0
	山田	28.5	117.0	14.0	159.5	6	9.5
	釜石	48.5	171.5	5.0	225.0	5	16.5
	住田	46.5	69.0	3.5	119.0	5	13.5
官署等	衣川	11.0	91.5	2.5	105.0	6	22.0
	盛岡	5.0	20.5	2.0	27.5	6	3.5
	宮古	19.0	113.5	15.5	148.0	6	9.5
大船渡	63.0	101.0	1.5	165.5	5	23.0	

※網がけは4月としての極値更新

【関連の注警報の発表状況：6月5日～7日】

地域	警報	注意報
盛岡・二戸・花北・奥州金ヶ崎地域	—	雷、強風、大雨
遠野地域	—	大雨、洪水、雷、強風
両磐地域	大雨	雷、強風、洪水
沿岸北部	大雨	雷、強風、洪水、波浪
沿岸南部	大雨	雷、強風、洪水、波浪

(2) 被害状況

(単位：千円)

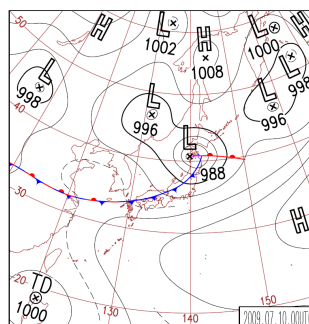
区 分		被害額	被害状況	被害地域※
農 業	農地・農業用施設	1,000	水田の法面崩壊1箇所	住田町
林 業	林業施設	18,305	法面崩壊15箇所	釜石市、大船渡市他2市町
水産業	漁港施設	1,500	水域施設3箇所	大槌町、宮古市、釜石市
計		20,805		

※「被害地域」の欄の市町村は、被害額が多い順に記載。

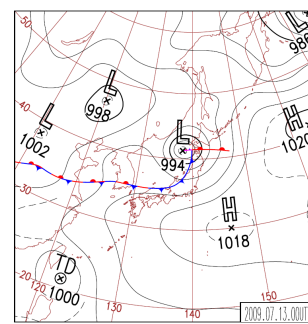
1.7 7月10日から13日にかけての強風災害

(1) 気象概況

10日と13日は、日本海西部から北海道付近に低気圧が発達しながら進み、この低気圧からのびる梅雨前線等が東北地方を通過した影響で、県内全域で強風となる場所があった。日最大風速は、10日に13地点で、13日に8地点で7月としての1位をそれぞれ観測した(10日の岩泉と遠野の2地点は年としても1位となった)。



地上天気図 7月10日09時



地上天気図 7月13日09時

この強風により、県内では交通障害や停電被害のほか、農産物や農業施設に被害が発生した。

○主な地点の風速・風向の観測値 (m/s)

7月10日

7月13日

地点	最大風速		最大瞬間風速		地点	最大風速		最大瞬間風速	
	値	風向	値	風向		値	風向	値	風向
盛岡※	12.4	南南西	20.5	南西	盛岡※	11.0	南	17.9	南
宮古※	7.7	南西	19.2	南南西	宮古※	6.5	南南西	18.2	西
大船渡※	10.0	北西	22.6	西北西	大船渡※	6.4	北西	19.8	西南西
二戸	11.2	南西	20.2	南西	葛巻	9.8	南南西	21.1	南南西
山形	10.5	南西	22.1	西南西	雫石	10.7	西	20.5	西南西
奥中山	7.5	南西	22.6	西	紫波	10.7	西	24.1	西
岩手松尾	8.0	南西	20.2	西南西	川井	9.4	南南西	26.0	西南西
好摩	11.6	南南西	17.8	南西	沢内	9.3	西南西	23.1	西
岩泉	15.1	西南西	29.9	WSW	釜石	7.9	西	22.3	西
藪川	6.2	西南西	17.1	南南西	江刺	12.2	西北西	20.3	西北西
花巻	9.6	南西	17.5	南西	千厩	11.4	西	18.6	西南西
大迫	9.1	西北西	17.9	西北西					
遠野	9.8	西	21.3	西					
北上	6.3	西北西	12.4	西北西					
住田	12.2	北西	21.0	西北西					
一関	8.6	北西	15.3	西南西					

①※は官署・特別地域気象観測所  
 ②黄色は7月としての1位更新  
 ③橙色は年としての1位更新  
 (ともに統計期間5年以上の地点)

【関連の注警報の発表状況：7月10日・13日】

日	地域	警報	注意報
10日	岩手県	—	強風
13日	岩手県	—	強風

(2) 被害状況

(単位：千円)

区 分		被害額	被害状況	被害地域※
農 業	農作物	111,054	ホップ枝折れ、果樹、花き、野菜のすれ傷等	遠野市、6市町村
	農業施設	10,355	パイプハウスのビニール破損等191棟	花巻市、遠野市14市町村
計		121,409		

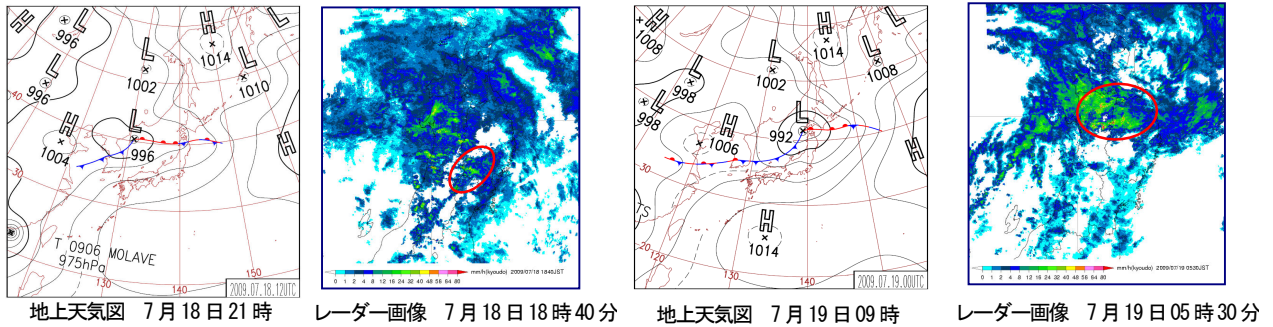
※「被害地域」の欄の市町村は、被害額が多い順に記載。

## 18 7月19日の大雨災害

### (1) 気象概況

18日は、朝鮮半島付近の低気圧が日本海西部に進み、この低気圧からのびる梅雨前線が東北北部を通過して三陸沖に達する。19日は、この低気圧が釧路沖に進み、低気圧からのびる寒冷前線が東北地方を通過した。このため、内陸を中心に、大雨となり、北上川流域では、降り始めの18日12時から19日18時までの総雨量は100mmを超える地点があった。

この影響により、土砂災害や浸水害、交通障害のほか農業施設や林業施設に被害が発生した。



### ○主な地点の降水量

日降水量50mmの地点と盛岡の降水量    単位:mm

観測所	18日	日最大		19日	日最大		2日間の合計
		1時間降水量	最大		1時間降水量	最大	
葛根田	54.5	12.5	1757	103.5	26.5	0506	158.0
滝沢	34.5	11.0	1809	84.0	21.0	0456	118.5
藪川	19.5	7.5	1827	64.5	20.0	0532	84.0
雫石	33.5	14.0	1804	64.0	16.5	0446	97.5
盛岡	21.0	8.0	1817	37.0	11.0	0512	58.0
沢内	55.0	10.5	2257	93.5	21.0	1222	148.5
豊沢	36.0	8.0	2048	73.5	14.0	1228	109.5
花巻	41.0	18.0	2044	53.5	16.0	0925	94.5
附馬牛	40.0	9.0	2107	64.0	12.5	1643	104.0
湯田	39.0	12.0	0007	74.5	21.0	1237	113.5

【関連の注警報の発表状況  
7月18日～19日の内陸】

地域	警報	注意報
盛岡地域	大雨、洪水	雷、強風
二戸地域	—	大雨、洪水、雷、強風
遠野	大雨	洪水、雷、強風
花北地域		
奥州金ヶ崎地域 両磐地域		

### (2) 被害状況

(単位:千円)

区分		被害額	被害状況	被害地域*
農業	農地・農業用施設	8,000	水路の破損3箇所 水田の法面崩壊4箇所	雫石町、盛岡市、西和賀町
	林業		林業施設	
計		83,800		

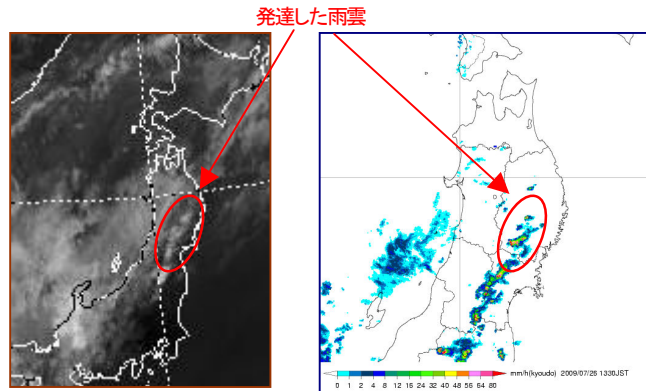
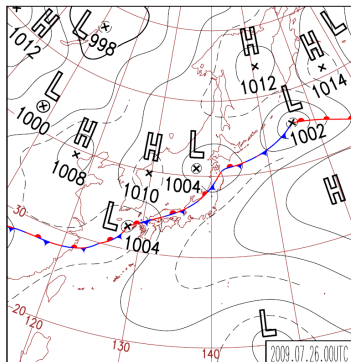
※「被害地域」の欄の市町村は、被害額が多い順に記載。

## 19 7月26日の大雨災害

### (1) 気象概況

26日は、梅雨前線が九州北部から本州の日本海沿岸を通って東北地方にかけて停滞した。また、日本海中部の低気圧が、北海道の西海上に進んだ。南から暖かく湿った空気が流れ込んで梅雨前線の活動が活発になり、東北地方は、大気の状態が不安定となった。県南部を中心に、雷を伴って局地的に激しい雨となったところがあった。

この影響により、奥州市で住家の浸水害や道路損壊、水田の法面崩壊などの農業施設被害が発生した。



### 26日の奥州市周辺の降水量

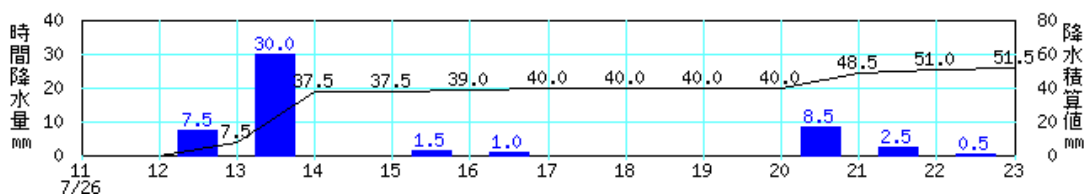
単位: mm

観測所	日降水量	最大	
		1時間降水量	
		最大	時分
北上	4.0	3.0	2148
米里	5.0	3.0	2223
若柳	29.0	17.0	1446
江刺	11.5	4.5	1410
祭時	12.5	8.5	2110
衣川	51.5	36.5	1338
大東	12.0	10.5	2203
一関	1.0	1.0	2157

### 【関連の注警報の発表状況:7月26日(奥州市周辺)】

地域	警報	注意報
花北地域	大雨、洪水	雷
奥州金ヶ崎地域	大雨、洪水	雷
遠野地域	大雨	洪水、雷
両磐地域	—	大雨、洪水、雷

### 衣川の時系列降水量 7月26日11時~23時



### (2) 被害状況

(単位: 千円)

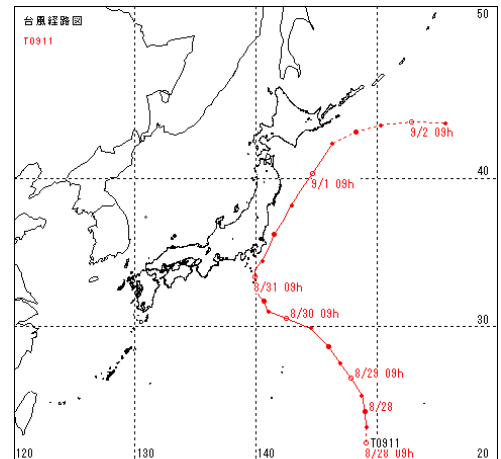
区分	被害額	被害状況	被害地域
農業	2,000	水田の法面崩壊	奥州市
計	2,000		

## 20 8月31日から9月2日にかけての台風第11号による災害

### (1) 気象概況 (8月31日～9月2日)

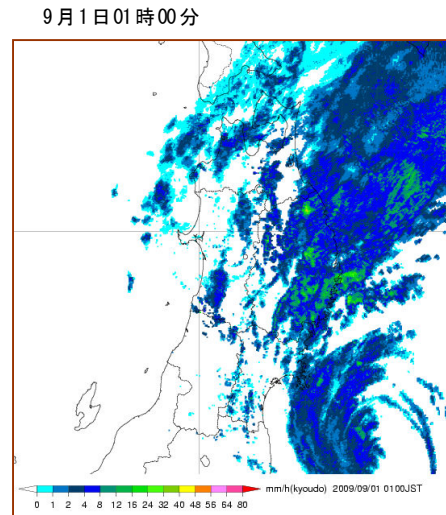
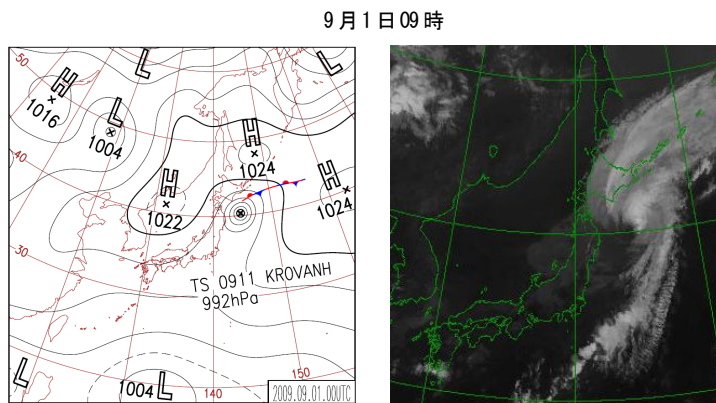
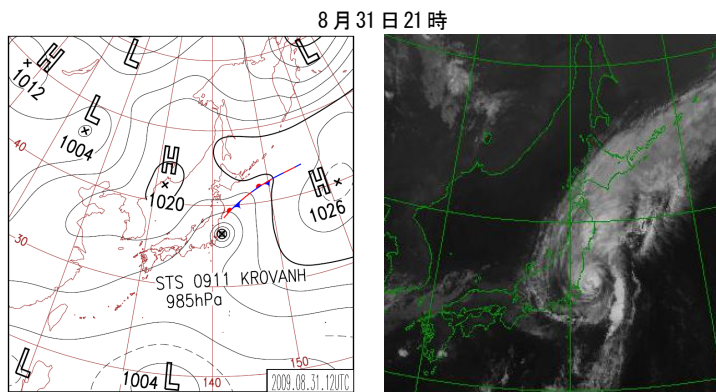
8月28日21時、小笠原諸島の南海上で発生した台風第11号は、31日に八丈島の東を通過し、関東の南海上から三陸沖に進み、前線が関東の東海上から北海道の東海上に停滞した。9月1日、台風は、三陸沖を北東進し、1日21時に北海道の東海上で温帯低気圧となった。県の南部では、8月30日の夜遅くから、雨が降りはじめ、9月1日にかけて、沿岸北部や南部を中心に、大雨となり、沿岸の海上では大しけとなった。

大雨により、交通障害や宮古市では林業施設の被害が発生した。



台風第11号の経路図  
実線は台風、破線は温帯低気圧の期間を示す。

○地上天気図 (左図)、気象衛星赤外画像 (中図)、レーダー画像 (右図)



8月31日～9月1日の宮古市周辺の降水量 単位:mm

観測所	8月31日	9月1日	最大1時間降水量		
			起日	最大	時分
小本	57.0	21.0	1日	8.0	0114
区界	38.0	2.0	31日	4.5	2249
宮古	57.5	22.0	1日	10.0	0055
川井	51.0	15.5	1日	15.5	0059
山田	62.0	16.5	1日	9.5	0035

【関連の注警報の発表状況:8月31日～9月1日(沿岸部)】

地域	警報	注意報
内陸	—	大雨、洪水、雷、強風
沿岸北部	暴風、波浪	大雨、洪水、雷
沿岸南部		

### (2) 被害状況

(単位:千円)

区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農地・農業用施設	79	パイプハウスのビニール破損3棟	花巻市
林業	森林	40,000	林地崩壊	宮古市
計		40,079		

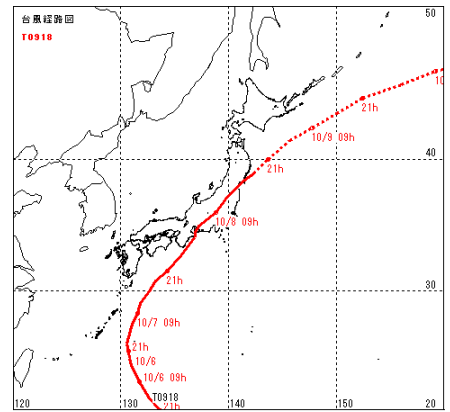
## 2 1 10月8日から9日にかけての台風第18号による災害

### (1) 気象概況 (10月7日～9日)

9月29日21時、マーシャル諸島付近で発生した台風第18号は、非常に強い勢力を保ったまま10月8日5時過ぎに愛知県知多半島付近に上陸した。その後、本州を縦断し、18時に釜石市の南東約50キロに達し、この頃、岩手県に最も近づいた。岩手県は、台風の接近に伴い、沿岸北部や南部を中心に大雨となって、8日の日降水量は、普代258.0mm・久慈219.0mm、日最大1時間降水量は普代52.5mmを観測した。さらに8日昼過ぎから9日未明にかけて、台風の暴風域に入り、日最大瞬間風速は大船渡31.3m/s、盛岡28.1m/s、日最大風速は紫波17.8m/sを観測し、大荒れの天気となった。その後、台風第18号は、三陸沖を北東進し、8日21時頃には三陸沖で温帯低気圧に変わり、9日には北海道の東海上に進んだ。

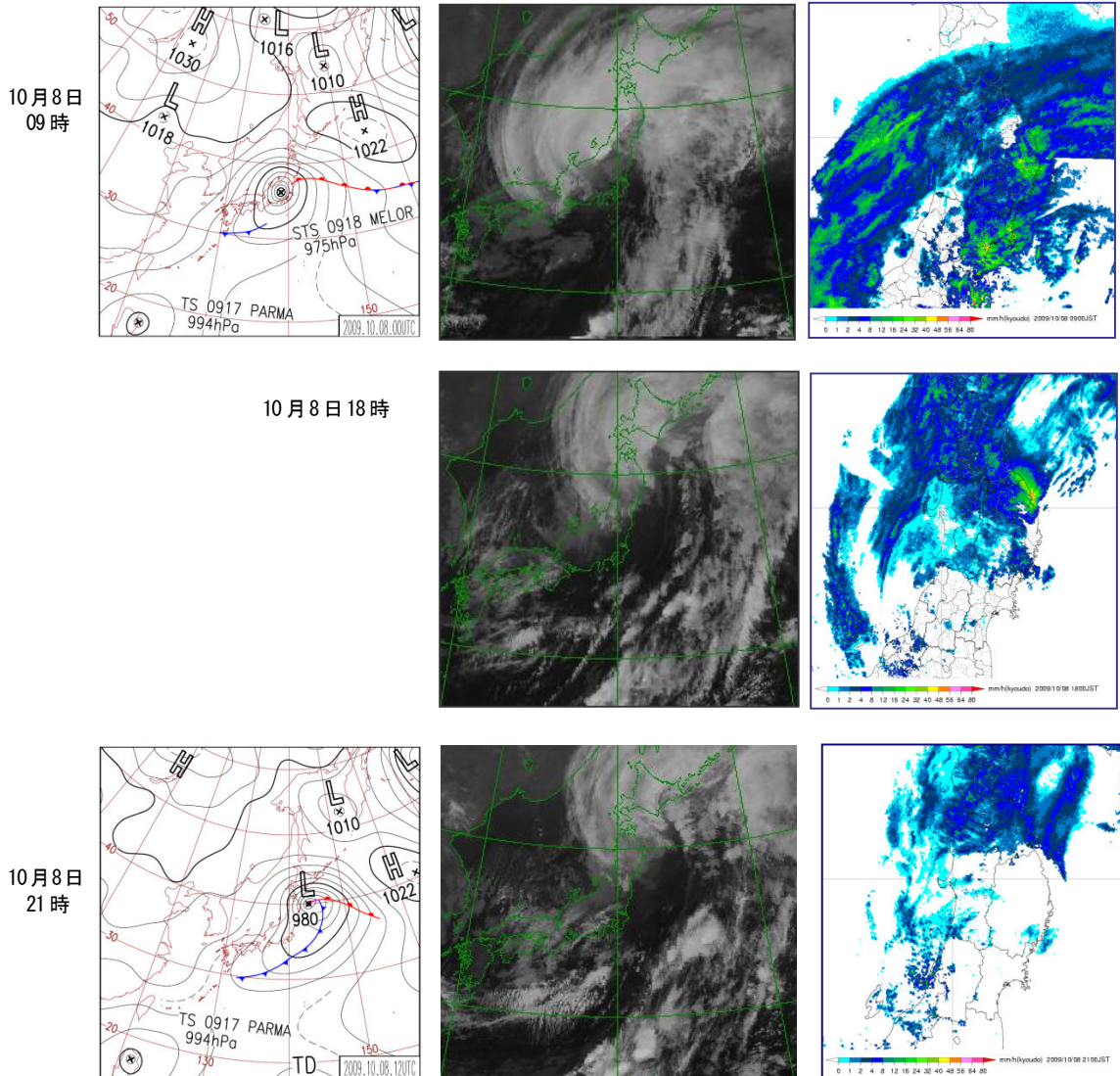
この大雨や強風により、県内では、土砂災害、床上床下浸水、住家一部損壊、交通障害のほか、リンゴの落果など農作物や農業施設の被害が発生した。

また、沿岸の海上では、台風の接近に伴い暴風や高潮、おおしけとなり、漁港施設や養殖施設などの水産関係に被害が発生した。



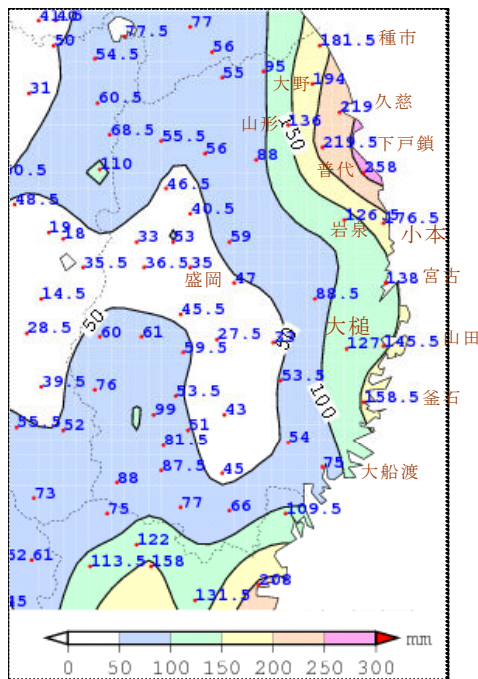
台風第18号の経路図  
実線は台風、破線は温帯低気圧の期間を示す。

○地上天気図 (左図)、気象衛星赤外画像 (中図)、レーダー画像 (右図)



○アメダス降水量分布図

【平成21年10月7日21時～10月9日1時の期間降水量(mm)】



期間降水量 100mm以上のアメダス地点と官署等 単位：mm

アメダス	種市	大野	山形
	181.5	194.0	136.0
	久慈	下戸鎖	普代
	219.0	219.5	258.0
	小本	岩泉	大槌
	176.5	126.5	127.0
山田	釜石		
145.5	158.5		
官署等	盛岡	宮古	大船渡
	35.0	138.0	75.0

【関連する注警報の発表状況: 10月7日～9日】

地域	警報	注意報
盛岡・花北地域	—	大雨、雷、強風、洪水
二戸・遠野 奥州金ヶ崎 両磐地域	大雨、洪水	雷、強風
沿岸北部	大雨、洪水、 暴風、波浪、高潮	雷
沿岸南部		

○主な地点の風向・風速 (m/s)

10月8日の最大風速(日最大10m/sと日最大瞬間風速20m/s以上の地点)

単位：m/s

日最大風向風速 日最大瞬間風速風向	日最大		時分	日最大		時分
	風速	時分		瞬間風速	時分	
二戸	風向	北北東		北北東		
	風速	8.8	1618	23.6	1532	
軽米	風向	北北西		北北西		
	風速	7.3	1822	19.2	1742	
久慈	風向	北北西		北		
	風速	9.2	1940	23.6	1917	
荒屋	風向	北北東		北		
	風速	10.4	1547	23.0	1542	
岩泉	風向	東北東		北東		
	風速	12.5	1613	26.0	1604	
雫石	風向	北東		北東		
	風速	10.5	1545	20.1	1543	
藪川	風向	東北東		東		
	風速	10.9	1234	21.5	1417	
盛岡	風向	北		北		
	風速	15.6	1733	28.1	1626	
宮古	風向	北北東		北西		
	風速	13.1	1320	24.6	1937	
大船渡	風向	北東		東北東		
	風速	15.0	1103	31.3	1057	

※1 黄色は10月としての1位更新  
 ※2 橙色は年としての1位更新  
 (ともに統計期間が5年以上の地点)

○極値更新

【気象官署・特別地域気象観測所（10月の5位まで）】

地点名	要素名	順位	値	起日(時分)	統計期間
盛岡	日最大風速・風向	4	北 15.6m/s	10月8日 17時33分	1923年10月～
盛岡	日最大瞬間風速・風向	1	北 28.1m/s	10月8日 16時26分	1941年10月～
宮古	月最大24時間降水量	3	138.0ミシ	10月8日 20時00分	1971年10月～
大船渡	日最大風速・風向	4	北東 15.0m/s	10月8日 10時57分	1963年10月～

【地域気象観測所（10月としての1位更新、「年」は年としての1位更新）】

地点名	要素名	順位	値	起日	統計期間
種市	日降水量	1	181.0mm	10月8日	1976年10月～
大野	日降水量	1	193.5mm	10月8日	1976年10月～
久慈	日降水量	1	219.0mm	10月8日	1976年10月～
普代	日降水量	1	258.0mm	10月8日	1977年10月～
湯田	日降水量	1	74.5mm	10月8日	1976年10月～
種市	日最大1時間降水量	1	25.5mm	10月8日	1976年10月～
大野	日最大1時間降水量	1	34.0mm	10月8日	1976年10月～
久慈	日最大1時間降水量	1	49.5mm	10月8日	1976年10月～
花巻	日最大1時間降水量	1	14.5mm	10月8日	2003年10月～
荒屋	日最大風向・風速	1	北北東 10.4m/s	10月8日	1977年10月～
岩泉	日最大風向・風速	1	東北東 12.5m/s	10月8日	1977年10月～
区界	日最大風向・風速	1	東南東 11.8m/s	10月8日	1993年10月～
紫波	日最大風向・風速	1(年)	北北西 17.8m/s	10月8日	1977年10月～
花巻	日最大風向・風速	1(年)	北 17.1m/s	10月8日	2003年10月～

(2) 被害状況

(単位：千円)

区 分		被害額	被害状況	被害地域※
農 業	農 作 物	387,157	りんごの落下等 1,114.33ha	奥州市、滝沢村等 19市町村
	農業施設	59,641	パイプハウスのビニール破損等 413棟	一関市、北上市等 17市町村
	農地・農業用施設	117,000	水路破損等 48箇所	洋野町、久慈市等 6市村
林 業	林業施設	357,044	山腹崩壊等 76箇所	久慈市、普代村等 12市町村
水産業	水産施設	3,701	サケ止め装置の流失等 15箇所	洋野町、宮古市等 2市
	漁 船	1,880	動力船転覆等 10隻	久慈市、陸前高田市 3市町村
	漁 具	702,000	定置網一部流失、破損等 24ヶ統	久慈市、洋野町 3市村
	養殖施設	1,460	かき養殖筏一部破損等 19台	陸前高田市、野田村、普代村
	水産物	642	畜養サケ親魚斃死 980匹	洋野町
	漁港施設	37,020	外郭施設：護岸の損傷等 15箇所	久慈市、普代村、5市町村
計		1,667,545		

※「被害地域」の欄の市町村は、被害額が多い順に記載。



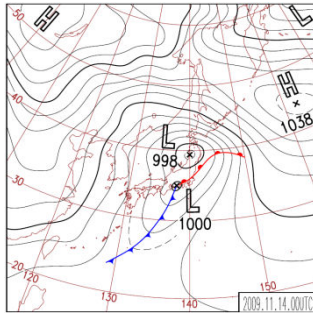
## 2.2 11月15日の強風災害

### (1) 気象概況

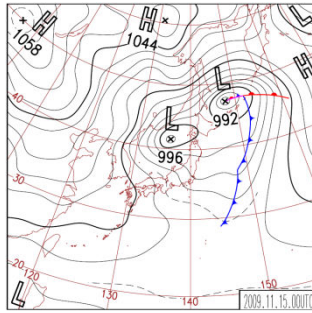
14日は、三陸沖と日本海を北東進した低気圧が一つになり、発達しながら千島近海に進み、15日にはオホーツク海に進んだ。また、別の低気圧が15日、日本海を北東進し北海道を通過した。

14日から15日にかけての県内は、強風や沿岸部では大雨となり、小本で14日の日降水量102.5mm・日最大1時間降水量55.0mm、沢内で15日の最大風速9.8m/sを観測し、それぞれ11月としての1位を記録した。この影響により、交通障害や農業施設の被害が発生した。

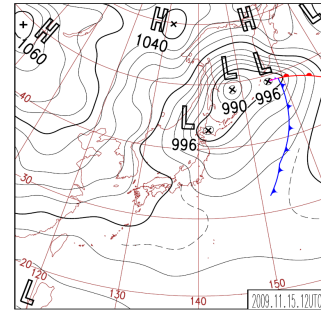
地上天気図



11月14日09時



11月15日09時



11月15日21時

○11月14日の降水量(mm)  
【日降水量50mm以上及び官署等】

地点	日降水量	日最大1時間	
アメダス	普代	55.0	15.5
	小本	102.5	55.0
	大槌	51.5	13.5
	山田	65.0	15.5
	釜石	111.5	31.5
官署等	盛岡	12.5	5.0
	宮古	81.5	29.0
	大船渡	49.5	10.0

※網がけは11月としての極値更新

○11月15日の観測値【風向・風速(m/s)】

アメダス

観測所	最大風速		最大瞬間風速	
	風速	風向	風速	風向
花巻	11.1	南南西	18.0	西
紫波	9.1	西南西	16.7	西南西
沢内	9.8	西南西	22.4	南西

官署

盛岡	14.3	南西	22.5	南南西
----	------	----	------	-----

※網がけは11月としての極値更新(統計期間5年以上)

【関連する注警報の発表状況: 11月14-15日】

地域	警報	注意報
内陸	—	強風、雷
沿岸北部	大雨、洪水	強風、波浪、雷
沿岸南部	—	大雨、洪水、強風、波浪、雷

### (2) 被害状況

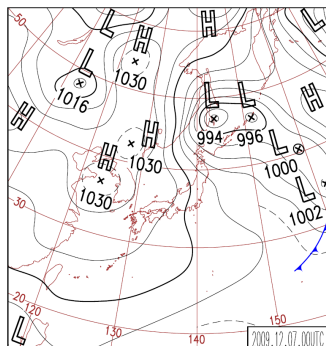
(単位: 千円)

区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農地・農業用施設	440	パイプハウスのビニール破損14棟	花巻市
計		440		

## 23 12月7日の強風災害

### (1) 気象概況

6日から7日にかけては、低気圧が、日本海と三陸沖をそれぞれ発達しながら北東進し、千島近海に進んだ。7日、北日本は、冬型の気圧配置となり、県内では、強風のところがあった。強風により交通障害や花巻市では農業施設の被害が発生した。



地上天気図：12月7日09時

#### ○12月7日の観測値【風向・風速m/s】

アメダス

観測所	最大風速		最大瞬間風速	
	風速	風向	風速	風向
紫波	12.6	西	21.1	西
花巻	8.9	西北西	17.5	北西

官署

盛岡	11.4	西北西	21.0	北西
----	------	-----	------	----

#### 【関連する注警報の発表状況：12月7日】

地域	警報	注意報
岩手県	—	風雪

### (2) 被害状況

(単位：千円)

区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農地・農業用施設	327	パイプハウスのビニール破損10棟	花巻市
計		327		

#### IV 主な農林水産業気象災害における対策等の概要

##### 1 7月10日から13日にかけての強風災害

###### (1) 農作物被害に対する対策

###### ① 技術対策等

強風による農作物の被害を最小限に抑えるため、関係機関・団体と連携し、被害を受けた農家に、露地野菜、花き等の草勢回復や病害防除の栽培技術指導を徹底した。

###### ② 被災農家への対策

農業共済の対象となる果樹（りんご、ぶどう）、ホップ、園芸施設（パイプハウス等）等の被害については、農家からの被害申告を徹底させるとともに、農業共済組合による現地確認、評価を速やかに実施した上で、共済被害量・共済金支払額を確定させ、農家への共済金の支払が早期に行われるよう、農業共済団体を指導した。

###### ③ 農作物災害復旧対策事業

強風により、ホップにおいて主蔓折れや側枝折れ等の被害が発生した。これにより着花部位が減少し、株の衰弱によるべと病等の蔓延、歩留まりの低下及び衰弱した株の収量低下が懸念された。

このため、遠野市において、緊急薬剤防除対策及び生育回復対策に要した経費に対して助成を行った。

平成21年7月10日及び7月13日の強風による農作物災害復旧対策事業実績

振興局等	市町村	対象作物	対策の内容	事業面積 (a)	事業費 (千円)	県補助金 (千円)
県南 (花巻)	遠野市	ホップ	緊急薬剤防除	3,000	955	463
			生育回復対策	3,000	434	
		合計	6,000	1,389		

##### 2 10月8日から9日にかけての台風18号による災害

###### (1) 農作物被害に対する対策

###### ① 技術対策等

強風・大雨による農作物の被害を最小限に抑えるため、関係機関・団体に対し、農作物技術情報（号外（台風対策）：10月6日、号外（台風事後対策）：10月9日）の発行についてメールで連絡するとともに、ホームページによる公開、報道機関への連絡など、農家への周知につとめた。

また、被害のあった地域では、倒伏したりんご被害樹の樹勢回復のための栽培技術指導を徹底した。

###### ② 被災農家への対策

被害を受けた農業者に対する資金の円滑な融通及び既往借入金の償還猶予等が図られるよう融資機関に要請するとともに、市町村、広域振興局等に対して、農業者に対し、適切な指導を図るよう通知した。

農業共済の対象となる水稲、果樹（りんご、ぶどう）、家畜、大豆、園芸施設（ビニールハウス等）や建物（牛舎、作業小屋等）等については、農家からの被害申告を徹底させるとともに、農業共済組合による現地確認、評価を速やかに実施した上で、共済被害量・共済金支払額を確定させ、農家への共済金の支払が早期に行われるよう、農業共済団体を指導した。

③ 農作物災害復旧対策事業

台風により、りんご樹の倒伏及び枝葉や幹の傷等の被害が発生した。これにより樹の倒伏による来年の収穫の減少と、樹体の被害から衰弱した樹が病害に感染することが懸念された。

このため、奥州市において、改植及び緊急薬剤防除対策に要した経費に対して助成を行った。

平成 21 年 10 月 8 日の台風 18 号による農作物災害復旧対策事業実績

振興局等	市町村	対象作物	対策の内容	事業面積 ( a )	事業費 (千円)	県補助金 (千円)
県南	奥州市	りんご	改植	27.9	1,494	721
			緊急薬剤防除	2,979	669	
		合計	3,006.9	2,163		

(2) 農地・農業用施設被害に対する対策

被災した農地及び農業用施設のうち、復旧事業費 40 万円以上の箇所について、暫定法に基づく国庫補助の災害復旧事業により復旧することとし、国に対し 13 箇所 64,966 千円の採択を申請した。

国による災害査定は、11 月 24 日から 26 日に実施され、13 箇所 53,456 千円が採択された。

なお、国庫補助率は農地 50%、農業用施設 65%が基本であるが、平成 21 年発生災害に係る補助率は、暫定法に基づき増高申請したことにより、県平均で農地 62.9%、農業用施設 93.3%となった。

(3) 林業施設被害に対する対策

① 森林被害への対策

市町村有林及び私有林の被害状況について、各地方振興局等を通じ情報収集を行った。

② 林地荒廃への対策

林地荒廃の被害については、久慈市 1 箇所、普代村 1 箇所、計 2 箇所を災害関連緊急治山事業により、事業費 90,030 千円で復旧整備を図る。

③ 林道災害への対策

林道施設災害復旧事業については、暫定法に基づき、市町村管理の林道施設 4 路線 4 箇所について災害復旧事業の査定申請を行った。

12 月 2 日から 4 日の現地査定の結果、4 路線 4 箇所が国庫補助の災害復旧事業として採択された。

年度内に全箇所が工事に着手する予定となっている。

また、基本補助率は奥地 65%、その他 50%であるが、暫定法に基づく補助率増高制度に該当する市町村であるため 50.0～66.7%の補助率となった。

(4) 水産関係被害に対する対策

① 団体指導課分

被害を受けた漁業者に対する資金の円滑な融通及び既往借入金の償還猶予等が図られるよう融資機関に要請するとともに、市町村、広域振興局等に対して、漁業者に対し、適切な指導を図るよう通知した。

②水産振興課分

定置網の破損・流出などにより大きな被害が発生したが、被害を受けた定置網の殆どが漁業施設共済に加入していないことから、漁業共済組合と協力し、漁業施設共済への加入促進を働きかけた。

なお、漁期途中からの加入はできないことから、次期定置網漁期における加入増加を見込んでいる。

(5)漁港施設被害に対する対策

漁港施設被害については、公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法（以下「負担法」という。）の採択基準を満たす被害が、久慈市営横沼及び小袖漁港の2漁港において、防波堤と護岸の消波ブロック飛散被害が発生したことから、負担法に基づき申請し、12月21日から22日の災害査定により工事費25,173千円で事業採択された。

なお、平成21年度における当該災害分の災害復旧予算は100%措置された。

○災害査定採択状況(台風18号)

(金額単位:千円)

事業主体	漁港名	工種	延長	工事費
久慈市営	横沼	護岸	43.3m	14,640
	小袖	北防波堤	22.0m	10,533
計				25,173



# 農林水産部災害対策実施マニュアル

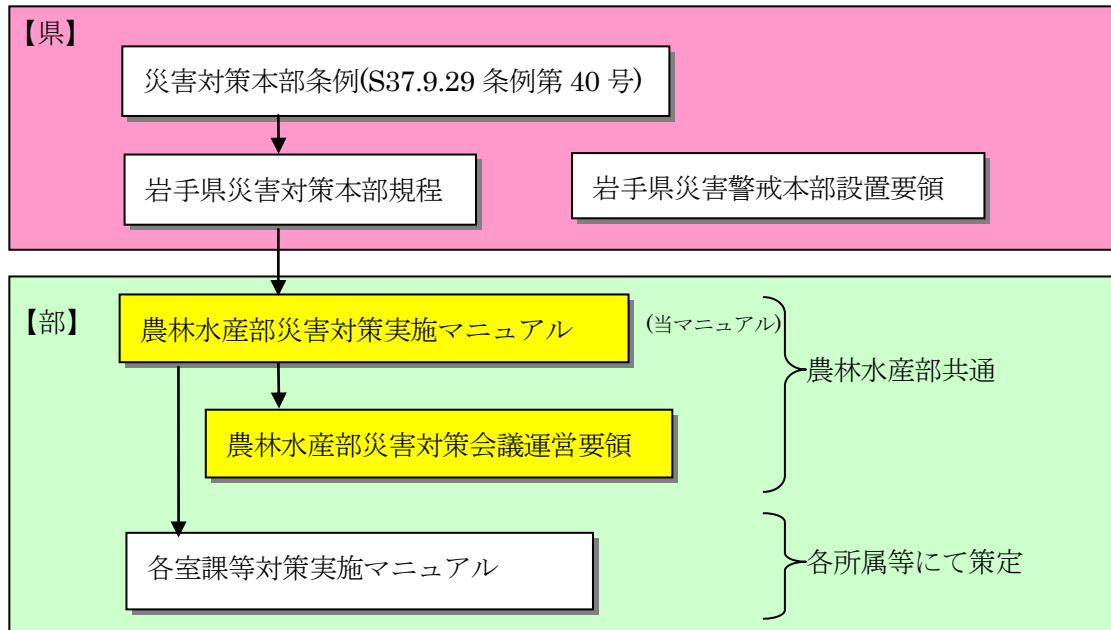
制 定 平成 15 年 5 月 1 日

最終改正 平成 18 年 4 月 1 日

このマニュアルは、岩手県災害対策本部規程（平成 8 年岩手県災害対策本部長訓令第 2 号）第 9 条の規定により農林水産部の災害対策について必要な事項を定めたものである。

## I 災害対策に係る例規等の体系

【災害対策に係る例規等の体系図】



## II 災害応急対策の体系

### 1 『岩手県地域防災計画』

県の地域に災害が発生し、又は発生するおそれがある場合(以下「災害発生時」という。)において、県が行う災害応急対策は、『岩手県地域防災計画』第 3 章「災害応急対策計画」に定めるところにより実施する。

### 2 『岩手県災害警戒本部』又は『岩手県災害対策本部』の設置

災害予防及び災害応急対策は、災害発生規模等により岩手県災害警戒本部又は岩手県災害対策本部を設置して行なわれる。

また、岩手県災害警戒本部又は岩手県災害対策本部が設置された場合は、関係する広域振興局、総合支局及び地方振興局（以下、「振興局等」という。）に地方支部が設置される。

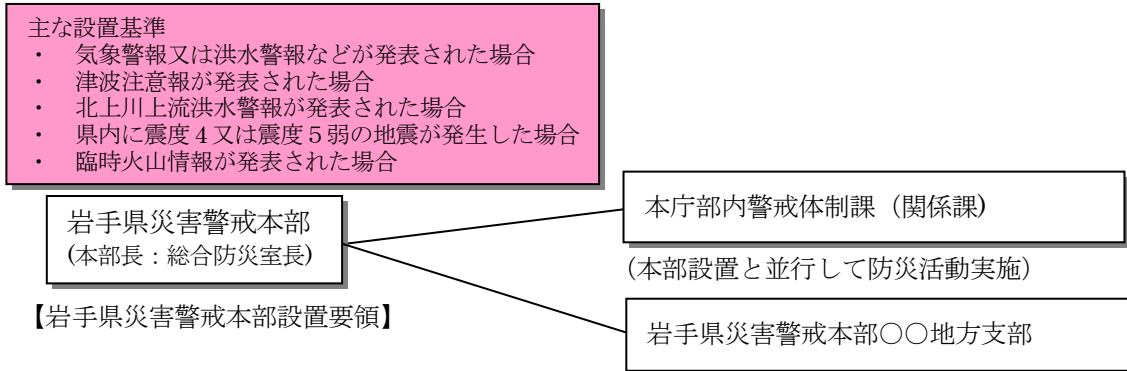
### 3 『岩手県災害対策本部規程』、『岩手県災害警戒本部設置要領』、『岩手県災害対策本部〇〇広域支部運営要領』、『岩手県災害対策本部〇〇地方支部運営要領』、岩手県災害警戒本部又は岩手県災害対策本部の防災活動又は応急対策の具体的な活動は、これらの要領等に基づいて実施される。

### 4 『農林水産部災害対策実施マニュアル』

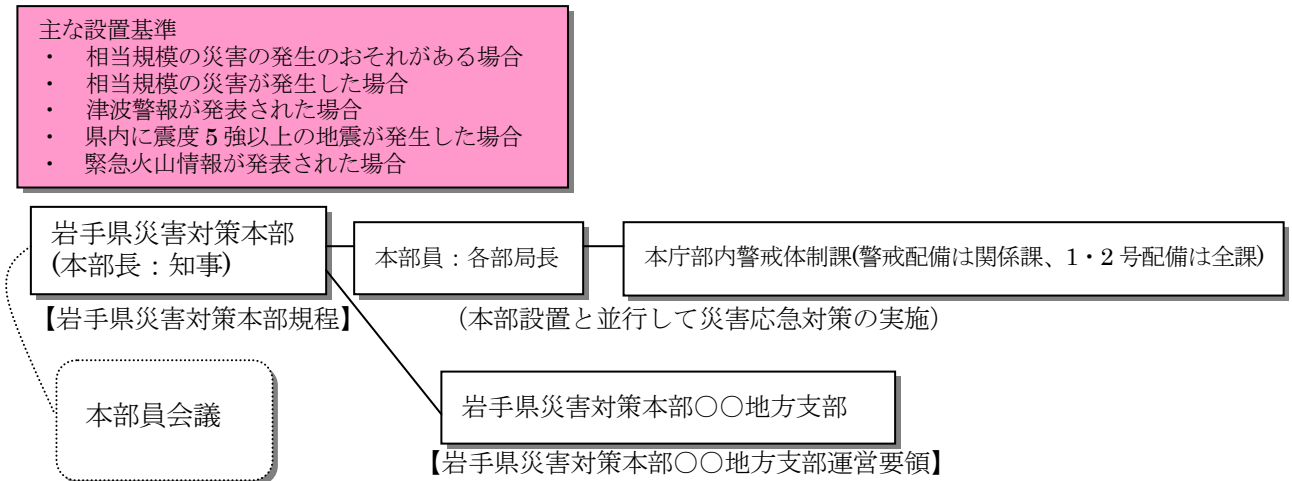
当マニュアルは、『岩手県地域防災計画』第 3 章「災害応急対策計画」及び上記要領等を踏まえ、農林水産部における災害対策に係る体制や具体的活動方法を定めたものである。

## 《災害応急対策等の体系図》

### ★岩手県災害警戒本部の設置



### ★岩手県災害対策本部の設置



## III 災害対策本部の配備体制

### 1 職員の配備（県災害対策本部規程第21条）

災害発生時における職員の配備は、岩手県災害対策本部が設置された場合の配備体制の区分に応じて実施する。

配備体制の区分は、①警戒配備、②1号非常配備、③2号非常配備となっている。

また、気象予警報が発表された場合は、必要に応じ関係課において独自に警戒体制をとり、防災活動を実施する。

### 2 配備職員への指示

配備体制に伴う職員への指示は次のとおりである。

- (1) 本部連絡員は、県災害対策本部の指示により執務する。
- (2) 部内各室課の職員は、農林水産部長の指示を受けた所属長の指示により執務する。
- (3) 振興局等農林水産担当部等の職員及び出先機関の職員は、振興局等各部長又は各地方支部長の指示を受けた所属長の指示により執務する。



**警 戒 配 備 体 制**

区 分		説 明	
配備基準		1 気象警報、高潮警報、波浪警報、洪水警報、津波注意報若しくは臨時火山情報（火山噴火予知連絡会の統一見解を除く。）が発表され、又は大規模な火災、爆発等により相当規模の災害の発生のおそれがあると認められる場合 2 北上川上流洪水警報、北上川上流水防警報又は閉伊川水防警報が発表され、かつ、相当規模の災害の発生のおそれがあると認められる場合 3 津波警報が発表された場合 4 県内に震度5強の地震が発生した場合 5 県内の火山について緊急火山情報が発表された場合	
本 庁	活動要領	部 長	1 情報の収集、報告及び伝達並びに応急措置を行う。また、必要に応じて次の措置を講じる。 (1) 災害対策本部員会議への付議 (2) その他必要と認める事項の処理 2 予測される災害に対処し、必要と認められる物資、車両、機材等を点検整備し、直ちに使用できるよう準備を整える。 3 予測される災害に対処し、必要と認める予防措置を検討し、被害を最小限に止めるために必要な計画を検討する。 4 状況の推移に応じて、次の配備体制に応じ得る体制を整える。
		各室課の長	(農林水産企画室長処理事項) 本庁関係課、振興局等農林水産担当部及び出先機関から収集した情報を部長に報告し、かつ、災害対策本部長に報告する。 (各室課の長共通処理事項) 1 マニュアルに従い、振興局等農林水産担当部から収集した災害情報等の処理に当たる。 2 部長の指示、命令事項の処理に当たる。
	配備職員	農林水産企画室、農村建設課、林業振興課、森林整備課、森林保全課、漁港漁村課及び部長が特に必要と認める課の主任主査以上の職員及び防災・庶務担当並びに各課の長があらかじめ指名する職員	
等 振興局等農林水産担当部	活動要領	振興局等農林水産担当部長等	1 情報の収集、報告及び伝達並びに応急措置を行う。 2 車両、機材等を点検整備し、災害応急対策に活用できるよう措置する。 3 収集した情報、応急措置の業務に従事している職員数及び応急措置の進捗状況を随時、本庁関係課又は農林水産企画室長に報告する。 4 情報の収集及び応急措置を実施するため職員及び機材等が不足する場合は、支部長に対し応援を要請する。
	配備職員	振興局等農林水産担当部長等があらかじめ指名する職員	
出 先 機 関	活動要領	出先機関の長	1 情報の収集、報告及び伝達並びに応急措置を行う。 2 車両、機材等を点検整備し、災害応急対策に活用できるよう措置する。 3 収集した情報、応急措置の業務に従事している職員数及び応急措置の進捗状況を随時、農林水産企画室長に報告する。 4 情報の収集及び応急措置を実施するため職員及び機材等が不足する場合は、農林水産企画室長に対し応援を要請する。
			配備職員

### 1 号 非 常 配 備 体 制

区 分			説	明
配備基準			1 相当規模の災害が発生した場合 2 大津波警報が発表された場合	
本 庁	活 動 要 領	部 長	警戒配備体制における活動要領に定めるもののほか、災害応急対策を実施する。	
		室 課 の 長	(農林水産企画室長処理事項) 警戒配備体制における活動に準ずる。 (各室課の長共通処理事項) 警戒配備体制における活動に準ずる。	
	配備職員		すべての課の主査相当職以上の職員及び各課の長があらかじめ指名する職員	
部 等	振 興 局 等 農 林 水 産 担 当	活 動 要 領	振 興 局 等 農 林 水 産 担 当 部 長 等	警戒配備体制における活動要領に定めるもののほか、必要に応じて災害応急対策を実施する。
		配備職員		すべての所属の主査相当職以上の職員及び振興局等農林水産担当部長等があらかじめ指名する職員
出 先 機 関	活 動 要 領		出 先 機 関 の 長	警戒配備体制における活動要領に定めるもののほか、必要に応じて災害応急対策を実施する。
			配備職員	

### 2 号 非 常 配 備 体 制

区 分			説	明
配備基準			1 大災害が発生した場合において、本部のすべての組織及び機能を挙げて災害応急対策を講じる必要があると認められる場合 2 県内に震度6弱以上の地震が発生した場合	
本 庁	活 動 要 領		すべての組織及び機能を挙げて災害応急対策を講じる。	
			配備職員	
部 等	林 水 産 担 当	振 興 局 等 農		
		活 動 要 領		すべての組織及び機能を挙げて災害応急対策を講じる。
		配備職員		全職員
出 先 機 関	活 動 要 領		すべての組織及び機能を挙げて災害応急対策を講じる。	
			配備職員	

### 3 本部連絡員（県災害対策本部規程第8条）

本部に、本部連絡員を置き、部長が部内の職員のうちから指名する。

#### 本部連絡員の職務

災害対策本部が設置された場合に、本部長の命令の伝達、各部門間の連絡・調整及び情報収集の業務を担当する。

### 4 緊急初動特別班員（県災害対策本部規程第17条）

本部（及び地方支部）に、緊急初動特別班を置き、班員は、総務部長が農林水産部長と協議して指名する。

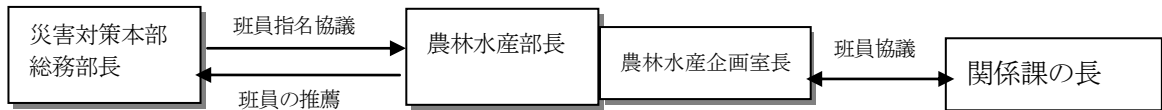
#### 緊急初動特別班員の職務

本部（又は地方支部）の体制が整うまでの間、災害情報の収集・報告・周知、災害応急対策の実施、国、市町村その他の関係機関との連絡等に関する事務を行う。

### 5 災害対策本部調査班への職員派遣（県災害対策本部規程第19条）

岩手県災害対策本部に調査班が設けられた場合、部内職員が班員に指名され、災害地に派遣されることがある。

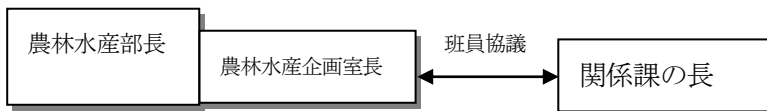
班員は、総務部長が農林水産部長と協議して指名する。



### 6 農林水産部調査班

農林水産部長が必要と認めた場合、県災害対策本部の調査班とは別に部調査班を設け、現地に職員を派遣することがある。

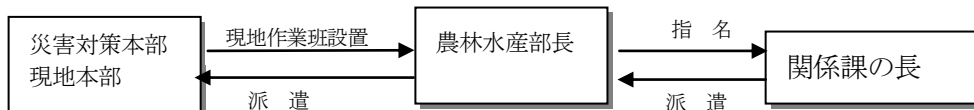
班員は、農林水産企画室長が部内関係課総括課長と協議して指名する。



### 7 現地作業班（県災害対策本部規程第20条）

本部長は、災害地における応急対策活動上必要があると認めるときは、現地作業班（医療班、防疫班等）を設け、災害地に派遣する。

農林水産部所掌業務に係る「現地作業班」が設置された場合は、班長、副班長及びその他の班員を農林水産部長が指名する。



## 8 標識の着用（県災害対策本部規程第 29 条）

災害応急対策事務に従事するとき、又は災害応急対策業務に自動車を使用するときは、定められた腕章又は標識旗を着用する。

## IV 非常招集

### 1 非常招集の方法

#### (1) 配備指令による参集（県災害対策本部規程第 23 条）

① 農林水産部長は、県災害対策本部長から配備指令を受けたときは、速やかに「農林水産部非常招集系統図」（別途定める）により本庁各室課の長に連絡する。

【県災害対策本部長からの配備指令は、携帯電話（災害用）を利用して、部長のほか、本部連絡員にも伝えられる】

② ①の連絡を受けた本庁各室課の長は、速やかに当該所属の非常招集系統図により関係職員に連絡する。

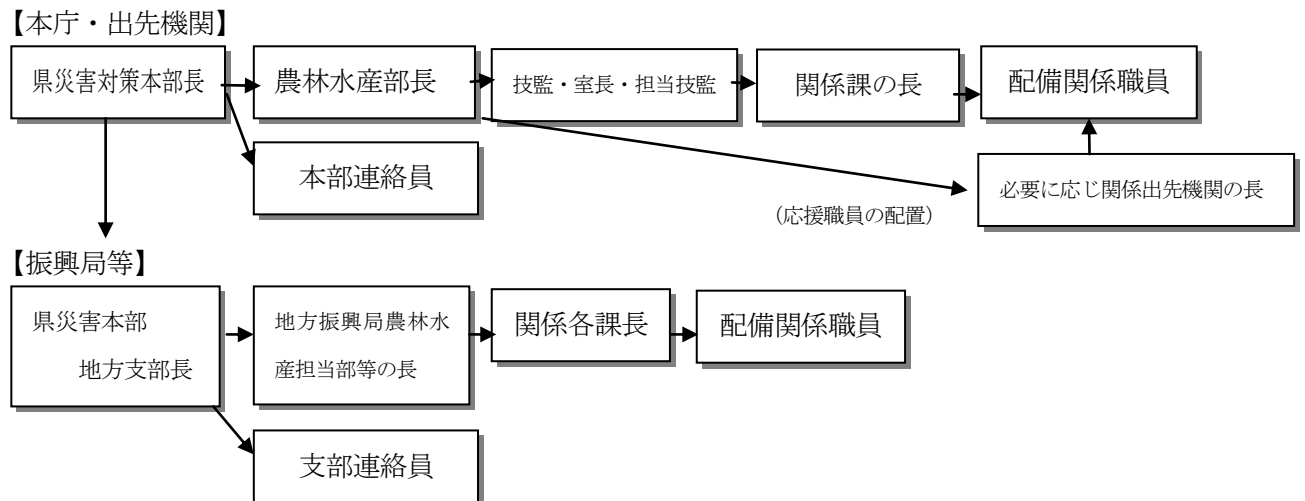
③ 振興局等農林水産担当部等の長は、所轄の地方支部長から配備体制の指令を受けたときは、速やかに当該所属の非常招集系統図により関係職員に連絡する。

④ 農林水産企画室長は、必要に応じて関係する出先機関の長に連絡する。

⑤ ④の連絡を受けた出先機関の長は、速やかに当該所属の非常招集系統図により関係職員に連絡する。

⑥ ①から⑤の連絡を受けた職員は、速やかに参集し、配備体制をとるものとする。

#### 非常招集体系図



#### (2) 自主参集（県災害対策本部規程第 24 条）

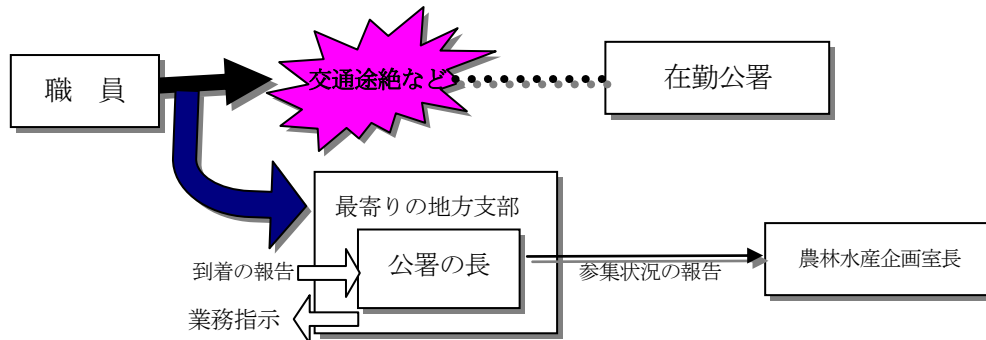
配備職員は、夜間、休日等の勤務時間外において、配備基準に該当する事態が発生したと認められるときは、配備指令を待たずに、直ちに、在勤公署に参集する。

【自主参集の対象となる災害発生状況と参集職員の範囲は、「Ⅲ 配備体制 1 職員の配備」と同様である】

## 2 在勤公署に参集できない場合の対応

配備職員は、夜間、休日等の勤務時間外に災害が発生した場合において、交通機関の途絶など、やむを得ない事情により在勤公署に参集できないときは、在勤公署の長に連絡のうえ、最寄りの地方支部に参集し、参集先の公署の長に到着の報告を行なうとともに、その指示に従い、必要な事務に従事する。

その場合、参集先の公署の長は、参集状況を農林水産企画室長に報告する。



## 3 非常招集事務担当者

本庁各室課の長、振興局等農林水産担当部等の長及び各出先機関の長は、あらかじめ所属職員の中から非常招集事務担当者を指名する。

非常招集事務担当者の職務

- 1 非常招集系統図(配備体制がわかるもの)の作成に関する事。
- 2 災害発生時における職員の出勤状況の把握、職員及びその家族の安否確認に関する事。

## V 分掌事務等

災害発生時における本庁各室課、振興局等農林水産担当部及び各出先機関の分掌事務は次のとおりとする。

### 1 本庁各室課

所 属 等	県災害対策本部規程で定める分掌事務	県地域防災計画(応急対策計画)で定める分掌事務 (H18 組織再編による分掌事務整理後)	その他の分掌事務
農林水産企画室	1 部内各課等の連絡調整に関すること。 2 農畜産物、農業施設、農地・農業用施設、林業施設、水産施設、漁港施設等の被害調査及び応急対策の総括に関すること。	1 情報の収集・伝達計画 ・農業施設被害報告 ・農作物等被害報告 ・家畜等被害報告 ・水産関係被害報告 2 広報広聴計画 ・所管業務に係る広報資料の収集、作成整理 3 林野火災応急対策計画 ・農業施設被害情報の収集 ・農作物等被害情報の収集 ・家畜等被害情報の収集	
団体指導課	1 農業共済に関すること。 2 農業金融、林業金融及び水産金融に関すること。		
流通課	1 農畜産物及びその加工品の調達及びあっせんに関すること。 2 食料品取扱機関との連絡に関すること。	1 相互応援協力計画 ・米穀の調達に係る岩手農政事務所に対するあっせん要請 ・農産副食物の調達に係る全国農業協同組合連合会岩手県本部に対するあっせん要請 ・畜産副食物の調達に係る畜産加工品製造業者に対するあっせん要請 ・上記物資の農水省に対するあっせん要請 2 食料供給計画 ・農畜産物及びその加工品の調達及びあっせん	
農業振興課	1 経営構造対策事業及び山村等振興対策事業等で整備した施設の被害調査及び応急対策に関すること。		1 農作物気象災害対策のとりまとめに関すること。
農業普及技術課	1 農作物の被害の技術対策に関すること。 2 農業気象に関すること。 3 肥料の輸送及びあっせんに関すること。 4 病虫害防除用の資機材の調達及びあっせんに関すること。 5 病虫害防除に関すること。	1 相互応援協力計画 ・肥料及び病虫害防除用資機材の調達に係る関係団体等に対するあっせん要請 ・上記物資の農水省に対するあっせん要請 2 農林水産物応急対策計画 ・栽培・管理及び病虫害防除に係る技術指導	1 低温・日照不足の異常気象による被災農家の救済対策や消費者に対する適時適切な情報提供等に関すること。
農村計画課	1 他課等に対する応援に関すること。		

所 属 等	県災害対策本部規程で定める分掌事務	県地域防災計画(応急対策計画)で定める分掌事務 (H18 組織再編による分掌事務整理後)	その他の分掌事務
農村建設課	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 防災ダムの洪水調節及び応急対策に関すること。</li> <li>2 農地、農業用施設の被害調査及び応急対策に関すること。</li> <li>3 国営土地改良事業及び県営土地改良事業により造成された施設の被害調査及び応急対策に関すること。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 活動体制計画 ・農地農業用施設被害情報の収集</li> <li>2 情報の収集・伝達計画 ・農地農業用施設被害報告</li> <li>3 農地農業用施設応急対策計画 ・農地農業用施設に係る被害状況調査及び応急対策の実施</li> </ol>	
農産園芸課	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 農作物の種苗、蚕桑の輸送及びあっせんに関すること。</li> <li>2 農作物の被害に対する応急対策に関すること。</li> <li>3 蚕種及び養蚕の被害に対する応急対策に関すること。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 相互応援協力計画 ・農作物の種苗及び蚕種の調達に係る関係団体等に対するあっせん要請 ・上記物資の農水省に対するあっせん要請</li> </ol>	
畜産課	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 広域農業開発事業により造成された施設の被害の取りまとめに関すること。</li> <li>2 畜産物の被害の応急対策に関すること。</li> <li>3 家畜、家きん及び家畜飼料の被害の応急対策に関すること。</li> <li>4 家畜伝染病予防及び家畜防疫対策に関すること。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 情報の収集・伝達計画 ・家畜伝染病被害報告</li> <li>2 相互応援協力計画 ・家畜飼料の調達に係る全国農業協同組合連合会岩手県本部等に対するあっせん要請 ・上記物資の農水省に対するあっせん要請</li> <li>3 農林水産物応急対策計画 ・畜産対策全般</li> </ol>	
林業振興課	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 木材及び木炭の調達及びあっせんに関すること。</li> <li>2 林産物及び林業関係施設の被害調査及び応急対策に関すること。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 情報の収集・伝達計画 ・林産施設関係被害報告 ・林産物関係被害報告 ・国有林の施設・森林等被害報告</li> <li>2 相互応援協力計画 ・木材の調達に係る県木材協同組合連合会に対するあっせん要請 ・木炭の調達に係る県木炭協会及び県木炭移送協同組合に対するあっせん要請</li> <li>3 生活必需品供給計画 ・木炭の調達及びあっせん</li> <li>4 応急仮設住宅の建設等及び応急修理計画 ・応急仮設住宅の供与及び被災住宅の応急修理に係る木材の確保</li> <li>5 農林水産物応急対策計画 ・栽培・管理に係る技術指導</li> <li>6 林野火災応急対策計画 ・林産施設関係被害情報の収集 ・林産物関係被害情報の収集 ・国有林の施設・森林等被害情報の収集</li> </ol>	

所 属 等	県災害対策本部規程で定める分掌事務	県地域防災計画(応急対策計画)で定める分掌事務 (H18 組織再編による分掌事務整理後)	その他の分掌事務
森林整備課	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 森林火災の予防に関する事</li> <li>2 林業種苗の調達及びあっせんに関する事</li> <li>3 林業関係施設(林業振興課の主管に属するものを除く。)の被害調査及び応急対策に関する事</li> <li>4 森林の被害調査及び応急対策に関する事</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 情報の収集・伝達計画 ・森林関係被害報告</li> <li>2 相互応援協力計画 ・林業種苗の調達に係る種苗業者に対するあっせん要請 ・上記物資の農水省に対するあっせん要請</li> <li>3 農林水産物応急対策計画 ・病虫害防除に係る技術指導</li> <li>4 林野火災応急対策計画 ・消火薬剤及び消防資機材の調達及びあっせん ・森林関係被害情報の収集</li> </ol>	
森林保全課	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 治山施設の被害調査及び応急対策に関する事</li> <li>2 県有林の被害調査及び応急対策に関する事</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 情報の収集・伝達計画 ・林産施設、林道、作業道以外の林業施設関係被害報告 ・県有林関係被害報告</li> <li>2 林野火災応急対策計画 ・林産施設、林道、作業道以外の林業施設関係被害情報の収集 ・県有林関係被害情報の収集</li> </ol>	
水産振興課	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 水産関係の応急対策に関する事</li> <li>2 水産食品の調達及びあっせんに関する事</li> <li>3 漁業災害補償に関する事</li> <li>4 海上輸送(漁船によるものに限る。)に関する事</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 交通確保・輸送計画 ・漁船による海上輸送の要請</li> <li>2 相互応援協力計画 ・水産食品の調達に係る県漁業協同組合連合会及び県水産加工業協同組合連合会に対するあっせん要請 ・上記物資の水産庁に対するあっせん要請</li> <li>3 食料供給計画 ・水産物の調達及びあっせん</li> <li>4 農林水産物応急対策計画 ・栽培・管理に係る技術指導</li> <li>5 海上災害応急対策計画 ・漁連、漁協との連絡調整 ・港外にいる漁船に対する災害の周知</li> </ol>	
漁港漁村課	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 漁港施設及び漁港区域に係る海岸保全施設の被害調査及び応急対策に関する事</li> <li>2 沿岸魚場整備開発施設の被害調査及び応急対策に関する事</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 活動体制計画 ・漁港施設等被害情報の収集</li> <li>2 情報の収集・伝達計画 ・漁港施設等被害報告</li> <li>3 廃棄物処理・障害物除去計画 ・漁港関係障害物の除去</li> <li>4 海上災害応急対策計画 ・所管漁港又は港湾に係る保全措置 ・在港船舶に対する災害の周知 ・災害防止のための応急措置</li> </ol>	



## 2 振興局等農林水産担当部等

所 属 等	県災害対策本部規程で定める分掌事務	県地域防災計画(応急対策計画)で定める分掌事務 (H18 組織再編による分掌事務整理後)	その他の分掌事務
振興局等 { 農政(林)部 水産部 農村整備室 林務事務所 家畜保健衛生所 漁業取締事務所 水産技術センター 農業改良普及センター	1 本庁関係課又は農林水産企画室との連絡調整に関すること。 2 所掌業務に係る災害情報の収集、報告及び応急対策に関すること。 3 その他特に命ぜられたこと。		

## 3 出先機関

所 属 等	県災害対策本部規程で定める分掌事務	県地域防災計画(応急対策計画)で定める分掌事務 (H18 組織再編による分掌事務整理後)	その他の分掌事務
病虫害防除所 生物工学研究所 農業研究センター 林業技術センター 内水面水産技術センター 農業大学校	1 農林水産企画室との連絡調整に関すること。 2 所掌業務に係る災害情報の収集、報告及び応急対策に関すること。 3 その他特に命ぜられたこと。		

本庁各室課の長、地方振興局農林水産担当部長及び出先機関の長は、それぞれの業務について、実施マニュアルを作成しておくものとする。

## VI 災害情報の収集・伝達及び応急対策

### 1 災害情報の収集・伝達

災害情報は次の種類別に区分される。

種 類	内 容	報告様式	伝達手段	伝達者
初期情報報告	被害発生直後にその概要を報告するとともに、災害応急対策の内容とその進捗状況について、逐次、報告するもの	岩手県地域防災計画 (様式1)	原則として、電子メール及び県行政情報ネットワークによるものとし、防災行政無線(電話、FAX)等はバックアップ用として利用するものとする。	市町村本部～地方 支部～総合防災室
	災害の規模やその状況が判明するまでの間(災害発生初期)に、種類別に報告するもの	〃 (様式F及び3、 10～16、		市町村本部～地方 支部～農林水産部 ～総合防災室
被害額等報告	被害額等が判明した時に、種類別に報告するもの	〃 (同上)		市町村本部～地方 支部～農林水産部 ～総合防災室
その他の報告	前記の報告以外で、必要な事項について報告するもの	〃 (任意様式)		市町村本部～地方 支部～農林水産部 ～総合防災室

※報告様式・・・農林水産部関係を掲載しています。

上記災害報告に関し、当部における具体的な情報伝達経路を次のとおりとする(体系図は12頁)

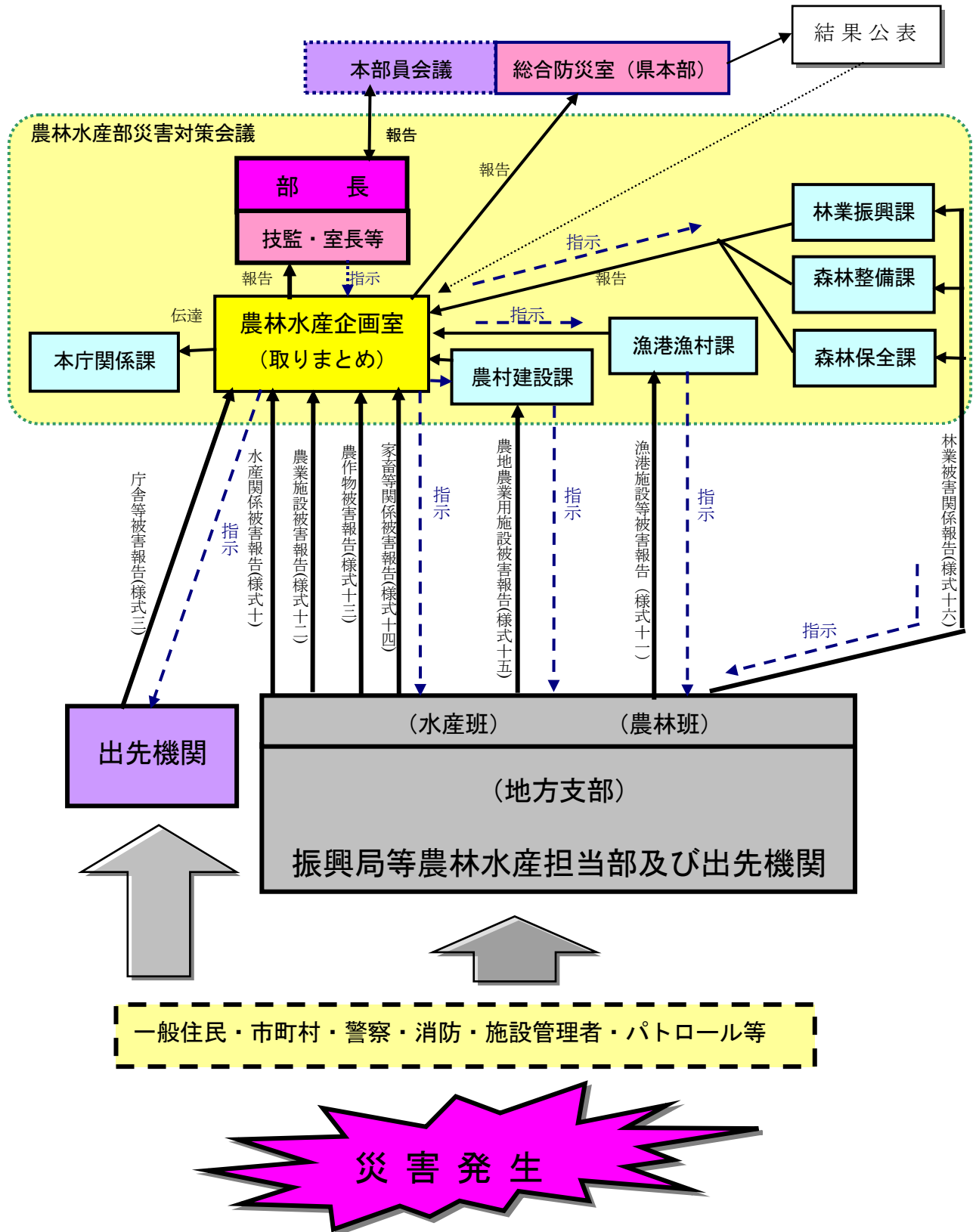
報告事項	報告様式	報告者	報告先	報告・伝達	最終報告先
農業施設被害報告	様式12	市町村本部	農林水産企画室	関係課に伝達	部 長
農作物等被害報告	様式13	↓			
家畜等関係被害報告	様式14	振興局等(農	農村建設課 林業振興課 森林整備課 森林保全課 漁港漁村課	農林水産企画 室に報告	県災害対 策本部長 (総合防災 室)
水産関係被害報告	様式10	林水産担当			
農地農業用施設被害報告	様式15	部等)及び出			
林業関係被害報告(林産施設・林産物)	様式16	先機関			
〃 (作業道、市町村有林、私有林)	様式16				
〃 (林産施設・作業道以外の林業施設)	様式16				
漁港施設等被害報告	様式11				

### 2 応急対策及び指示

- (1) 振興局等農林水産担当部等の長及び出先機関の長は、所管施設等において災害が発生し又は発生するおそれがある場合は、速やかに所要の応急措置を講ずるものとする。
- (2) ただし、相当規模の災害等で、部長の指示を要すると認める場合にあっては、その指示に基づいて応急対策を講ずるものとする。

報告事項	報告様式	報告者	報告先	最終報告先
応急対策実施(又は部長の指示確認)	別紙様式1	振興局等農林水産担当部等 及び出先機関	農林水産企画室又は本庁 関係課(情報伝達と同様)	部 長

# 災害情報収集・報告区分別系統図



## Ⅶ 農林水産部災害対策会議

災害対策の連絡調整及び重要事項を協議するため、部内に農林水産部災害対策会議を置き、その構成及び運営については、別途「農林水産部災害対策会議運営要領」で定める。

### 【会議の概要】

	内 容	備 考
構 成	部長、室長、担当技監、各課総括課長	状況に応じて、部長が指定した者によって開催できる
協議事項	1 災害情報 2 災害に関する予防措置の検討、諸計画の樹立 3 応急対策 4 応急対策に関する部内職員の配置及び応援職員の派遣 5 その他	
招 集	県災害対策本部設置基準に該当する災害が発生するおそれがある場合、又は発生した場合に部長が招集	
庶 務	農林水産企画室総務管理担当	

### 【災害に応じた主な構成員】

災害の種類	主 な 構 成 員		
	緊急を要する場合(警戒配備による招集課長等) ※ここでの課長は、総括課長をいう。	拡大構成員 ※左記に同じ。	その他
震度5強以上の地震	技監、室長、担当技監、農林水産企画室担当課長、農村建設課長、林業振興課長、森林整備課長、森林保全課長、漁港漁村課長	農業振興課長、農業普及技術課長、農産園芸課長、畜産課長、水産振興課長	状況に応じて、部長が指定した者
津 波	技監、室長、担当技監、農林水産企画室担当課長、農村建設課長、森林整備課長、森林保全課長、水産振興課長、漁港漁村課長	農業普及技術課長、農産園芸課長、畜産課長	
台 風	技監、室長、担当技監、農林水産企画室担当課長、農村建設課長、林業振興課長、森林整備課長、森林保全課長、漁港漁村課長	農業振興課長、農業普及技術課長、農産園芸課長、畜産課長、水産振興課長	
大 雨	技監、室長、担当技監、農林水産企画室担当課長、農村建設課長、林業振興課長、森林整備課長、森林保全課長	農業振興課長、農業普及技術課長、農産園芸課長、畜産課長	
山 火 事	技監、室長、担当技監、農林水産企画室担当課長、林業振興課長、森林整備課長、森林保全課長		
火 山 噴 火	技監、室長、担当技監、農林水産企画室担当課長、農村建設課長、林業振興課長、森林整備課長、森林保全課長	農業振興課長、農業普及技術課長、農産園芸課長、畜産課長	
その他の災害	状況に応じて、部長が指定した者		

- ・本表は、勤務時間外で、概ね災害直後に招集される会議を想定しているものであること。
- ・勤務時間内については、原則全構成員の対応となること。
- ・拡大構成員は、何らかの応急措置を伴う課(V 分掌事務参照)の長が対象となること。

## VIII その他関係事項

### 1 各所属等において措置すべき事項

対象者	措置すべき事項	措置する時期	備考
農林水産企画室長	農林水産部非常招集系統図作成	毎年度当初	本庁のみ
部長	本部連絡員の指名	毎年度当初	本庁のみ
部長 (振興局等の長)	緊急初動特別班員の指名	毎年度当初	本庁及び振興局等
本庁各室課の長 振興局農林水産担当部長 出先機関の長	非常招集系統図（配備体制区分がわかるもの）作成	毎年度当初	本庁は農林水産企画室に提出
同上	各分掌事務に係る実施マニュアル及び職員の事務分担作成	毎年度当初	
同上	非常招集事務担当者の指名	毎年度当初	



## 農作物等気象災害防止対策本部設置要綱

### (設置)

第1 岩手県地域防災計画(災害応急対策計画)に基づき、農作物等気象災害の未然防止及び災害が発生した場合における対策の迅速かつ適切な実施を図るため、農作物等災害防止対策本部(以下「本部」という。)を置く。

### (所掌事務)

第2 本部は、次に掲げる事項に関し必要な調査及び連絡調整を行う。

- (1) 気象災害に係る情報の収集、広報及び啓発に関すること
- (2) 気象災害による農作物等被害の防止及び回復に関すること
- (3) 気象災害の発生に対処する農業経営安定化対策の推進に関すること
- (4) 関係機関及び関係団体との協調推進に関すること
- (5) その他必要な対策に関すること

### (組織)

第3 本部は、本部長、副本部長及び委員をもって組織する。

- 2 本部長は農林水産部長を、副本部長は農林水産企画室長及び農政担当技監をもって充てる。
- 3 委員は別表1に掲げる職にある者をもって充てる。

### (本部長及び副本部長)

第4 本部長は、部務を総理し、会議を主宰する。

- 2 副本部長は、本部長を補佐し、本部長に事故があるときは、本部長があらかじめ定める順序により、その職務を代理する。

### (会議)

第5 本部の会議は、必要に応じて本部長が招集する。

- 2 災害発生時において、農林水産部災害対策実施マニュアルに基づく農林水産部災害対策会議(以下「対策会議」という。)が設置された場合には、本部協議事項は対策会議において協議する。

(幹事長及び幹事)

第6 本部に幹事長及び幹事を置く。

- 2 幹事長は、農林水産企画室企画課長をもって充てる。
- 3 幹事は、別表2に掲げる職にある者をもって充てる。
- 4 幹事長及び幹事は、本部の所掌事務につき委員を助ける。

(地方支部)

第7 広域振興局、広域振興局総合支局及び地方振興局（以下、「広域振興局等」という。）の所管区域ごとに地方支部を置く。

- 2 地方支部の所掌事務及び会議の招集は、本部に準ずるものとする。
- 3 地方支部は、地方支部長、副地方支部長及び委員をもって組織する。
- 4 地方支部長は広域振興局等の農政部長又は農林部長をもって充て、副地方支部長は、盛岡地方振興局農政部にあつては農業振興室長、県南広域振興局農林部にあつては地域農政推進課長、その他の広域振興局等の農政部及び農林部にあつては農林水産調整主幹（宮古地方振興局農政部にあつては農林水産調整監）並びに所管区域を所掌する農業改良普及センター所長（花巻及び北上地方支部にあつては中央農業改良普及センター副所長）をもって充てる。
- 5 委員は、地方支部長が関係出先機関の職員のうちから指名する者をもって充てる。
- 6 地方支部長及び副地方支部長については、第4の規定中、本部長にあつては地方支部長と、副本部長にあつては副地方支部長とそれぞれ読み替えて準用する。

(庶務)

第8 本部の庶務は、農林水産企画室において処理する。

(補則)

第9 この要綱に定めるもののほか、本部の運営に関し必要な事項は本部長が定める。

附 則

この要綱は、平成13年4月1日から施行する。

この要綱は、平成14年4月1日から施行する。

この要綱は、平成15年4月1日から施行する。

この要綱は、平成16年4月1日から施行する。

この要綱は、平成17年8月8日から施行する。

この要綱は、平成18年8月17日から施行する。

この要綱は、平成21年7月28日から施行する。



別表 1（要綱第 3 関係）

職 名	
農林水産企画室	企画課長
団体指導課	総括課長
流通課	総括課長
農業振興課	総括課長
農業普及技術課	総括課長
農村計画課	総括課長
農村建設課	総括課長
農産園芸課	総括課長
畜産課	総括課長
中央農業改良普及センター	所長

別表 2（要綱第 6 関係）

職 名	
農林水産企画室	主任主査
団体指導課	金融共済担当課長
流通課	企画マーケティング担当課長
農業振興課	担い手対策課長
農業普及技術課	普及担当課長
農村計画課	団体指導・国営担当課長
農村建設課	水利整備・管理担当課長
農産園芸課	水田農業課長
畜産課	畜政担当課長
中央農業改良普及センター（県域普及グループ）	



## 農林漁業セーフティネット資金の概要

「農林漁業セーフティネット資金」は、不慮の災害や経済環境の変化等によって収支が悪化し、資金繰りに支障を来している場合などに利用できる低利な長期資金（償還期間 10 年以内うち据置 3 年以内）です。

項	目	内	容
貸付対象者	資格要件	①認定農業者 ②認定就農者 ③林業経営改善経営計画の認定を受けている林業経営者 ④漁業経営の改善に関する計画の認定を受けている中小漁業者 ⑤農林漁業に係る所得が総所得の過半を占めるか粗収益が 200 万円以上の個人 ⑥農林漁業に係る売上高が総売上上の過半を占めるか 1000 万円以上の法人	
	状況要件	①災害の被害を受けた ②疾病や病虫害等の被害により殺処分や出荷停止の指導を受けた ③前期より売上高が 10%以上減少した ④最近 3 ヶ月の売上高が前年同期を下回っており、今後も減少が見込まれる ⑤前期より所得率や純利益が悪化している ⑥燃油や資材費等の高騰により一時的に経営が悪化している ⑦取引先や取引金融機関が破綻し、経営に支障を来している	
取扱融資機関		日本政策金融公庫 ※農協、銀行等を窓口として融資される	
資金使途		経営の維持安定に必要な長期運転資金	
貸付限度額		個人、法人とも 300 万円（特認：年間経営費の 3/12 以内（決算書等により年間経営費が確認できること））	
貸付利率		0.8～1.05%（H22.2.19 現在）	
協会保証及び保証料率		無（保証人、担保等については別途要相談） ※災害及び米価下落を要因として借り入れる場合は、保証人のみで可。（特認を除く）	
償還期限		10 年以内（うち据置 3 年以内）	
その他		日本政策金融公庫盛岡支店 TEL019-653-9055	



## 農業共済事業の種類と仕組み

### 1 制度共済（国庫負担金対象）

引受対象		共済支払対象事故	加入基準	補償対象
農作物共済	<p>水稻 麦</p>	<p>気象災害（冷害・風水害・干害等）、病虫害、鳥獣害、火災 上記事故による減収又は品質の低下を伴う生産金額の減少（災害による減収分と品質低下分の補償：品質方式・災害収入共済方式）</p>	<p>【当然加入制】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水稻 30a 以上（盛岡地域、岩手中部、胆江地域） 25a 以上（磐井、東南部、宮古地域、岩手北部）</li> <li>・麦 10a 以上（全組合）</li> </ul>	<p>【一筆・半相殺・全相殺方式】</p> <p>共済金額（全損被害時に支払われる最高補償額）＝単位当補償金額×基準収穫量×補償割合（組合が共済規程に定める補償割合の中から組合員が選択した割合）</p> <p>【水稻品質・麦災害収入共済方式】</p> <p>基準生産金額の6～9割</p>
	<p>りんご ぶどう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気象災害（冷害、風水害、干害等）</li> <li>・病虫害、鳥獣害</li> </ul> <p>【特定危険方式：りんご】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定の事故のみの限定方式（暴風雨、降ひょう、凍傷、降霜）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栽培面積 10a 以上（最低加入基準）</li> </ul> <p>【特定危険方式】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・20a 以上の栽培面積で早・中・晩生種ごとに 10a 以上の栽培面積と栽培経験 5 年以上</li> </ul>	<p>【半相殺方式】</p> <p>早・中・晩生種ごと園地ごとに求め農家ごとに合計</p> <p>【樹園地単位方式】</p> <p>早・中・晩生種ごと樹園地ごと</p> <p>単位当補償金額×標準収穫量×補償割合 組合共済規程に定める最低割合～最高補償割合の中から選択し、それを乗じて共済金額を求める</p>
	<p>大豆</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気象災害（冷害・風水害・干害等）</li> <li>・病虫害、鳥獣害、火災</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栽培面積 5 a 以上（最低加入基準）</li> </ul>	<p>【一筆単位方式】</p> <p>耕地ごとの基準収穫量の 7 割×単位当補償金額</p> <p>【半相殺・全相殺方式】</p> <p>農家ごとの基準収穫量の（8割：半相殺・9割：全相殺）×単位当補償金額</p>
畑作物共済	<p>ホップ</p>			<p>【全相殺方式】</p> <p>農家ごとの基準収穫量の 8 割×単位当補償金額</p>
	<p>蚕繭 (春・初秋・晩秋)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気象災害（風水害、地震等）</li> <li>・病虫害、鳥獣害、火災</li> </ul>	<p>最低加入基準：蚕種の掃立量；春蚕繭（1箱以上）、初秋蚕繭（0.5箱以上）、晩秋蚕繭（0.5箱以上）</p>	<p>【全相殺方式】</p> <p>単位当補償金額×基準収穫量×0.8 （蚕期ごと（小蚕期ごと）に計算）</p>
家畜共済	<p>牛 馬 豚</p>	<p>死亡（胎児の場合、人工授精等の後 240 日以上経過していることが要件）、 廃用（胎児・肉豚を除く）、 病気（胎児・肉豚を除く）、 傷害（胎児・肉豚を除く）</p> <p>【事故除外】 特定の事故のみ限定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳牛の雌等（乳用子牛等、乳用成牛）</li> <li>・肉用牛等（肥育用子牛・肥育用成牛、その他の肉用子牛等、その他の肉用成牛） （等の中に人工授精等の後 240 日以上胎児が含まれる・子牛は出生後 6 か月未満・成牛は出生後 6 か月以上）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共済価額×付保割合で共済金額を求め、この範囲内で死廃用事故にかかる共済金が支払われる（共済価額：家畜個体評価額の合計額、付保割合：組合共済規程で定める最低割合～8割の間で選択）</li> <li>・高被害率農家（死廃事故多発農家）には、共済金の支払いに一定の限度が設けられるが、火災や自然災害、伝染病による死廃事故の場合は限度適用前の共済金額の範囲内で支払われる</li> </ul>

引受対象		共済支払対象事故	加入基準	補償対象
園芸施設共済	プラスチックハウス・ガラス室・鉄骨ハウス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気象災害（風水害、雪害、地震等）</li> <li>・火災、破裂、爆発</li> <li>・航空機の墜落及び接触等</li> <li>・車両の衝突等</li> <li>・病虫害、鳥獣害</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組合員であり、ハウスを所有し農作物を栽培管理していること</li> <li>・1 a 当たりの再建築価額が3万円未満の施設や畜舎、蚕室、タバコ乾燥室など農作物の栽培以外で使用されている施設は除く</li> </ul>	<p>共済価額（施設時価額）×付保割合 付保割合（組合共済規程に定める最低割合～8割の間で選択）</p> <p>※施設内農作物は、施設の再建築価額（新築価額）に該当施設内農作物の価額算定率をかけ、さらに付保割合をかけて共済金額を求める（花き類、果菜類、葉菜類ごとに栽培のために投下した生産費</p>

## 2 任意共済（国庫負担金対象外）

引受対象		共済支払対象事故	加入基準	補償対象
建物共済	建物 家具類 小農器具	<p>（火災共済）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火災、落雷、破裂、漏水（除く凍結損害）、車両飛込、落下、盗難に伴う汚損等</li> </ul> <p>（総合共済）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火災共済に加え</li> <li>・風水害、雪害、地震、噴火、津波、その他の自然災害</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所有又は管理している住宅、農作業場、畜舎等</li> <li>・上記住宅に收容されている家具、家財</li> <li>・農作業場等に收容されている小農器具</li> </ul>	<p>（火災事故）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共済期間は掛金納入日の午後4時から1年間</li> <li>・損害額×（加入金額／再建築価格×加入割合）で算定される額</li> <li>※加入割合8割以上：損害共済金＝損害額（加入金額限度）</li> <li>※加入金額8割未満：加入割合によって支払</li> </ul> <p>（風水害事故）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・損害額が再建築価格の5%又は1万円を超えた場合に支払</li> <li>・（損害額－1万円）×（加入金額／再建築価格）</li> </ul>
農機具共済	農機具	<p>（火災共済）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火災、落雷、獣害、盗難、衝突等</li> </ul> <p>（総合共済）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火災共済に加え</li> </ul> <p>（更新共済）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・墜落、転覆、風水害、雪害、クローラの切断、自然災害</li> <li>・総合共済に加え</li> <li>・将来の買替費用の積立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所有または管理している未使用の状態を取得した農機具</li> </ul>	<p>損害額×（加入金額／新品価格）で算定される額</p> <p>※損害額1万円以上の事故から対象</p> <p>※機械の腐食等の自然消耗等は対象外</p>

## 漁業共済事業の種類と仕組み

引受対象		補償水準等	共済事故	加入方法	補償方法
漁獲共済	1号漁業	採貝採藻業のうちわかめこんぶあわび	【収穫高保険方式】 漁獲金額が不漁等により減少した場合の損失補償	【義務加入】 漁協ごと・区域ごとに漁業者全員をまとめて漁協が契約者となる 「集団契約」  【漁協自営加入】 対象漁業を営む漁協が契約	<p>【全事故比例てん補方式】 減収分を比例的に補償する方式</p> <p>【約定限度内てん補方式】 共済限度額(補償水準)に対する約定割合(10%、20%、30%のいずれか選択)までに限定しててん補する方式</p> <p>【支払上限付てん補率てい増方式】 支払上限割合(50%)までをてん補するが、25%以下の損失については1/2をてん補する方式</p> <p>【支払上限付小損害低てん補方式】 損失割合が事故判定ライン(30%)を上回る場合は支払上限割合(50%)までの全額をてん補するが、判定ライン以下の場合は1/2をてん補する方式</p> <p>【支払上限付小損害不てん補方式】 損失割合が事故判定ライン(30%)を上回る場合は支払上限割合(50%)までをてん補するが、判定ライン以下の場合は不てん補とする方式</p> <p>【約定限度内低事故不てん補方式】 共済限度額に対する約定割合(10%、20%、30%のいずれか選択)までに限定しててん補するが、低事故(共済限度額に対する割合が5%)部分は不てん補とする方式</p> <p>【支払上限付低事故不てん補方式】 損失割合が共済限度額に対する約定割合(10%、20%、30%のいずれか選択)を上回る場合は、約定割合から支払上限割合(50%)までをてん補する方式</p> <p>【地震等限定てん補方式】 事故判定基準の「激甚災害に政令指定された地震・噴火又は、これらによる津波により、操業の制限を受け、かつ、責任期間中の漁獲金額が共済限度額の70%に満たないこと」に該当する場合、共済限度額の70%を下回った部分をてん補する方式</p> <p>【地震等比例てん補付約定限度内てん補方式】 通常は「約定限度内てん補方式」によりてん補し、「地震等限定てん補方式」の事故判定基準に該当する場合は、「全事故比例てん補方式」によりてん補する方式</p>
	2号漁業	漁船漁業 定置漁業		過去5年間の漁獲金額のうち最高と最低を除く3年平均×一定割合(漁業種類ごとに一律)	

引受対象	補償水準等	共済事故	加入方法	補償方法
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">特定養殖共済</p>	<p>わかめ こんぶ ほたて貝 かき</p> <p>過去5年間の養殖単位当たり生産金額のうち最高と最低を除く3年平均 × 契約年のさく数、台数、または幹縄の延長数 × 一定割合(養殖種類ごとに一律)</p>	<p>【収穫高保険方式】 生産金額が病虫害等により減少した場合の損失補償</p>	<p>【義務加入】 漁協ごと・区域ごとに全員加入(個別契約、漁協一括契約)</p> <p>【連合加入】 漁協ごと・区域ごとに漁業者がまとめて加入(個別契約、漁協一括契約)</p> <p>【任意加入】 1人からでも加入できる(個別契約)</p>	<p>【全事故比例てん補方式】 減収分を比例的に補償する方式</p> <p>【約定限度内てん補方式】 共済限度額(補償水準)に対する約定割合(10%、20%、30%のいずれか選択)までに限定しててん補する方式</p> <p>【支払上限付てん補率てい増方式】 支払上限割合(50%)までをてん補するが、25%以下の損失については1/2をてん補する方式</p> <p>【支払上限付小損害低てん補方式】 損失割合が事故判定ライン(30%)を上回る場合は支払上限割合(50%)までの全額をてん補するが、判定ライン以下の場合には1/2をてん補する方式</p> <p>【支払上限付小損害不てん補方式】 損失割合が事故判定ライン(30%)を上回る場合は支払上限割合(50%)までをてん補するが、判定ライン以下の場合には不てん補とする方式</p> <p>【約定限度内低事故不てん補方式】 共済限度額に対する約定割合(10%、20%、30%のいずれか選択)までに限定しててん補するが、低事故(共済限度額に対する割合が5%)部分は不てん補とする方式</p> <p>【支払上限付低事故不てん補方式】 損失割合が共済限度額に対する約定割合(10%、20%、30%のいずれか選択)を上回る場合は、約定割合から支払上限割合(50%)までをてん補する方式</p> <p>【大損害比例てん補方式】 加入区全体の損失割合が30%以上の場合は全額がてん補対象で、30%未満の場合は約定割合の1/2を填補する方式(漁協一括契約のみ)</p> <p>【地震等限定てん補方式】 事故判定基準の「激甚災害に政令指定された地震・噴火又は、これらによる津波により、操業の制限を受け、かつ、責任期間中の生産金額が共済限度額の70%に満たないこと」に該当する場合、共済限度額の70%を下回った部分をてん補する方式</p> <p>【地震等比例てん補付約定限定内てん補方式】 通常は「約定限度内てん補方式」によりてん補し、「地震等限定てん補方式」の事故判定基準に該当する場合は、「全事故比例てん補方式」によりてん補する方式</p>



引受対象		補償水準等	共済事故	加入方法	補償方法	
漁業施設共済	漁具	定置網	新調価格 × 引受現有率	【物損保険方式】 漁業に供用中の 漁具・養殖施設 が台風等の自然 災害により受け た損壊や第三者 により受けた損 害(盗難を除く) を補償	水域ごとに全ての施設が加 入	【全損契約】 全部損害の場合のみ補償  【分損特約契約】 3割以上の損害の場合に補償  【地震等限定てん補(分損)契約】 地震・噴火又は、これらによる津 波が原因で3割以上の損害の場合に 補償
	養殖施設	浮流し はえ縄 いかだ 網いけす				

- ※1 個別契約  
漁業者が直接加入する方式
- 2 漁協一括契約  
漁協が加入する方式
- 3 集団契約  
漁業者がグループで加入する方式

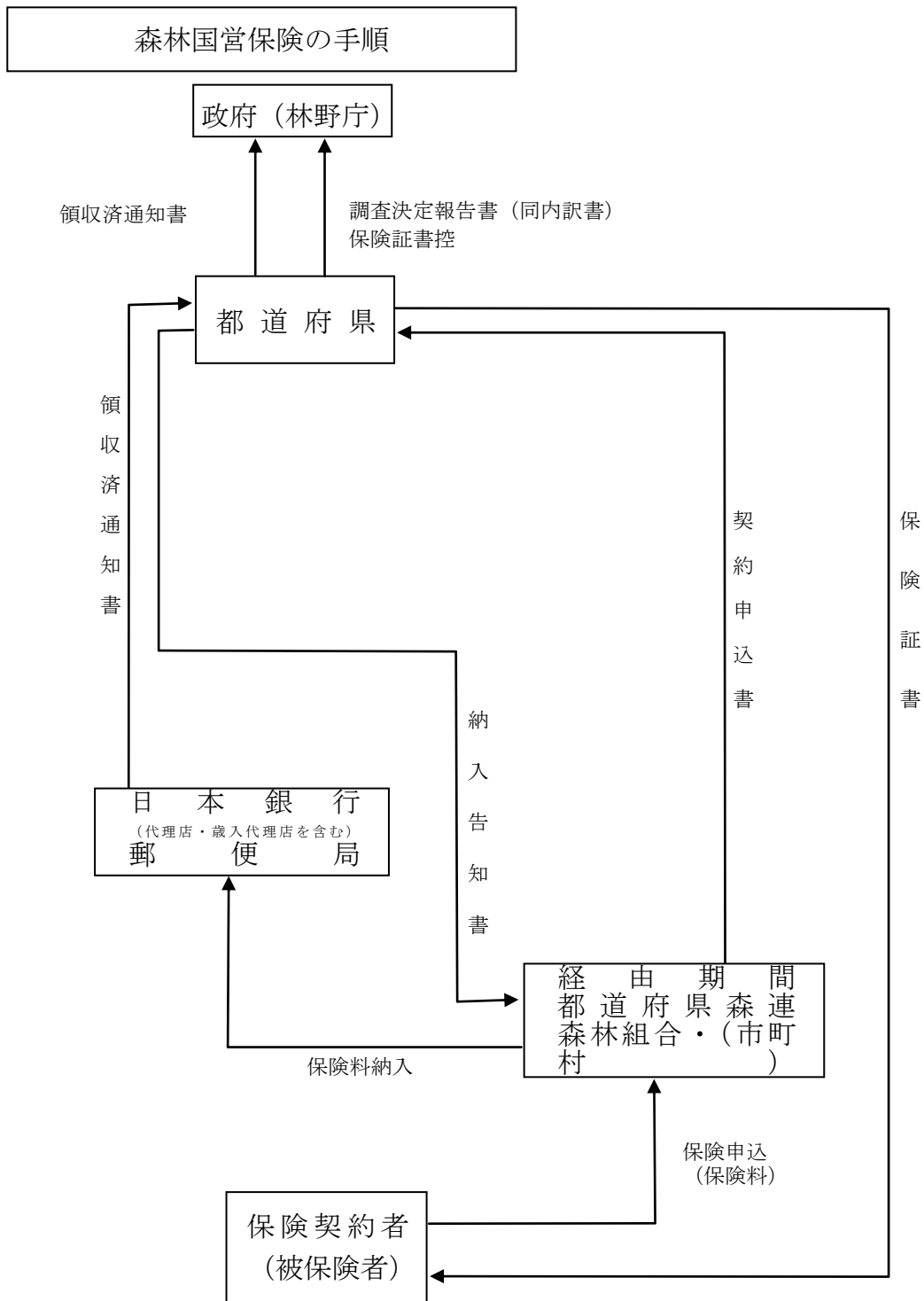


## 森林災害復旧事業と被害地等森林整備事業の概要

区分	森林災害復旧事業			被害地等森林整備事業 (指定被害地造林等)		
根拠法	激甚災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律（激甚災害法）			森林法		
目的	激甚災害を受けた森林の復旧			被害を受けた森林の復旧		
対象 災害の 範囲	激甚災害  国民経済に著しい影響を及ぼし、かつ、特別の助成等が特に必要と認められる災害で、政令で指定するもの			災害、気象害、病虫獣害等		
事業を 実施で きる地 域	農林水産大臣が告示する市町村  激甚災害による森林被害額が 1,500 万円以上で、かつ、要復旧面積が 90ha 以上の市町村  (激甚災害が暴風雨による場合)  森林被害額が 4,500 万円以上、かつ、要復旧面積が 40ha 以上の市町村			指 定 被 害 地 造 林	林野庁長官が指定した市町村  ① 数都道府県にまたがり被害を受け、森林被害額の合計が 30 億円以上の場合の当該都道府県、又は被害額が 15 億円以上の都道府県内で被害額 500 万円以上かつ要回復面積 30ha 以上の市町村  ② 森林被害額が 3,000 万円以上で、かつ、要回復面積が 150ha 以上の市町村	
					被 害 地 造 林	指定被害地造林以外の地域
事業 内容	人工林被害跡地における被害木等の伐採・搬出及び造林	倒伏した造林木の引きこし	作業路の開設	人工林被害跡地における被害木等の伐採・搬出及び造林	倒伏した造林木の引きこし (指定被害地のみ)	作業路の開設
事業 主体	都道府県、市町村、森林組合、生産森林組合、森林組合連合会、森林整備法人、任意団体等			都道府県、市町村、森林組合、生産森林組合、森林組合連合会、森林整備法人、任意団体、森林所有者		
補助率	国：1／2、県：1／6			国：3／10、県：1／10 (査定係数 120、140)		
事業費 査定	あり			なし		



## 森林国営保険の概要



注) 保険の目的が都道府県有林で、被保険者かつ契約者が都道府県である場合の事務の流れは上図と異なる。(※経由機関に委任している事務を都道府県が実施する。)

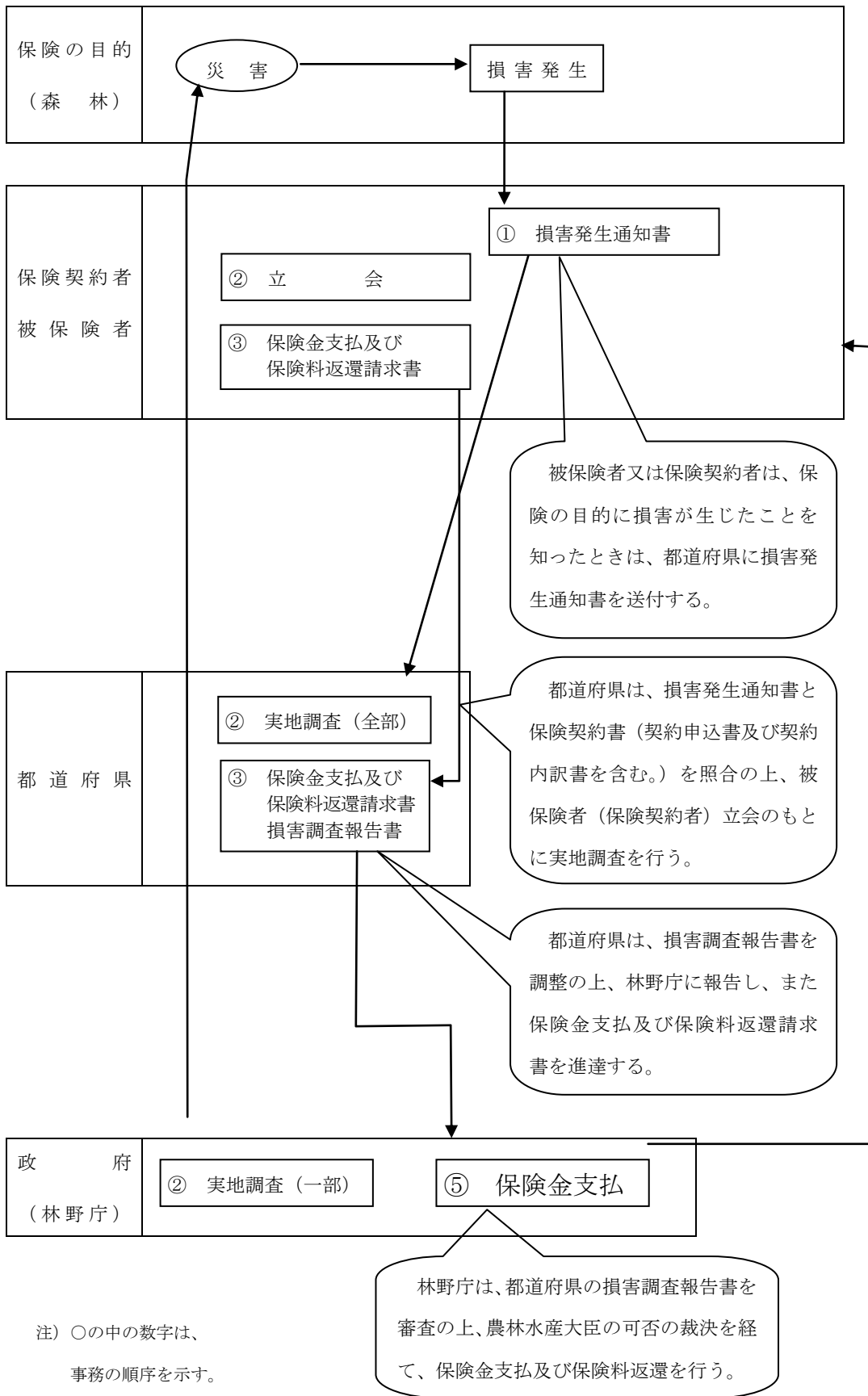
森林国営保険に係る損害てん補業務

業務の流れ	仕事をすべき者	費用負担者等
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">保険事故の発生</div> <p style="text-align: center;">↓</p>	森林所有者 (保険契約者・被保険者)	・発生に係る通知は森林所有者 保険契約者・被保険者<個人負担>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">損害発生通知書</div> <p style="text-align: center;">↓</p>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">同上の受理・送付</div> <p style="text-align: center;">↓</p>	経由機関 (市町村、森林組合、都道府県森連)	経由機関 <市町村等交付金・手数料> ・通知書の作成は経由期間の受理業務の一環
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">同上の受理</div> <p style="text-align: center;">↓</p>	都道府県 (委託している場合は受託者)	都道府県 <都道府県交付金(都道府県委託費)>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">損害の現地調査 概況調査</div> <p style="text-align: center;">↓</p>	都道府県 (委託している場合は受託者)	都道府県 <都道府県交付金(都道府県委託費)>
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">現地調査</div> <p style="text-align: center;">↓</p> </div>		
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">現地調査立会</div> <p style="text-align: center;">↓</p> </div>	保険契約者又は被保険者 (委任を受けた者を含む)	保険契約者・被保険者<個人負担>
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">現地調査補助</div> <p style="text-align: center;">↓</p> </div>	都道府県の職員又は 現地雇用作業員	都道府県 <都道府県交付金(都道府県委託費)>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">損害調査報告書 保険金支払及び保険料 返還請求書</div> <p style="text-align: center;">↓</p>	都道府県 (委託している場合は受託者)	都道府県 <都道府県交付金(都道府県委託費)> ・保険金等の請求書作成、請求印受領も調査の一環
<p style="text-align: center;">(報告)</p> <p style="text-align: center;">↓</p>	都道府県	都道府県 <都道府県交付金>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">同上受理</div> <p style="text-align: center;">↓</p>	林野庁	林野庁
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">保険金支払い</div> <p style="text-align: center;">↓</p>	林野庁	林野庁
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">保険金代理受理</div> <p style="text-align: center;">↓</p> </div>	保険金受取人(被保険者)の 委任を受けた者	保険金受取人<個人負担>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">保険金受理</div>	保険金受取人	

(注)

- 1 損害発生通知書、保険金支払請求書の作成の考え方は、民間損保も同様である。
- 2 現地調査立会と現地調査補助は別の立場である。立会者に調査手伝いをさせた場合の経費は都道府県又は都道府県森連が都道府県交付金または都道府県の委託費から負担する。

### 森林国営保険損害てん補の手順







# 農作物災害対策要綱

(昭和 61 年 4 月 1 日制定)  
(平成 8 年 3 月 25 日一部改正)  
(平成 13 年 4 月 1 日一部改正)  
(平成 17 年 9 月 6 日一部改正)  
(平成 19 年 12 月 11 日一部改正)

(趣旨)

第 1 この要綱は、農作物について、暴風雨、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、低温、渇水、降ひょうその他の異常気象による災害（以下「気象災害」という。）の未然防止並びに被害の軽減回復及び拡大防止のための対策を推進し、農作物の生産確保及び再生産を図り、もって農業経営及び農家生活の安定に資するために必要な事項を定めるものとする。

(対策の内容)

第 2 この要綱による対策の内容は、次のとおりとする。

- (1) 緊急病虫害防除対策
- (2) 播き直し、改植、代作の対策
- (3) 生育回復対策
- (4) 農業経営維持に必要なものとして知事が特に認める対策

(被害の把握)

第 3 県は、気象災害が発生したときは、別に定める農業被害報告要領に基づき、農業被害状況を取りまとめるものとする。

- 2 県は、前項の規定により取りまとめた農業被害状況を対策実施の基礎とするとともに、必要があると認めるときは現地調査を行うものとする。

(助成措置の適用)

第 4 県は、原則として、次の各号のすべてに該当する場合に助成措置を講ずるものとする。

- (1) 2 以上の市町村における農作物の被害額が 1 億円以上の場合又は同程度以上の被害の発生が予測される場合
- (2) 被害率が 31 パーセント以上（第 2 第 2 号に掲げる対策を実施する場合にあっては 71 パーセント以上）の農作物がある場合又は同程度以上の被害の発生が予測される場合
- (3) 第 2 の各号に掲げる対策を実施することにより、気象災害の未然防止又は被害の軽減回復若しくは拡大防止の効果が大きいと認められる場合
- (4) 災害発生の都度（発生が予測される場合を含む。）、別に定める補助事業の交付要領等により算出される県の補助金の見込額が、1 市町村 1 作目当たり 15 万円以上であり、かつ、1 市町村における県の補助金の見込額が 30 万円以上となる場合

(対策の推進体制)

第 5 被害の把握については農林水産企画室長が、助成措置の適用については農産園芸課総括課長が所掌する。



農作物災害復旧対策事業の実施状況（県単 昭和61年～平成21年被害（農作物被害額1億円以上））

年度	農作物被害状況				農作物災害復旧対策事業実施状況						
	月 日	被害の内容	被害面積 (ha)	被害金額 (千円)	対象作物	対策の内容	対象面積 (ha)	事業費 (千円)	補助金額 (千円)	備 考	
S61	8月4日～5日	台風10号	3,272.8	500,232	水稲	病虫害防除	1,272.6	8,336	2,775	一関市等6市町村	
					大豆	代作	10.2	2,881	959	一関市等3市町村	
					野菜	代作	3.9	1,175	391	川崎村	
						生育回復	4.9	92	30	川崎村	
						小計	8.8	1,267	421	7市町村	
					桑	生育回復	60.3	2,603	865	北上市等5市町村	
		計	1,351.9	15,087	5,020	7市町村					
	9月7日	降雹	112.5	100,740	果樹	病虫害防除	78.0	3,779	1,259	大東町	
		年度計						1,429.9	18,866	6,279	
	S62	5月6日	凍霜害	4,640.0	1,201,346	果樹	病虫害防除	551.9	14,798	4,851	盛岡市等14市町村
生育回復							121.7	27,193	9,058	松尾村等9市町村	
小計							673.6	41,991	13,909	14市町村	
野菜						改植	10.0	2,961	986	滝沢村	
						桑	生育回復	232.2	5,445	1,792	葛巻町等15市町村
						葉たばこ	生育回復	1,547.1	5,828	1,902	大迫町等10市町村
		計	2,462.9	56,225	18,589	25市町村					
8月16日～18日		大雨洪水	3,670.5	678,589	水稲	病虫害防除	1,424.5	11,924	3,973	一関市等5市町村	
						豆類	病虫害防除	2.1	11	3	藤沢町
						代作	2.8	596	198	藤沢町、川崎村	
		小計	4.9	607	201	2町村					
8月29日		大雨洪水	970.4	236,652	野菜	代作	39.6	8,394	2,794	岩手町、一関市、平泉町	
						生育回復	5.5	59	19	川崎村	
						小計	45.1	8,453	2,813	4市町村	
9月22日		降雹	10,582.1	1,479,501	果樹	病虫害防除	139.0	4,355	1,440	紫波町等4市町村	
						野菜	代作	3.2	689	224	紫波町
					計	142.2	5,044	1,664	4市町村		
	年度計						4,163.7	86,710	28,723		
S63	6月18日	降雹	221.0	110,806	野菜	病虫害防除	2.8	29	9	安代町	
						改植	5.0	672	224	安代町	
						小計	7.8	701	233		
					果樹	病虫害防除	31.0	1,126	374	二戸市	
		計	38.8	1,827	607	2市町村					
	8月28日～31日	大雨	3,942.8	1,145,609	水稲	病虫害防除	435.9	2,812	935	胆沢町等5市町村	
						大豆	病虫害防除	100.4	839	278	金ヶ崎町等4市町村
						代作	10.0	1,640	546	金ヶ崎町	
						小計	110.4	2,479	824	4市町村	
					野菜	病虫害防除	114.2	4,643	1,529	紫波町等5市町村	
						代作	34.8	8,040	2,636	岩手町等5市町村	
						小計	149.0	12,683	4,165	6市町村	
	桑	生育回復	52.0	2,398	798	川崎村、北上市					
	計	747.3	20,372	6,722	11市町村						
夏期	低温・日照不足	95,026.0	30,127,805	別途対策事業を実施							
	年度計						786.1	22,199	7,329		

年度	農作物被害状況				農作物災害復旧対策事業実施状況					
	月 日	被害の内容	被害面積 (ha)	被害金額 (千円)	対象作物	対策の内容	対象面積 (ha)	事業費 (千円)	補助金額 (千円)	備 考
H元	6月10日 ～11日	降霜	2,770.8	240,701	大豆	播き直し	64.0	1,814	604	軽米町、九戸村
					小豆	播き直し	6.4	156	52	軽米町、九戸村
					野菜	播き直し	54.2	8,344	2,764	二戸市等3市町村
					果樹	生育回復	9.0	177	59	軽米町
					とうもろこし	播き直し	99.7	4,832	1,609	岩泉町等6市町村
					計		233.3	15,323	5,088	6市町村
	7月～8月	少雨	1,799.4	309,224	水稲	病害虫防除	110.2	2,622	873	紫波町
						揚水機購入	61団地	23,079	7,617	紫波町等4市町村
					計		110.2	25,701	8,490	4市町村
	8月下旬 ～9月下旬	長雨	714.8	401,839	野菜	病害虫防除	185.5	4,923	1,623	岩手町等4市町村
年度計							529.0	45,947	15,201	
H2	7月24日	降雹	351.8	276,326	レタス	病害虫防除	80.7	2,553	850	川井村、一戸町
						代作	13.3	4,112	1,369	川井村、一戸町
						小計	94.0	6,665	2,219	2町村
									キャベツ	病害虫防除
					計		104.0	6,826	2,272	2町村
	8月26日	降雹	810.9	277,266	りんご	病害虫防除	57.0	2,056	684	東和町、北上市
	9月19日 ～20日	台風19号	4,489.2	671,624	だいこん	病害虫防除	2.0	23	7	紫波町
						代作	8.0	1,031	343	紫波町
						小計	10.0	1,054	350	
					ねぎ	病害虫防除	2.0	17	5	花巻市
						代作	2.0	258	85	花巻市
						小計	4.0	275	90	
					ほうれんそう	播き直し	4.9	631	210	遠野市、宮守村
					ブロッコリー	病害虫防除	4.0	28	9	花巻市
						代作	4.0	515	171	花巻市
						小計	8.0	543	180	
					レタス	代作	3.0	386	128	遠野市
					ごぼう	代作	2.0	258	85	花巻市
	わさび	植え直し	0.3	2,039	679	宮守村				
					計		32.2	5,186	1,722	4市町村
年度計							193.2	14,068	4,678	
H3	8月30日 ～31日	台風14号	357.3	104,153	りんどう	改植	0.8	2,080	665	安代町
	9月27日 ～28日	台風19号	5,875.2	2,418,472	ほうれんそう	播き直し	67.6	9,118	3,013	岩手町等7市町村
						病害虫防除	842.7	31,930	10,575	盛岡市等15市町村
						改植	3,300本	3,400	1,131	盛岡市等5市町村
					小計		842.7	35,330	11,706	15市町村
				計		910.3	44,448	14,719	15市町村	
夏期	長雨・日照不足・低温	100,360.6	25,761,883	別途対策事業を実施						
年度計							911.1	46,528	15,384	
H4	6月14日	降雹	445.7	144,624	りんご	病害虫防除	30.0	534	178	盛岡市
	年度計							30.0	534	178
H5	7月28日 ～29日	大雨洪水	311.5	112,727	農作物災害復旧対策事業は実施せず					
	夏期	異常低温・日照不足	141,252.0	102,690,977	別途対策事業を実施					

年度	農作物被害状況				農作物災害復旧対策事業実施状況						
	月 日	被害の内容	被害面積 (ha)	被害金額 (千円)	対象作物	対策の内容	対象面積 (ha)	事業費 (千円)	補助金額 (千円)	備 考	
H6	6月17日	降雹	112.8	105,419	レタス	病害虫防除	24.8	521	173	岩手町、一戸町	
						改植・代作	11.6	4,593	1,531	岩手町、一戸町	
						計	36.4	5,114	1,704	2町	
	7月～8月	高温乾燥・少雨	49,533.0	4,372,730	レタス	改植・代作	27.8	14,695	4,894	岩手町、遠野市、一戸町	
						だいこん	改植・代作	10.0	1,249	416	岩手町
						キャベツ	改植・代作	5.0	1,874	624	一戸町
						はくさい	改植・代作	2.0	626	208	一戸町
						さといも	改植・代作	23.0	14,924	4,974	北上市
						牧草	改植・代作	20.0	694	197	金ヶ崎町
	計	87.8	34,062	11,313	5市町村						
9月30日	台風26号	2,824.4	155,193	農作物災害復旧対策事業は実施せず							
年度計							124.2	39,176	13,017		
H7	8月2日～7日	大雨洪水	2,784.9	1,338,377	水稲	病害虫防除	1,295.0	15,214	5,056	一関市等4市町村	
	11月7日～9日	暴風雪	1,010.0	293,169	りんご	病害虫防除	23.0	464	154	大東町	
						改植	7.3	6,825	2,272	盛岡市、紫波町、石鳥谷町	
						小計	30.3	7,289	2,426	4市町村	
					ぶどう	改植	23.0	8,580	2,764	紫波町、石鳥谷町、大迫町	
						ぶどう棚復旧	37.1	53,069	17,688	紫波町、石鳥谷町、大迫町	
	小計	60.1	61,649	20,452	3市町村						
計	90.4	68,938	22,878	5市町村							
年度計							1,385.4	84,152	27,934		
H10	5月11日	凍霜害	158.7	142,760	ぶどう	薬剤散布	51.5	3,491	1,163	紫波町、大迫町	
						雨よけ被覆	6.9	30,101	10,033	紫波町、大迫町	
						改植	1,949本	3,306	1,102	紫波町、大迫町	
						計	58.4	36,898	12,298	2町	
	8月26日～9月1日	大雨洪水	2,821.7	1,261,302	水稲	病害虫防除	1,719.8	17,048	5,679		
	9月15日～16日	台風5号	850.5	235,454	りんご	病害虫防除	42.6	2,057	685	藤沢町、田野畑村	
						引き起こし	4.6	2,725	908	藤沢町、田野畑村	
計	47.2	4,782	1,593	2町村							
年度計							1,825.4	58,728	19,570		
H11	7月12日～14日	大雨	705.0	115,411	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
	7月下旬～8月中旬	高温乾燥	5,988.1	552,407	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
	10月27日～28日	大雨	920.5	217,022	りんどう	改植	0.6	4,365	1,455	軽米町、九戸村	
					スプレーギク	改植	0.1	601	200	九戸村	
計	0.7	4,966	1,655	2町村							
年度計							0.7	4,966	1,655		
H12	7月4日	降雹	180.1	100,900	葉たばこ	代作	1.5	1,898	632	宮守村	
	7月8日～9日	台風3号	3,061.8	545,492	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
年度計							1.5	1,898	632		
H13	4月下旬	凍霜害	1,959.7	1,883,809	キャベツ	改植	8.8	3,129	1,042	岩手町、西根町	
						病害虫防除	613.2	43,202	14,388	二戸市等13市町村	
					りんご	代作	0.9	1,164	387	二戸市	
						花粉購入	7.8	157	51	滝沢村、江刺市、軽米町	
						小計	621.9	44,523	14,826	13市町村	
					おうとう	病害虫防除	9.2	1,304	434	二戸市、一戸町	
	西洋なし	病害虫防除	57.5	4,517	1,503	紫波町等4市町村					
	計	697.4	53,473	17,805	14市町村						
8月30日～31日	大雨洪水	1,615.6	173,156	農作物災害復旧対策事業は実施せず							
年度計							697.4	53,473	17,805		

年度	農作物被害状況				農作物災害復旧対策事業実施状況						
	月 日	被害の内容	被害面積 (ha)	被害金額 (千円)	対象作物	対策の内容	対象面積 (ha)	事業費 (千円)	補助金額 (千円)	備 考	
H14	7月10日 ～11日	台風6号	7,274.9	1,381,338	きゅうり	緊急薬剤散布	1.03	19	6	北上市	
						播き直し	0.07	134	45	北上市	
						ごぼう	0.6	450	150	北上市	
						スイートコーン	0.87	648	216	北上市	
						水稲	314.7	4,160	1,385	川崎村、藤沢町、 東山町	
		計	317.27	5,411	1,802						
	8月	長雨・日照不足	1,467.5	686,136		レタス	緊急薬剤散布	164.0	9,871	3,290	一戸町、岩手町
						キャベツ	緊急薬剤散布	33.0	791	263	一戸町、岩手町
						だいこん	緊急薬剤散布	28.18	1,285	428	川井村
						計	225.18	11,947	3,981		
年度計							542.45	17,358	5,783		
H15	6月下旬 以降	低温・日照不足	95,685.6	32,906,921	水稲	緊急薬剤散布	1,889.4	10,889	3,625	滝沢村等6市町村	
						代作	10.9	7,928	2,637	磐石町等6市町村	
						計	1,900.3	18,817	6,262		
年度計							1,900.3	18,817	6,262		
H16	4月下旬 ～5月上旬	凍霜害	532.6	115,327	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
	8月20日	台風15号	1,758.8	392,461	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
	8月31日	台風16号	1,042.4	209,739	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
	9月30日	台風21号	522.7	100,785	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
	9月～11月	降雨に起因する品質低下	3,018.6	363,914	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
H17	平成16年末からの積雪		988.9	562,000 ※被害見込み額	水稲	融雪剤購入	537	310	103	沢内村	
						除雪作業委託	120	1,081	360	沢内村	
						りんどう	融雪剤購入	1,748	826	275	沢内村
						計	2,405	2,217	738		
年度計							2,405	2,217	738		
H18	6月22日	降雹	68.7	192,823	りんご	緊急薬剤散布	35.0	3,283	1,093	北上市、奥州市(江刺区)	
						生育回復対策	35.0	388	129	北上市、奥州市(江刺区)	
						計	70.0	3,671	1,222		
10月6～8日	大雨暴風	1,402.9	264,620	農作物災害復旧対策事業は実施せず							
年度計							70.0	3,671	1,222		
H19	6月6～8日	降雹	108.7	127,976	りんご	緊急薬剤散布	29.3	584	194	二戸市	
						生育回復対策	29.3	269	89	二戸市	
						おうとう	緊急薬剤散布	2.5	363	121	二戸市
							生育回復対策	2.5	103	34	二戸市
		計	63.6	1,319	438						
	9月17～20日	大雨・洪水	2,975.0	620,553	りんどう	改植	1.0	3,600	1,200	八幡平市、奥州市	
						大豆	代作	76.8	8,261	2,750	一関市、平泉町
飼料用稲						代替粗飼料確保	13.4	8,958	2,984	一関市、平泉町	
	計	91.2	20,819	6,934							
年度計							154.8	22,138	7,372		
H20	4月～5月	低温	186	110,481	りんご	緊急薬剤散布	20.5	857	285	軽米町	
						生育回復対策	20.5	1,405	468	軽米町	
						加工もも	緊急薬剤散布	16.5	986	328	軽米町
							計	57.5	3,248	1,081	
年度計							57.5	3,248	1,081		
H21	7月10日 7月13日	強風			ホップ	緊急薬剤散布	30.0	955	318	遠野市	
						生育回復対策	30.0	434	145	遠野市	
						計	60.0	1,389	463		
	10月8日	台風18号	1,114	387,157	りんご	改植	0.3	1,494	498	奥州市	
						緊急薬剤散布	29.8	669	223	奥州市	
	計	30.1	2,163	721							
年度計							90.1	3,552.0	1,184.0		

1億円以上の被害額となった災害：51災害（S61～H21） ※ただし、1億円以上の被害が見込まれたH17の1災害を含む  
うち農作物災害復旧対策事業を実施した災害：36災害（S61～H21）

平成元年以降の農林水産業気象災害

年	災害名	農畜産物	農業施設	農機・農業用施設	農業被害額計	林産物	林産・特用林産物	森林	林業被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業被害額計	農林水産業被害額計
2	1月24日～27日にかけての波浪災害													37,430	37,430	
	2月26日大雪災害		4,395		4,395										15,300	19,695
	3月21日～22日にかけての波浪災害															
	4月8日～9日及び11日～12日にかけての大雨等災害	1,001	129	265,000	266,130	104,484			104,484	200	8,180	12,355	390,918	26,888	438,541	438,541
	5月14日～15日にかけての強風災害	650			650											370,614
	5月15日の降雪災害	9,110			9,110											9,110
	6月3日の降雪災害	3,434			3,434											3,434
	6月10日～11日にかけての降雪災害	240,701			240,701											240,701
	7月～8月にかけての少雨による被害	468,709			468,709											468,709
	8月15日～16日にかけての台風14号による波浪災害															
	8月27日～28日にかけての台風17号による大雨洪水等災害	56,414	7,172	607,000	670,586	19,498			19,498				800		3,430	693,514
	8月下旬～9月下旬にかけての長雨による被害	401,839			401,839	80,000			80,000							481,839
	9月4日～5日にかけての大雨災害					3,883			3,883							3,883
	9月5日～8日にかけての大雨洪水等災害	26,013		665,000	691,013	50,000			50,000							741,013
	9月9日～10日にかけての大雨洪水災害			41,000	41,000	1,379			1,379					3,175		42,379
	11月2日の地震、波浪災害			131,000	131,000						1,300		40		4,515	135,515
	12月15日～16日にかけての波浪災害										1,730				1,730	1,730
	4月8日～9日にかけての強風災害			8,559		8,559										8,559
	4月15日～16日にかけての降雪災害	278	5,647		5,925											5,925
	4月22日～23日にかけての大雨洪水災害	5,194		587,000	592,194	108,404			108,404					300		700,898
5月25日の凍害災害	80,209			80,209											80,209	
6月21日～22日にかけての豪雨災害			20,000	20,000											20,000	
6月26日～28日にかけての豪雨災害	2,145		263,000	265,145											265,145	
7月4日～5日にかけての豪雨災害			21,000	21,000											21,000	
7月17日～19日にかけての大雨洪水災害	23,117		312,000	335,117	30,157			1,799	31,956						367,073	
7月24日の降雪災害	276,326	550	18,000	294,876											294,876	
7月25日～26日にかけての豪雨災害			59,000	59,000											59,000	
8月10日～11日にかけての台風11号による大雨等災害	14,003	3,119	111,000	128,122	18,186				18,186				18,820		165,128	
8月16日～18日にかけての豪雨災害			327,000	327,000											327,000	
8月26日の降雪災害	277,266	5,812		283,078											283,078	
9月3日の豪雨災害			39,000	39,000											39,000	
9月11日～12日にかけての豪雨災害			121,000	121,000											121,000	
9月19日～20日にかけての台風19号による大雨等災害	671,624	1,568	2,930,000	3,603,192	400,461			100,320	500,781	22,080	65,428	8,400	13,095	109,003	4,212,976	
10月24日の波浪災害										3,080	146,031	3,300	7,320	159,731	159,731	
10月26日～27日にかけての大雨等災害	20,209		905,000	925,209	295,380			26,402	321,782						1,246,991	
11月4日～5日にかけての大雨洪水等災害	99,507	13,332	3,747,000	3,859,839	1,794,597	6,172		381,635	2,182,404	10,518	134,530	43,174	187,116	720,267	7,137,848	
11月11日～12日にかけての強風災害	13,994			13,994											13,994	
11月30日～12月1日にかけての台風26号から変わった温帯低気圧による大雨等災害		4,404	3,000	7,404						3,820	31,940	18,435	84,744	138,939	146,343	
1月19日の波浪災害															2,600	2,600
2月15日～17日にかけての低気圧災害	24,089	48,692	10,000	82,781				2,954,892	2,954,892						7,798,254	10,835,927
2月28日～3月1日にかけての強風災害	8,437	21,105		29,542						483,419	391,886	554,518	3,586,701	2,781,730	7,982,542	29,542
3月6日～7日にかけての強風災害		1,690		1,690											1,690	1,690

年	災害名	農畜産物	農業施設	農地・農業 用施設	農業 被害額計	林業施設	林産・特用 林産物	森林	林業 被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業 被害額計	農林水産業 被害額計
3	6月12日～14日にかけての大雨災害					40,000			40,000							40,000
	6月16日の豪雨災害			64,000	64,000											64,000
	6月30日の落雷災害			3,000	3,000											3,000
	7月10日～11日にかけての豪雨災害	11,589		29,000	40,589											40,589
	7月16日～17日にかけての豪雨災害			222,000	222,000											222,000
	7月21日の大雨災害				65,000				65,000							65,000
	7月24日～25日にかけての豪雨災害			105,000	105,000	55,288			55,288							160,288
	8月22日の豪雨災害			67,000	67,000											67,000
	8月30日～31日にかけての台風14号による大雨洪水災害	104,153	65,634	2,411,000	2,580,787	456,594		18,089	474,683					44,160		3,099,630
	8月7日の豪雨災害			59,000	59,000	18,804			18,804							77,804
	9月17日～18日にかけての台風19号による大雨洪水災害	21,648		288,000	309,648	156,216		4,687	160,903		200	300			121,940	592,491
	9月27日～28日にかけての台風19号による強風災害	2,452,393	1,364,292	35,000	3,851,685	5,300	3,705	56,348	65,353		5,205				9,635	3,926,673
	10月10日～14日にかけての台風21号による大雨洪水災害	9,390		990,000	999,390	357,055		1,152	358,207							1,357,597
長雨、日照不足、低温による災害	25,761,883			25,761,883											25,761,883	
12月28日～29日にかけての強風災害		3,905		3,905											3,905	
4	5月21日の降雹災害	10,106			10,106											10,106
	5月28日の降雹災害	5,073			5,073											5,073
	6月14日の降雹災害	144,624			144,624											144,624
	6月28日の降雹災害	9,609			9,609											9,609
	8月8日～9日の台風10号による災害	27,408	4,411		31,819						20,220					31,819
	9月11日～12日の台風17号による波浪災害															20,220
	1月15日の地震災害			10,000	10,000											10,000
	1月29日の強風災害		763		763											763
	2月6日～7日の大雨・融雪災害			83,000	83,000											83,000
	3月8日の波浪災害										1,607		99,000		100,607	100,607
	4月18日の強風災害	7,387	78,330		85,717											85,717
	4月28日の強風災害		2,468		2,468											2,468
	5月6日の地震災害			14,000	14,000											14,000
6月2日～4日の大雨・洪水・波浪災害			83,000	83,000	84,823			84,823					33,631	33,631	201,454	
6月9日の降雹災害	20,477	1,200		21,677											21,677	
7月25日～26日の大雨災害	5,541	300		5,841											5,841	
7月28日～29日の大雨・洪水・波浪災害	112,727	850	2,643,000	2,756,577	1,453,148		17,576	1,470,724		5,000	1,500		3,500	10,000	4,237,301	
8月27日～28日の台風11号による大雨・洪水・波浪災害	9,972	5,483	200,000	215,455	57,143			57,143		100			5,400	133,609	411,707	
9月4日の台風13号による大雨災害			75,000	75,000	502,976			502,976							577,976	
10月24日～25日の強風災害	27,707	4,240		31,947											31,947	
異常低温・日照不足等による災害	102,690,977			102,690,977											102,690,977	
1月29日～30日の大雪による災害	12,356	73,714		86,070											86,070	
2月9日～10日の大雪による災害		60		60											60	
2月21日～23日の強風による災害	3,271	28,299		31,570						2,570	11,480	9,561	37,770		61,381	
4月3日の強風による災害		1,532		1,532											1,532	
5月15日の大雨災害					40,000			40,000							40,000	
6月3日の降雹による災害	17,031			17,031											17,031	
6月9日の降雹による災害	20,290			20,290											20,290	



年	災害名	農畜産物	農業施設	農地・農業 用施設	農業 被害額計	林業施設	林産・特用 林産物	森林	林業 被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業 被害額計	農林水産業 被害額計	
6	6月17日の降雪と雷雨による災害	105,419			105,419											105,419	
	7月1日～2日の大雨による災害			15,000	15,000											15,000	
	8月18日～21日の大雨と強風による災害	33,971	17,749	156,000	207,720	94,390			94,390							302,110	
	7月～8月の高温乾燥と少雨による災害	4,541,905			4,541,905											4,541,905	
	9月8日～9日の強風と降雪による災害	75,209	4,180		79,389											79,389	
	9月15日の大雨による災害	31,931		542,000	573,931	350,548			350,548							924,479	
	9月18日～22日の台風24号による波浪災害					614,123			614,123	96,940	430,730	106,325	287,716	3,774,893	4,696,604	5,310,727	
	9月30日の台風26号による災害	155,193	13,059	920,000	1,088,252											1,088,252	
	10月4日の北海道東方沖地震津波による災害															1,238,240	
	10月11日～12日にかけての大雨による地すべり災害					10,000			10,000							10,000	
	11月4日の強風による災害	51,680			51,680											51,680	
	12月28日の三陸はるか沖地震・津波による災害		5,582	105,000	5,582	50,591	3		50,594		3,500	14,091	7,029		24,620	80,796	
	7	1月7日の地震による災害		13,298		105,000	15,325			15,325							120,325
		4月20日の強風による災害		2,949													13,298
5月31日の降雪による災害		37,960			40,909											40,909	
7月10日の豪雨による災害				4,000	4,000											4,000	
8月2日～7日の大雨洪水による災害		1,338,377	3,249	1,044,000	2,385,626	185,719		2,000	187,719							2,573,345	
8月22日の大雨による災害		2,073		246,000	248,073											248,073	
8月24日の大雨による災害		7,679		323,000	330,679	47,677		1,022	48,699							379,378	
11月17日～9日の暴風雪・波浪による災害		293,169	122,772		415,941			700	700	425	192		60		617	417,258	
12月24日～25日の暴風雪・波浪による災害											8,560				8,620	8,620	
9月2日の大雨・強風による災害				261,000	261,000											261,000	
9月22日～23日の台風17号による災害											48,870	1,010	2,520	140,819	193,219	193,219	
4月3日の融雪災害						88,890			88,890							88,890	
6月24日～25日にかけての大雨災害						47,000			47,000							47,000	
2月6日～7日の暴風雪・波浪による災害											450		18,810		19,260	19,260	
3月31日の強風による災害		14,565		14,565											14,565		
11月6日の強風による災害	12,612			12,612											12,612		
11月21日の強風による災害		384		384											384		
9	1月6日～7日にかけての大雪災害							301,084	301,084							301,084	
	2月4日～5日の波浪による災害									4,420	9,163	48,630	57,493	119,706	119,706	119,706	
	3月1日の強風による災害		835		835			672	672							1,507	
	3月11日の強風による災害		6,131		6,131											6,131	
	4月10日の強風による災害		2,423		2,423											2,423	
	5月2日の強風による災害		920		920											920	
	5月7日～8日の強風による災害			8,000	8,000											8,000	
	6月20日～21日の台風7号による災害	30,605		53,000	53,000											53,000	
	6月23日の雷雨と降雪による災害	8,832		78,000	108,605	500			500							109,105	
	6月28日～29日の台風8号による災害	28,454	1,908	623,000	631,832	155,369			155,369							787,201	
	7月4日～5日の強風による災害				30,362	54,218			54,218							84,580	
	8月12日の局地的大雨による災害			5,000	5,000											5,000	
	8月3日～4日の局地的大雨による災害			9,000	9,000											9,000	
	9月16日～17日の台風19号による災害			1,000	1,000											1,000	

年	災害名	農畜産物	農業施設	農地・農業用施設	農業被害額計	林業施設	林産・特用林産物	森林	林業被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業被害額計	農林水産業被害額計
9	9月2日～3日の大雨による災害			7,000	7,000											7,000
	10月8日～9日の強風による災害	1,259			1,259											1,259
	11月22日の大雨、洪水災害					7,655			7,655							7,655
	1月15日～16日の大雪による災害		18,635		18,635	700		1,957	2,657						600	21,892
	4月2日～4日の大雪による災害		498		498	80,000			80,000							80,498
	5月11日の降雹による災害	142,760			142,760											142,760
	6月19日～20日の強風による災害		1,480		1,480											1,480
	6月26日～29日の大雨による災害	2,359		113,000	115,359	4,300			4,300							119,659
	7月23日の大雨による災害			16,000	16,000	200			200							16,200
	7月28日の大雨による災害					300			300							300
10	8月6日～7日の大雨による災害			30,000	30,000	29,492			29,492							59,492
	8月11日～12日の大雨による災害			32,000	32,000	3,608			3,608							35,608
	8月13日の大雨による災害	1,394		161,000	162,394											162,394
	8月14日の大雨による災害			104,000	104,000	6,104			6,104							110,104
	8月15日～16日の大雨による災害	692		63,000	63,692	57,750			57,750							121,442
	8月26日～9月1日の大雨洪水による災害	1,261,302	17,132	3,915,000	5,193,434	3,402,254	2,325	9,347	3,413,926	6,038					6,038	8,613,398
	9月3日の内陸北部地震による災害			46,000	46,000	4,689,000		4,667	4,673,667							4,719,667
	9月15日の地すべり災害					700,000			700,000							700,000
	9月15日～16日の台風5号による災害	235,454	135,479	228,000	598,933	168,951			168,951	400	8,150	3,610	5,451		17,611	785,495
	9月22日～23日の台風7号による災害	54,837	8,426		63,263											63,263
11	9月25日の強風災害					7,200			7,200							7,200
	9月29日～10月2日の大雨・波浪による災害			60,000	60,000	357,151			357,151					143,432	143,432	560,583
	10月18日の台風10号による災害	40,221			42,656											42,656
	11月4日～5日の強風による災害		171		171											171
	11月14日の落雷による災害			5,000	5,000											5,000
	12月17日の強風による災害		5,126		5,126											5,126
	1月7日の地滑りによる災害			40,000	40,000											40,000
	1月9日～10日の強風による災害		950		950											950
	2月12日～13日の大雪による災害		4,533		4,533											4,533
	2月27日～28日の強風による災害		3,484		3,484											3,484
3月6日の強風による災害		1,812		1,812											1,812	
3月15日～16日の大雪による災害		15,016		15,016	5,484			5,484				9,000	24,000	33,000	53,500	
3月22日～23日の風雪による災害		2,181		2,181											2,181	
4月25日～26日にかけての大雨災害					5,000			5,000							5,000	
5月3日～5日にかけての大雨災害					47,891			47,891							47,891	
5月20日の強風による災害		100		100											100	
6月8日～9日の降雹による災害	72,099			72,099											72,099	
6月24日の強風による災害		2,840		2,840											2,840	
6月29日～7月1日にかけての大雨災害					2,000			2,000							2,000	
7月12日～14日の大雨による災害	126,161	553	1,977,000	2,103,714	2,479,901			29,896	2,509,797						4,613,511	
7月下旬～8月中旬の高湿乾燥による災害	677,408			677,408											677,408	
9月10日～11日の大雨による災害			15,000	15,000	7,600				7,600						22,600	
9月14日～15日の大雨による災害			135,000	135,000											135,000	

年	災害名	農畜産物	農業施設	農地・農業 用施設	農業 被害額計	林業施設	林産・特用 林産物	森林	林業 被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業 被害額計	農林水産業 被害額計
11	9月24日～25日の台風18号による災害		2,512		2,512											2,512
	10月27日～28日の大雨による災害	229,072	36,297	8,462,000	8,727,369	4,800,318	5,643	20,679	4,826,640	8,500	63,200	300			72,000	13,626,009
	3月28日～29日の大雪による災害		10,300		10,300											10,300
	4月1日～2日の強風による災害		4,162		4,162				85,000							122,000
	4月7日～8日の強風による災害		2,954		2,954											4,162
	4月10日～11日の大雨による災害	217			217											217
	4月20日～21日の大雨による災害	6,783		14,800	21,583											21,583
	5月8日の降雹による災害	8,457	3,940		12,397											12,397
	7月4日の降雹による災害	100,644	256		100,900											100,900
	7月8日～9日の大雨・洪水・暴風による災害	545,492	5,182	681,000	1,231,674	1,134,756	460	12,376	1,147,592	200	2,150	200	100,100	357,476	480,126	2,839,392
7月18日の大雨による災害	8,486		70,000	78,486											78,486	
7月下旬～8月中旬の高温による災害	186,950			186,950											186,950	
8月3日の大雨被害				47,706					47,706						47,706	
8月5日～8日の降雹、大雨等による災害	75,880	520	313,000	389,400								7,400	6,028	13,428	402,828	
8月23日の局地的な降雹と突風による災害	24,890	275		25,165											25,165	
10月18日の強風による災害	50,794	450		51,244											51,244	
10月26日の強風による災害	18,204			18,204											18,204	
11月21日の強風による災害		3,540		3,540											3,540	
12月19日～23日の強風による災害	881			881											881	
1月7日～10日の大雪による災害	10,815	10,815		10,815											10,815	
1月18日～4月9日の低温による災害		199,000	199,000	199,000											199,000	
1月28日の大雪による災害		1,732		1,732											1,732	
2月2日～4日の大雪・強風による災害		1,490		1,490											1,490	
3月18日～21日の強風による災害		8,618		8,618											8,618	
4月13日の強風による災害		423		423											423	
4月20日の強風による災害		900		900											900	
4月下旬の低温・降雹による災害	1,883,809			1,883,809											1,883,809	
6月19日～20日の大雨による災害			21,000	21,000	5,000				5,000						26,000	
6月25日～26日のペルー沖地震津波による災害												470			470	
6月29～30日にかけての大雨による災害						60,300			60,300						60,300	
6月30～7月1日にかけての大雨による災害						5,000			5,000						5,000	
7月4日の大雨による災害			120,000	120,000											120,000	
7月23日～24日の大雨による災害			93,000	93,000											93,000	
7月30日～8月2日の大雨による災害	173,156	1,290	1,209,000	1,383,446	608,626		1,170	609,796							1,993,242	
7月下旬の高温による災害	30,063			30,063											30,063	
8月3日～4日の大雨による災害			23,000	23,000											23,000	
8月22日～23日の台風11号による災害	2,548		36,000	38,548	4,680		346	5,026				50	1,500	1,550	45,124	
8月27日～28日の大雨による災害			30,000	30,000											30,000	
9月10日～12日の台風15号による災害	7,822		442,000	449,822	470,422		534	470,956		3,200	2,200	350		5,750	926,528	
9月22日～23日の低温・降雹による災害	99,945			99,945											99,945	
10月1日～3日にかけての大雨による災害						70,000			70,000						70,000	
12月14日～16日の大雪による災害		2,200	32,850		35,050										35,050	

年	災 害 名	農畜産物	農業施設	農地・農業 用施設	農業 被害額計	林業・特用 林産物	森 林	林業 被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業 被害額計	農林水産業 被害額計	
14	1月27日～28日にかけての暴風雪による災害	1,591	55,566	475,676	532,833	7,045	1,636,265	1,643,310	11,471	68,272	124,844	524,076	786,163	1,514,826	3,690,969	
	3月6日～7日にかけての大雪による災害					97,100		97,100							97,100	
	4月5日～7日にかけての大雪による災害															
	4月下旬～5月上旬にかけての降雪による災害	97,363			97,363										97,363	
	5月下旬～6月上旬にかけての降雪による災害	30,620			30,620										30,620	
	台風6号による災害	1,330,021	34,314	10,073,000	11,437,335	6,711,859	18,238	43,342	6,773,439	5,450	10,000	3,343	12,050	33,683	64,526	18,275,300
	8月の長雨・日照不足による災害	686,136		463,000	1,149,136	30,100		30,100								1,179,236
	7月～9月の暑熱による災害		70,922		70,922											70,922
	台風21号による災害	375,816	73,444	37,000	486,260	71,145		7,204	78,349	20,915	147,586	22,898	99,950	3,800	295,149	859,758
	10月21日～22日にかけての大雨暴風雨による災害	919			919			1,300	1,300	500	72,000			500	73,000	75,219
	11月の低温による災害	5,184			5,184											5,184
	2月20日から21日にかけての大雪による災害															
	3月1日から2日にかけての暴風による災害		933		933											933
	3月7日から10日の暴風雪、大雪及び波浪による災害	9,955	153,620		163,575	104,786		421,600	526,386	3,057	25,458	467,019	2,291,362	1,249,500	4,036,396	4,726,357
4月1日の融雪災害					146,055			146,055							146,055	
4月12日～13日の強風災害		583		583											583	
消雪の遅れによる農作物の被害	16,733			16,733											16,733	
4月下旬から5月上旬にかけての降雪災害	21,152			21,152											21,152	
5月26日に発生した三陸沖地震（震度6弱）による被害	881	150,461	500,000	651,342	514,950	27,885	620	543,455	27,493	410			721,100	749,003	1,943,800	
5月28日に発生した三陸沖地震（震度6弱）による被害	2,135			2,135											2,135	
7月10日から11日にかけての大雨災害					110,000			110,000							110,000	
7月24日～27日にかけての大雨災害					276,961		533	277,494	300					300	277,794	
7月28日に発生した地震（震度4）による被害			59,000	59,000											59,000	
8月25日の降雪による被害	1,454			1,454											1,454	
台風10号による被害	10,508	162		10,670	200			200							10,870	
台風14号による被害	24,115	6,358		30,473											30,473	
平成15年十勝沖地震に伴う津波被害																
6月下旬以降の異常気象に伴う農作物被害	32,906,921			32,906,921					1,935	3,192	154,394	273,981		433,502	32,906,921	
11月16日の強風災害	3,282	2,790		6,072											6,072	
12月7日の強風災害		1,189		1,189											1,189	
1月14日強風災害		1,192		1,192											1,192	
2月15日強風災害		1,300		1,300											1,300	
2月23日強風災害		23,716		23,716	295			295						4,000	28,011	
3月6日大雪災害		1,044		1,044											1,044	
3月31日強風災害		4,668		4,668											4,668	
4月20日強風災害		52,742		52,742					200	7,730				7,930	60,672	
4月～5月降雪被害	115,327			115,327											115,327	
6月15日降雪災害	17,708			17,708											17,708	
6月21日台風6号災害	5,297	950	116,000	122,247	52,430			52,430							174,677	
6月30日降雪災害	19,802			19,802											19,802	
7月11日～20日大雨災害	30,559		166,000	196,559	84,800			84,800							281,359	
7月26日～27日降雪・降雪災害	12,850	230	22,000	35,080											35,080	
8月5日～7日大雨災害			47,000	47,000											47,000	

年	災害名	農畜産物	農業施設	農地・農業 用施設	農業 被害額計	林業・特別 林産物	森林	林業 被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業 被害額計	農林水産業 被害額計
16	8月8日降雹災害	763			763										763
	8月9日大雨災害			16,000	16,000										16,000
	8月20日台風15号災害	392,461	81,398		473,859				2,781	1,943				4,724	478,583
	8月31日台風16号災害	209,739	19,254		228,993				2,113	1,900	1,260	3,660		8,933	237,926
	7月1日～8月31日高温被害	94,626			94,626										94,626
	9月8日台風18号災害	87,312	26,993		114,305				1,004					1,004	115,309
	9月21日～22日大雨被害			28,000	28,000										28,000
	9月30日台風21号災害	100,785	27,286	1,836,000	1,964,071	316,236	800	317,036	6,127	2,100		55,150		8,227	2,289,334
	10月10日台風22号災害	1,011	491		1,502										1,502
	11月27日強風災害	12,998	146,165		159,163	9,015	3,681	12,696	3,899	6,760	34,119	46,760	539,300	650,450	818,187
	9月～11月降雨による品質低下減収被害	363,914			363,914										363,914
17	1月17日大雪・波浪災害	71	220		291		543	543	2,773	49,270	12,347	46,760		650,450	651,284
	平成16年末からの積雪による被害	13,171	90,357		103,528		2,863	2,863							106,391
	4月7日強風災害		4,795		4,795										4,795
	4月7日落雷災害			2,000	2,000										2,000
	4月29日・5月1日強風災害		1,645		1,645										1,645
	5月19日強風災害		130		130										130
	5月20日地すべり災害					98,115		98,115							98,115
	5月27日落雷災害			8,000	8,000										8,000
	6月4日大雨災害	1,438			1,438										1,438
	6月11日大雨災害					224	42	266							266
	6月19日・20日降雹災害	93,263			93,263										93,263
	6月27日大雨災害	140		119,000	119,140										119,140
	7月26日台風7号災害		20		20	9,937		9,937			1,560			1,560	11,517
	7月31日大雨災害			3,000	3,000										3,000
	8月の高温災害	22,583			22,583										22,583
	8月14日～15日大雨災害			5,000	5,000	57,900	162	58,062							63,062
	8月16日地震災害		4,000	22,000	26,000	1,006	3,000	4,006	90					90	30,096
	8月20日降雹災害	1,864		3,000	4,864										4,864
	8月21日落雷災害			3,000	3,000										3,000
	8月23日落雷災害		50		50										50
	8月22～23日大雨災害			11,000	11,000	4,161		4,161							15,161
	9月7日台風14号災害	9,723	848		10,571	4,100	137	4,237							14,808
	10月22日から23日大雨及び低気圧災害			9,000	9,000								50	150	9,150
	11月8日強風災害		50		50										50
	11月15日地震災害			16,000	16,000										16,000
	12月20日強風災害		100		100										100

年	災害名	農畜産物	農業施設	農地・農業 用施設	農業 被害額計	林業施設	林産物・特用 林産物	森林	林業 被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業 被害額計	農林水産業 被害額計
18	平成18年豪雪災害	17,227	505,764	13,000	535,991	5,039	500	234,538	240,071							776,068
	2月の低温災害			36,000	36,000											36,000
	3月20日強風災害		18,787		18,787											18,787
	4月11日地すべり災害					10,000			10,000							10,000
	4月21日地すべり災害					9,724			9,724							9,724
	5月16日落雷災害			3,000	3,000											3,000
	6月22日降雹災害	192,823	60		192,883											192,883
	8月12日降雹災害	146			146											146
	8月上旬の高温災害	7,141			7,141											7,141
	8月18日大雨災害	88		110,000	110,088											110,088
	8月22日大雨災害			20,000	20,000											20,000
	8月30日大雨災害				17,000				17,000							17,000
	9月5日台風12号災害				1,193,409			20	1,193,429	9,310	290,032	27,478	49,950	265,570	642,340	1,835,769
	10月6日から8日の低気圧による大雨、暴風、高波災害	270,278	66,976	1,530,000	1,867,254	995,394	300	98,107	1,093,801	56,626	3,090,816	134,766	436,783	1,812,780	5,531,771	8,492,826
	11月7日の強風災害	22,126	900		23,026											23,026
	11月15日千島列島の地震に伴う津波災害										600	190			790	
	11月22日から23日の強風災害	4,820	13,664		18,484											18,484
	12月26日から28日の低気圧災害	3,912	13,217	117,000	134,129	816,512		2,804	819,316	12,050	11,309	1,500		7,330	32,189	985,634
	1月6日から8日の低気圧災害		2,463	22,000	24,463	500		304	804	310	4,500	670	4,910		10,390	35,657
	1月27日から28日にかけての大雪災害	813	460		1,273											1,273
	2月4日の強風災害		230		230											230
	2月15日から16日にかけての強風災害		80		80											80
	3月11日の大雪災害		21,253		21,253											21,253
	4月26日の強風災害		21		21											21
	5月10日の強風災害		222		222											222
	6月6日から8日の降雹災害	127,976	270		128,246											128,246
19	6月25日の降雹災害	8,267		5,000	8,267											8,267
	6月29日の大雨災害				5,000											5,000
	8月6日の降雹災害	47,228	213		47,441											47,441
	8月22日の大雨災害			7,000	7,000	3,800			3,800							10,800
	9月7日の台風9号災害	161,562	12,178	629,000	802,740	370,981			370,981	1,000	4,700	7,715	17,210	18,300	48,925	1,222,646
	9月10日の大雨災害			69,000	69,000	8,000			8,000							77,000
	9月17日から20日の大雨・洪水災害	621,193	6,656	1,139,000	1,766,849	527,376			527,376	900	480	1,445	7,000		9,825	2,304,050
	5月から9月の暑熱による災害	20,272			20,272											20,272
	11月10日から13日の低気圧災害	107		18,000	18,107						1,150				1,150	19,257

年	災害名	農畜産物	農業施設	農地・農業 用施設	農業 被害額計	林業・特用 林産物	森林	林業 被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業 被害額計	農林水産業 被害額計
	1月10日の暴風雪災害		144		144									8,250	144
	2月23日から24日の暴風雪災害										7,750		500	8,250	8,250
	4月1日から2日の強風・波浪災害		17,282		17,282						900			900	18,182
	4月13日から30日の強風災害		1,453		1,453										1,453
	4月から5月の降雪災害	110,481			110,481										110,481
	5月6日から7日の強風災害	4	2,118		2,122										2,122
	5月17日から26日の降雪災害	2,860			2,860										2,860
	5月20日の低気圧災害	10	535		545					500	500		6,000	7,545	7,545
	6月14日の平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震	51,904	230,309	2,126,000	2,408,213	1,186,134	80	7,023,529				1,000		1,000	10,618,956
	6月23日から24日の強風・大雨災害		121	14,000	14,121	3,000		3,000							17,121
	7月7日の大雨災害	46			46										46
20	7月11日の降雪災害			1,000	1,000										1,000
	7月11日から12日の大雨災害			17,000	17,000										17,000
	7月14日の大雨災害			25,000	25,000										25,000
	7月24日の岩手県沿岸北部を震源とする地震	1,810	29,203	65,000	96,013	25,061	419,086	444,147	10,662		100		7,750	18,512	558,672
	7月27日から29日の大雨災害	1,830		143,000	144,830	21,000		21,000							165,830
	8月21日から22日の大雨災害						90,745	90,745							90,745
	8月23日から25日の大雨災害			69,000	69,000										69,000
	8月28日から31日の大雨災害			241,000	241,000	1,506	162,800	164,306							405,306
	7月から8月の暑熱災害	14,903		6,000	14,903										14,903
	9月12日の大雨災害				6,000										6,000
	10月24日の大雨災害						101,019	101,019							101,019
	11月3日から8日の強風災害	64,860	2,511		67,371										67,371
	11月28日の強風災害		192		192										192
	1月9日から11日にかけての低気圧接近による災害		4,221		4,221	3,300		3,300	200	4,905	4,536	18,380	20,583	48,604	56,125
	1月30日から31日にかけての暴風雪災害		763		763				270		300			570	1,333
	2月7日の強風災害		105		105										105
	2月14日の強風災害	7	9,803		9,810										9,810
	2月20日から21日にかけての暴風雪災害		2,842		2,842										2,842
	3月7日の強風災害		696		696										696
	3月10日の強風災害		774		774										774
	3月23日の強風災害		882		882										882
	3月30日の降雪災害					6,500		6,500							6,500
	4月21日から22日にかけての大雨災害					4,900		4,900							4,900
21	4月23日の強風災害		28		28										28
	4月25日から26日にかけての強風・波浪災害			10,000	10,000		224	224					700	9,767	10,224
	4月25日から27日にかけての大雨災害														16,199
	4月から5月にかけての降雪災害	16,199			16,199										16,199
	5月17日から18日にかけての強風災害		5,064		5,064					800	50			850	5,914
	6月5日から7日にかけての大雨災害		1,000	1,000	1,000	18,305		18,305					1,500	1,500	20,805
	7月10日から13日にかけての強風災害	111,054	10,355		121,409										121,409
	7月19日の大雨災害			8,000	8,000	75,800		75,800							83,800
	7月26日の大雨災害			2,000	2,000										2,000
	8月31日から9月2日にかけての台風11号による災害		79		79		40,000	40,000							40,079

年	災 害 名	農畜産物	農業施設	農地・農業 用施設	農業 被害額計	林産・特用 林産物	森 林	林業 被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業 被害額計	農林水産業 被害額計
21	10月8日から9日にかけての台風18号による災害	387,157	59,641	117,000	563,798		321,811	357,044	3,701	703,880	1,460	642	37,020	746,703	1,667,545
	11月15日の強風災害		440		440										440
	12月7日の強風災害		327		327										327